台帳作成路線数

要望に対する実施率

路線数

要望数

台帳作成等

妆

象

指 成

果

指

路線

路線

路線

%

%

495

100

100

501

100

100

502

100

100

507

100

100

100

100

100

100

100

100

記入日 平成26年3月31日 【PLAN】事務事業の計画 事務事業番号 所属部課名 産業経済部 農村整備課 事務事業性質 維持管理事業 評価区分 後期基本計 所管省庁 助 事務事業名 農道維持管理事業 画重点視点 重要事務事業 評価事業 市単独 畄 総合計画実施計画 独 2 多彩な交流で飛躍する活力ある産業のまちづくり〔産 業〕 政策 新規・継続 継続 政 総 区 補助率 2 豊かな恵みを実感できる農林業を振興します 策 小政策 開始年度 終了年度 合 計 体 施策 農林業 十地改良区 期 不明 単年度繰り返し 共催者·関係団体 画 系 土地改良運営協議会 小施策 自然と共生による農林業の展開 関連計画 会計 項 目 細目名 土地改良法 ·船 農林水産業費 農業費 農地費 農地費標準的事業(森林整備G 根拠法令 算 科 -般 農林水産業費 農業費 農地費 市単農道整備事業 実施手法 補助金の有無 負担金の有無 目 部委託 【事務事業の全体概要及び背景】2 【H25事業計画(主に担当者が行う業務内容及び手順)】 3【年度目標】 4 【事業費の内容(決算額)】 土地改良事業により整備された農道を ・定期的なパトロールの実施 ・補修要望箇所の 職員手当等 91千円 9千円 整備、維持管理することで、生活用道路 ・地区要望のとりまとめ 旅費 実施 需用費 42千円 役務費 49千円 や農作業用道路としての機能を確保す 補修工事の実施 ・農道台帳の作成 ることで、地域の安全、農作業の効率化 •農道台帳作成業務委託 完了 委託料 494千円 を図る。 原材料費 200千円 負担金補助及び交付金 13,506千 H27事業計画 H26事業計画 H28事業計画 路線数 507路線 同上 同左 同左 延 長 92,933m 5 事務事業の目的と手段 単位 4 路線数 路線 ①対象 路線 対象 十地改良区内の農道 要望数 (働きかける相手・もの) 目 指標 % 的 要望に対する実施率 通行者の安全確保 (5)②事務事業の意図(どのようにした 農作業の効率化 成果 % 台帳作成等 いのか。どういう状態にしたいのか) 台帳作成による適正な維持管理 指標 工事延長 m (6) 農道維持工事の実施 工事路線 丰 ③目的を達成するために実際に 路線 資材支給 活動 段 |行った行政活動(サービス) 資材支給件数 農道台帳作成 指標 台帳作成路線数 路線 【DO】事務事業の実施 事業費及び指標の推移 事業費 単位 22年度(実績) | 23年度(実績) | 24年度(実績) | 25年度(実績) | 26年度(計画) | 27年度(計画) | 28年度(計画) 国庫支出金 千円 財 県支出金 千円 投 源 事 地方債 千円 入 内 業 コ 千円 その他 訳 費 ス 一般財源 千円 8,885 1,319 2,290 15,891 8,940 5,250 2,400 1 事業費計(ア) 千円 8,885 1,319 2,290 15,89 8,940 5,250 2,400 1 5,02 3,825 職員割合 千円 0.53 3,975 0.51 3,825 0.67 0.241 1,808 0.510 0.510 3,825 0.510 3,825 時間外 千円 件 嘱託臨時 千円 ツ 費 1 千円 他課の協力分 人件費計(イ) 千円 3,975 3,825 5,02 1.808 3.825 3.825 3,825 トータルコスト(ア)+(イ) 千円 12,860 5,144 7,315 17,699 12,765 9,075 6,225 25年度(実績) 単位 22年度(実績) 23年度(実績) 24年度(実績) 26年度(目標) 27年度(目標) 28年度(目標) 指標区分 工事延長 258 8 344 200 m 活 工事路線 路線 4 5 動 指 件 6 資材支給件数 64 0 6

4	人は数の恋儿・ヤロューゼの畑中										
事	社会情勢の変化・市民ニーズの把握 事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》										
朱	とになし										
[	CHECK】事務事業の一次評価										
ιĵ	①行政関与の必要性《目的達成に向けて,行政		きた市民の意向や社会の要請から見て適切か?》								
<b>业</b> 要性	<u>-</u>	1的(対象と意図)は総合計画と結びつい 	いているか?実態(社会環境の変化)に合っているか?								
言			備された農道の適正な維持管理することは、農作業用及び一部生活用道路としての機 確保が図れるため、必要性が高く適切である。								
佰	□ 見直しの余地がある	能催保が図れるため、必要性が高く									
-	③成果の向上余地《成果は, 昨年度と比べてど	うであったか?工夫をすることで今後, 勇	<b>『</b> なる成果向上ができるか?》								
有多	]   世別木の収及効木  主巾氏,または多くの巾氏へ	他の施策への波及効果があるか?》									
性言	☑ 向上の余地がない		からの情報提供により状況を把握しており、維持管理事								
佰	□ 向上の余地がある	業として有効である。	として有効である。								
_	⑤事業費の削減余地 《活動量を下げずに事業費	貴を削減できないか?(仕様や工法の見	直し,市民の協力など)》								
<b>交</b>		と削減できないか?(業務プロセスの見直 	し、個々の業務の効率化等、業務委託や臨時雇用等)》								
性言	☑ 削減の余地がない	パトロールや市民からの要望・情報	提供により適正な施工場所の選定、業務委託等を実施								
佰	□ 削減の余地がある	しており、削減は見込めない。									
	次評価結果	全体総括(振り返り, 反省点)									
	必要性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がある	5									
	有効性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がある	を   農道の維持管理事業であり、農作業	<b>業等基本的な部分での機能確保が図れた。</b>								
	効率性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がある	5									
Ļ			7 0 11.								
		ローアップ 前年度の課題や問題点	その他 ⑤事務事業を休止,廃止した場合の成果への影響								
Ū	以中・以音条	前年度の改革・改善案	の有無とその対策								
			☑影響は大きく, 問題の発生が予想される								
			□代替案や対策を採ることで対応できる								
			も含む)								
(2	改革・改善案を実現する上で克服するべ	TV 41/ 49/ 6	✓他に手段がない □ (*)による(まなま*** なっぱもな)								
	課題と解決方法	文組状況	□他に手段がある(事務事業名・活動名)								
			名称								
			<ul><li>■他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる</li><li>■統廃合や連携はできない・既に連携している</li></ul>								

	PLAN	事務事業(	の計画
Γ			

総合評価	今後の方向性		評価理由 適正な維持管理を実施することにより、農作業用道及び生活道としての 機能確保や農作業の効率化が図れるため、現行どおり継続する。
於公口 电十川川	資源配分	現 状 維 持	

DI	A N T 1	<b>車</b> 数 車 学	の計画			<b>書</b> 事業番	- 무	9							入日			3年3月31日 部 農村整備調
LL	AIN	事務事業	マノ市下凹		尹伤	尹耒偣	「ケ	評価区分		事務事業性	質 建	設·整備 <sup>®</sup>	事業	後期基		厘   補		部 展刊整個問 所管省庁
Ī	事務	事業名	市単土地改	女良事業	ŧ			評価事業		重要事務事	業			画重点視点		助単	市単独	
総合	政策	政策 小政策	2 多彩な交 2 豊かな原					ちづくり〔産 氵 振興します		新規・継続						独区分	補助率	
計	体	施策	1 農林業				11740		業期			年度繰過		共催者	. 思	•		
	系	小施策	1 安定した	た農林業					間	1 91				共惟有	判定	四件		
子算		会計 一般	款 農林水産業	<b>と書</b>	項 農業		卢	目 	古肖	細目名 土地改良事		関連計画 根拠法令						
科		ЛХ	及小八生	下具		具	)I	文地貝	1111	*工地以以予	*	実施手		補	助金	の有無	無	負担金の有無
目												直営						_
			:体概要及び 等で老朽化か					(主に担当者 り、修繕が必						度目標】 設等の通		【事 託料		为容(決算額) <u>]</u> 0千円
で	るが事と会会	色設の維持 業等の再整 も困難な状	管理を図る。 を備事業認可 で況の中にあ する対応とし	。土地 可を受 っって				二件う測量業績			- 71 <b>3 712</b> 0		な維持	寺管理を	: I	事費計	2,	164千円 164千円
							H26事	業計画			H27事	業計画				I	H28事業	計画
					同上					同左					同左			
5 =	事務	事業の目的	的と手段															単位
	<b>(1</b> )				士足	、地域包	<del>-</del> F				④ 対象	地元住	民					人
<b></b>	(側ざかける相手・もの) ②事務事業の意図(どのようにした				III EC	、地域に	ECC				指標							
的					農業月	用施設	の適正だ	な維持管理に	対し、	施設の安全	(5) (4)	整備完	了地	1区				箇所
1					対策を図る。						成果 指標							
又	行っ	た行政活	動(サービス	`	市内は	にある農	農業用旅	記設の適正な網	推持管	理を行う。	⑥ 活動 指標	地元調	整					回
		・務事業の 及び指標の																
F A	<b>《</b> 貝/	事業費		単位	<i>f</i> 2	22年度	(実績)	23年度(実統	青) 24	4年度(実績)	25年月	ま(実績)	26年	E度(計画	画) 27	生度	(計画)	28年度(計画)
			<b>車支出金</b>	千円		1 &	() (1)()	20 1 120 000			10 10	C () C/13(/		/ X (FIF	-1/ <b>-</b> 1	1 2	(81 11)	20 1 20 (H1 III)
殳		財県	支出金	千円	]													
Λ.	事	源 均	也方債	千円	]													
-	業費		その他	千円	]													
スト			般財源	千円	]		2,000	2,1	90	2,460		2,164		2,0	000		2,000	2,000
_		事業費	計(ア)	千円	]		2,000	2,1	90	2,460		2,164		2,0	000		2,000	2,000
イ/			割合	人			0		0	0	0.140	1,050			0		0	(
プ	人		間外	千円														
	件費		臨時	千円														
<u>ا</u>	貝		協力分	千円														
	Ļ		計(イ)	千円			0		0	0		1,050			0		0	
	<u> </u>		(ア)+(イ)	千円 単位		00 左 库	2,000	2,1		2,460		3,214	0.C./T	2,000		/ <del>-</del> : ##	2,000	2,000
	₩ <del>-</del>	指標区分	ਹੱ	甲世	_ 2	22年度	(実績) 3	23年度(実統	3	10 10			204	F 及 ( 目 f)	宗) 21	午及	(日保)	28年度(目標)
動旨	ارقاد			ļ-i			J		3	10		4						
標対象指	地元	<b>正住民</b>		人			79,904	79,2	27	78,279		79,150						
票																		
	整值	請完了地区		箇所	ŕ		3		3	10		4						
未																		
指し								1	1 -				_					

	会情勢の変化・市民ニーズの把握	<b>なの本ル(用ル映物力)) - ケギ) のしなり ナロ) &gt; の本日の単物  </b>						
争	労事業を取り <b>否</b> く塚境《対象や伝令根拠及い任会塚』	竟の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》						
[C	HECK】事務事業の一次評価							
N	①行政関与の必要性《目的達成に向けて, 行政の	範囲は行政の役割から見て適切か?また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》						
必要	②総合計画との整合性,対象と意図の妥当性《目的	り(対象と意図)は総合計画と結びついているか?実態(社会環境の変化)に合っているか?》						
性評価	<ul><li>☑ 適切である</li><li>□ 見直しの余地がある</li></ul>	公共性の高い農業用施設(ため池、幹線排水路、農道)等の整備については、地元での対応は厳しく、市の補助を利用した本事業は必要不可欠である。						
	③成果の向上余地 《成果は, 昨年度と比べてどうて	であったか?工夫をすることで今後,更なる成果向上ができるか?》						
有効	④成果の波及効果《全市民, または多くの市民や他	の施策への波及効果があるか?》						
性評	☑ 向上の余地がない							
価	  □ 向上の余地がある	整備した農業用施設により、受益地内の農業農村整備基盤が向上している。						
効率		計画域 くさないか?(業務プロセスの見直し,旧人の協力など)// 削減できないか?(業務プロセスの見直し,個々の業務の効率化等,業務委託や臨時雇用等))/						
性		11万くとない。(木切グ・ロージル直の) 直・ジネ切りが 自己は、木切みは(画面の) 花角は7万						
評価	☑ 削減の余地がない	本事業を行うことにより、地元の負担軽減につながっている。						
ІЩ	□ 削減の余地がある							
	欠評価結果	全体総括(振り返り, 反省点)						
	必要性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がある							
	有効性 🗹 適切 🗌 見直しの余地がある	公共性の高い農業用施設を整備しており、有効性及び効率性ともに高い。						
	効率性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がある							
	CTION 東政市光のサゼ・ルギ フェロ	. マップ 治伝序の細暗の眼睛と この仏						
		ーアップ 前年度の課題や問題点 その他 F度の改革・改善案 ⑤事務事業を休止,廃止した場合の成果への影響						
	以中 · 以音朱	の有無とその対策						
		✓影響は大きく, 問題の発生が予想される □代替案や対策を採ることで対応できる						
		⑥類似事業との統廃合・連携の可能性(民間活動						
	/       /	も含む)						
	牧革・改善案を実現する上で克服するべ 課題と解決方法							

【PLAN】事務事業の	の計画		
			評価理由
総合評価	今後の方向性	現行どおり継続	
松吹 口 吐二川	資源配分	現 状 維 持	地元負担軽減につながり有効であり、縮小及び廃止は出来ない。

名称

他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる 統廃合や連携はできない・既に連携している

記入日 平成26年3月31日 【PLAN】事務事業の計画 事務事業番号 所属部課名 産業経済部 農村整備課 評価区分 事務事業性質 建設·整備事業 後期基本計 所管省庁 農山漁村活性化プロジェクト交付金 肋 事務事業名 画重点視点 重要事務事業 農林水産省 事業(大古山地区) 評価事業 国・県補助 単 総合計画実施計画 茨城県 独 2 多彩な交流で飛躍する活力ある産業のまちづくり〔産 業〕 政策 新規・継続 継続 国50,県15,市 総 卧 区 補助率 小政策 2 豊かな恵みを実感できる農林業を振興します 開始年度 終了年度 10,受益者25% 策 合 分 業 体 計 施策 農林業 十地改良運営協議会 期 平成24年度 平成28年度 共催者·関係団体 画 系 稲田大古山ほ場整備組合 小施策 自然と共生による農林業の展開 関連計画 会計 目 市道来栖•本戸線 項 細目名 予 農地費 十地改良法 般 農林水産費 農業費 農山漁村活性化プロジェクト交付金事業(大古山地区 根拠法令 算 科 実施手法 補助金の有無 負担金の有無 目 直営 【事務事業の全体概要及び背景】2【H25事業計画(主に担当者が行う業務内容及び手順)】 3【年度目標】 4 【事業費の内容(決算額)】 本地区の圃場形状は、谷津田状に 幹線排水路工事 L = 900 m工事の施工に 工事費 73,185千円 細長く展開する水田地帯であり、未 ついて、役員会及 路般工事 L = 550 m委託料 8,454千円 整備で道路幅も狭く小区画・不整形 整地工事(荒造成) A=6.2ha び工事委員会の 補償費 1,163千円 1,052千円 開催により調整を であるため,大型の農業機械の導入 需用費外 図る。 に支障をきたし,農作業等に多大な 合計 83,854千円 労力を費やしている。また、農業就業 者の高齢化、兼業化、後継者不足な ど深刻な状況であり、さらには用排水 H26事業計画 H27事業計画 H28事業計画 路が未整備なため、夕立や少量の雨路盤工事 暗渠排水工 確定測量 L = 300 mA = 6.2 ha量でも田が冠水する状況である。 整地工事(本整地) A=8ha 計画変更 支線排水路工事 L = 631m承排水路工事 L = 450 m調整池工事 パイプライン工事 L=2.132m5 事務事業の目的と手段 単位 (4) 大古山土地改良推進組合員 ①対象 土地改良事業大古山地区内の土地所有者 対象 受益面積 ha (働きかける相手・もの) 目 指標 的 整備進捗率 % 農地の汎用化。 (5) ②事務事業の意図(どのようにした 生産力の向上 成果 いのか。どういう状態にしたいのか) 耕作放棄地解消。 指標 地元役員会 市が事業主体となり農用地の区画整理事業を行う 口 (6) 地元調整 手 地元役員を中心とし換地を行い、地権者の意見調整 ③目的を達成するために実際に 活動 段 を行いながらほ場形状を整え耕作道路や用排水路 関係機関との調整 行った行政活動(サービス) 指標 等を整備する。

事	事業費及び指標の推移																	
			事業費	単位	22年度	(実績)	23年度	(実績)	24年度	(実績)	25年度	(実績)	26年度	(計画)	27年度	(計画)	28年度	(計画)
			国庫支出金	千円						4,545		41,598		59,893		5,656		3,131
投		財	県支出金	千円						1,350		12,359		17,790		1,680		930
入コス	事	源内	地方債	千円														
	事業費	訳	その他	千円						2,250		2,969		25,600		1,675		500
^   }			一般財源	千円		253		0		1,984		26,928		15,317		2,189		1,639
_			事業費計(ア)	千円		253		0	10,129			83,854	]	118,600		11,200		6,200
イン			職員割合	人 千円	0.35	2,625	0.52	3,900	0.72	5,400	0.730	5,475	0.730	5,475	0.730	5,475	0.730	5,475
ププ	人		時間外	千円				185		420		120		420		420		420
ッ	件	嘱託臨時		千円														
1	費	他課の協力分		千円														
		人件費計(イ)		千円		2,625		4,085	5,820			5,595	5,895		5,895			5,895
	<u>-</u> -ا	ータノ	レコスト(ア)+(イ)	千円		2,878		4,085				89,449	124,495		17,095			12,095
		ŧ	<b></b> 指標区分	単位	22年度	(実績)	23年度	(実績)	24年度(実績) 25年度(		(実績)	26年度(目標)		) 27年度(目標)		28年度(目標)		
活	地力	元役	員会	口			4		18		8		16		15		5 10	
動	地力	元調	整	口				5	10		0	10			10	10		
指	関係	系機	関との調整	口				5		5		6		3		5		10
標																		
対	大さ	<u>Б</u> Щ:	上地改良推進組合員	人				24		24		24		24		24		24
象指	受社	益面	積	ha				8		8		8		8		8		8
標																		
成	整位	構進	捗率	%				0		4		36		94		99		100
果指																		
標																		

	なんは効のなり、ナロー での切出								
	<u>会情勢の変化・市民ニーズの把握</u> 務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境	竟の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》							
特员	こ無し								
[C	HECK】事務事業の一次評価								
必要		範囲は行政の役割から見て適切か?また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》 (対象と意図)は総合計画と結びついているか?実態(社会環境の変化)に合っているか?							
性評価	<ul><li>☑ 適切である</li><li>□ 見直しの余地がある</li></ul>	本地区の農地は基より、水路(河川)等も未整備で地区内の市道も狭小であるため、これらを一体的に市が整備することにより、受益者の負担も軽減でき、また、国・県費の補助により市も事業費の軽減が図られるため適切である。							
有効	③成果の向上余地《成果は,昨年度と比べてどうで ④成果の波及効果《全市民,または多くの市民や他の	」 あったか?工夫をすることで今後,更なる成果向上ができるか?》 の施策への波及効果があるか?》							
%性評価	<ul><li>☑ 向上の余地がない</li><li>□ 向上の余地がある</li></ul>	ほ場整備の実施により農地の集積や道路・用排水路などの農業用施設の整備を図る上で有効である。							
効率:		減できないか?(仕様や工法の見直し、市民の協力など)》 できないか?(業務プロセスの見直し、個々の業務の効率化等、業務委託や臨時雇用等)》							
性評価	<ul><li>☑ 削減の余地がない</li><li>□ 削減の余地がある</li></ul>	農業生産性の向上と農村地域の環境改善に有効であり、効率性も良いため削減の余地はない。							
—}	· 欠評価結果	全体総括(振り返り, 反省点)							
	必要性       図 適切       見直しの余地がある         有効性       図 適切       見直しの余地がある         効率性       図 適切       見直しの余地がある	生産力の向上、農村地域の環境改善に有効な整備事業であり必要性、有効性及び効率性ともに高い。							
(A	CTION】事務事業の改革・改善フォロー	ーアップ 前年度の課題や問題点 その他							
		医度の改革・改善案 ⑤事務事業を休止、廃止した場合の成果への影響の有無とその対策							
		<ul><li>✓影響は大きく、問題の発生が予想される</li><li>一代替案や対策を採ることで対応できる</li></ul>							
	改革・改善案を実現する上で克服するべ 果題と解決方法	個類似事業との統廃合・連携の可能性(民間活動も含む)  ☑ 他に手段がない □ 他に手段がある(事務事業名・活動名)  名称 □ 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる □ 統廃合や連携はできない・既に連携している							

[PLAN]	事務事業の計画

総合評価	今後の方向性	現行どおり継続	評価理由 当事業は土地改良法に基づいて行っている事業であり、地元の要望も 大きいことからら縮小及び廃止は出来ない。
₩S 口 时	資源配分	現 状 維 持	

	では、1 回りません。         では、1 回りません。         では、26年3月31日           「PLAN」事務事業の計画         事務事業番号         4         所属部課名         産業経済部 農村整備課																
IP.	LAN	】事務事業	の計画		<b>事務事業</b>	<u>新芳</u>	4 評価区	分	<b>重</b>	事業性質	哲 建	設•整備事	<b>丰</b>	所属部 後期基本	,	)   T	部 農村整備課 所管省庁
	事彩	8事業名	農村振興絲	総合整備	事業(友音	(地区)				事務事業		— —		医别金华 画重点視	占助		
	• •	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	12010000		>14 (>41)	,	評価事	業		·画実施計		0			単	国·県補助	農林水産省
総	政	政策	2 多彩な交流							規·継続		継続			—— 独 区	補助率	国50、県
合	策	小政策	2 豊かな原	恵みを実	₹感できる農	林業を	振興しまっ	r	事	開始年度	F	終了年周	度		分	冊切牛	25%、市25%
計		施策	1 農林業						期工	区成16年	度 五	区成26年	度は	上催者•掣	係団体	県央農	!林事務所
	系	小施策		も生によ	る農林業の	展開			間								
	予	会計 一般	款 農林水産業	<b>光</b> 建	項 農業費	ı ı	<u></u> 目	HH 4-2-10		目名 備事業(友部均		関連計画 根拠法令				<b>当、農</b> 村	振興美施計画
	算 科	一叔又	辰怀小生利	長貫	辰耒賃	厅	<b>受地質</b>	農村加	(典総合登	伽事業(及部)	地区)	実施手		地改良法	金の有	4HF- /1	負担金の有無
	T ∄											天旭于	-15	冊切	並り行	<del>////</del>	共1世並の行無
1	【事	L 務事業の全	 :体概要及で	が背景】	2 【H25事	上 業計画	(主に担当	名者が行	テう業系	络内容及	び手川	<b>(</b> ) ] 3	【年度	目標】	4 【事	業費の	内容(決算額)】
本	事業	は当初、友	部地区にお	おいて	山ノ内池虫					<i>3</i> , 4 H <i>3</i> C				の完了	負担金	È	3,250千円
			と、農道、た												需用費	ť	8千円
			画が策定さ												合計		3,258千円
区 C	ノ発1 豊.村	胛計画に基 の暑組促え	づく整備に。 と・復元を図	より、�� ス													
			ぶくりを行うこ														
産'	性の		農村づくりを														
す。					अस्ट कर	H26事					H27事	業計画			I	H28事業	(計画
					計画変更以星山農道												
					生山辰坦	全川 上す	*										
5	事務	8事業の目的	的と手段														単位
	①\$	対象			<b>歩</b>						4) ++#	施工箇	<u> </u>				箇所
目		きかける相手	手・もの)		施工箇所						対象 指標						
的		<del></del>	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·								(5)	整備進	捗率				%
	(2)号	事務事業の意 いか、どういう	(どのよう 状態にした)	にした	維持管理節	5減					成果						, -
		214 ° C 24 7	-1/C)EX(CO/CV	•>/3 )							指標	(vi. → =m	1:1:4				
手					農業経営基	盤の整備	備や自然と	調和し	た農村	景観の	6	地元調関係機		1:田東ケ			口口口
段			するために				. 産性の高い豊かで明るい農村   店期					il为iCv	加正			<u> </u>	
1,70	行气	った行政活動	動(サービス	.)	づくりを総合	かりに進る	める。				指標						
(D	O] [	事務事業の	実施														
事	業費	及び指標の	 )推移														
		事業費		単位	22年度	(実績)	23年度(実績) 24年度(実績			度(実績)	25年度	度(実績)	26年	度(計画)	28年度(計画)		
		国庫	<b>重支出金</b>	千円	3												
+/1.		財県	支出金	千円													
投入コス		源	也方債	千円													
ハコ	業	[P]	<u>- 50 値</u> - 6の他	千円													
	費	H/ C		千円		27,342	0	0,084		4,552		3,258		5,600			+
卜																^	
イ		事業費		千円		27,342		0,084	0.40	4,552	0.170	3,258		5,600		0	(
ン			割合	人千		3,900	0.45	3,375	0.43	3,225	0.173	1,298		0		0	(
プ	人		間外	千円				48		70		70					1
ツ	件典		臨時	千円													1
1	費		協力分	千円													
		人件費	計(イ)	千円	]	3,900		3,423		3,295		1,368		0		0	(
	<b> </b>	ータルコスト	(ア) + (イ)	千円	]	31,242	2	3,507		7,847		4,626		5,600		0	(
		指標区分	<del>े</del>	単位	22年度	(実績)	23年度(	実績)	24年度	度(実績)	25年度	度(実績)	26年	度(目標)	27年度	E(目標)	28年度(目標)
活	地元調整     回     7     6       関係機関との調整     回     7     6						5		5								
動							5		5								
指														1			
標																	1
壮	対 施工箇所 箇所 3						4		1		1					1	
象	象					3		4		1		1					
指																	
標出	±2. *	#+ \#- L-L- <del></del>		%								3					
成果	或 <u>整備進捗率</u>					73		95		97		100					
果指																	
標																	

	社会情勢の変化・市民ニーズの把握								
事	務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境	ぎの変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》							
[C	HECK】事務事業の一次評価								
		節囲は行政の役割から見て適切か?また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》							
必要	②総合計画との整合性, 対象と意図の妥当性《目的	(対象と意図)は総合計画と結びついているか?実態(社会環境の変化)に合っているか?》							
性評	☑ 適切である	  公共性の高い集落道、農道、排水路等を実施している。施工箇所も基本計画策定時に市							
価	□ 見直しの余地がある	民参加のもとに策定されているため適切である。							
	③成果の向上余地《成果は, 昨年度と比べてどうで	」 あったか?工夫をすることで今後,更なる成果向上ができるか?》							
有効	④成果の波及効果《全市民,または多くの市民や他の	り施策への波及効果があるか?》							
性評価	<ul><li>☑ 向上の余地がない</li><li>□ 向上の余地がある</li></ul>	整備計画に基づいた成果を求めるように施工されているため、向上の余地はない。 集落道や排水路の施工により、多くの市民に成果の波及効果があると考えられる。							
	⑤事業費の削減余地 《活動量を下げずに事業費を	 削減できないか?(仕様や工法の見直し,市民の協力など)》							
効率		減できないか?(業務プロセスの見直し,個々の業務の効率化等,業務委託や臨時雇用等)》							
性評	☑ 削減の余地がない	基本計画をもとに国、県からの補助金交付決定額に合わせ施工しているため削減の余地							
価	┃ ┃ 削減の余地がある	は ない。							
<u>—</u> ;	 吹評価結果	全体総括(振り返り, 反省点)							
	必要性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がある								
	有効性 🛛 適切 🗌 見直しの余地がある	事業目標となる生産力の向上、農村地域の環境改善に有効な整備事業であり必要性、有							
	効率性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がある	効性及び効率性ともに高い。							
_									
		ーアップ 前年度の課題や問題点 その他							
( <u>l</u> )t	改革・改善案	度の改革・改善案 の有無とその対策							
		☑影響は大きく、問題の発生が予想される							
		□ 代替案や対策を採ることで対応できる							
		6類似事業との統廃合・連携の可能性(民間活動							
		も含む)							
②i	牧革・改善案を実現する上で克服するべ (の取り)	✓他に手段がない □ (はなてほどなる)							
き記	果題と解決方法								
		名称       名称							
		一世の事務事業や活動と就廃台や連携ができる  一							
	/    /								

【PLAN】事務事業	の計画		
総合評価	今後の方向性		評価理由 当事業は土地改良法に基づいて行っている事から縮小及び廃止は出 来ない。計画変更に伴い平成25年度完了予定。
was CI B.I IIM	資源配分	現 状 維 持	

美州	也言	十四•事	务事業評	他共』	<b>由調<del>曹</del></b>										己人日		平成2		
[PLA	N)	事務事業	の計画		事務事業	番号	5			<b>+</b> 36 + 40 10 10		Δn. +d · ν·	+ viv						村整備訓
-	- <u></u> -	古光力	経営体育局	戊基盤團	整備事業(濱	削地	評価区分	分		事務事業性質		設•整備	事業	後期基				所管省	<b></b>
<del>-                                      </del>	+ 1分	事業名	区)				評価事業	<b>業</b>		重要事務事業 合計画実施計		<u> </u>		四里/	<b>忒沙</b>	単	国·県補助	b ラ	芡城県
総耳	₽	政策	2 多彩な交	流で飛躍	する活力ある	産業のま	ちづくり〔産		(NC) [	新規・継続	l hai	継続				独区		. 退50	<b>退30</b> 市
合角	え 新	小政策			実感できる 農				事業	開始年度	Ę	終了年				区 分	補助率	10、地	県30、市 1元10%
計位	本	施策	1 農林業						業期	平成17年		<b>乒成27</b> 年		共催者	- 月月			と 林事	
画系	系	小施策		共生によ	る農林業の	展開			間								土地以		営協議会
予		会計	款	11 t-t-	項		<u> </u>			細目名		関連計					備計画	•	
算	-	一般	農林水産業	<b>美</b> 費	農業費		<b>農地費</b>	経営体	育成	(基盤整備事業(滝川)	地区)	根拠法		土地改			/mr	ᄼᅭᆔᄼ	0 + hm
科目	-											実施・直		f	用切?	金の有	無		の有無
	虫系	冬重業の全	     休概更及で	『書書》	9 【日95車	(森計画	(主に担当:	土がを	テろ	業務内容及	アド王川			<b>要目標</b> 】	1	_ 4 【重	業費の		決算額)
国道:	50	号線の北側	川と一部の南	日永	•湧水処理			H 1/2-1	17		. O - <del>] -</del> / !			1理及で					八 <u>弄饭/</u> )千円
谷津	田:	状に拓けた	水田地帯で	である。				収及で	(K-	一部改良工事	事	帯	工事	の完了		需用費		12	2千円
			く、農業近											買収及で	ドー	合計		8,012	2千円
			あり、土質も									部	改良	工事					
			良である、ま ヽで農作業様																
			たしている。																
とから	b地	1元要望が	出され、事業				業計画					業計画	İ				H28事業	<b>Ě計画</b>	
行つ			カルチュマー	. An →m	•付帯工事		古 1 000			•換地登記	業務								
			らいため湧オ 「可欠である		•集洛迫路	改良上	事 L=960r	n											
* (0)	<i>X</i> ] /	心が必安年	、可力である	00															
5 事	務	事業の目的	的と手段		•														単位
(Ī	文(I	<b>計象</b>			1 111 - 1	Alle A	ul. <del>□</del> . l . ⇔ . l . l	,, <u>-</u> -	. 4~		4		也区組	1合員(	受益	(者)			人
		きかける相手	手・もの)		土地改艮事	栗滝川	地区内の土地	也所有	有	Ī	対象 指標								
的					農地の汎用	農地の汎用化。					<u>1日1示</u> (5)	整備近	主捗率	₫					%
(2			飫図(どのよう 状態にしたレ		生産力の向	1上。					成果	成果担い手の農地集積達成率							%
ľ	V)	~ o C Jv · J	-> C) -> Y ->	~ <i>&gt;13</i> * <i>)</i>	耕作放棄地						指標	転作過							%
<b></b>					県が事業主体となり農用地の区画整理事業 地元役員を中心とし換地を行い、地権者の						他元役員会 地元調整								口口
2.5	-		するために多				状を整え耕作				活動			の調整					旦旦
行	1~	た	動(サービス	<i>.)</i>	等を整備す						指標	2 4 P ( · D)	,,,,,	ry - 4 - 112-					
(DO)	]事	務事業の	実施																
事業	費	及び指標の																	
		事業費		単位	立 22年度	(実績)	23年度(実	績) 2	244	年度(実績)	25年月	隻(実績)	26年	F度(計	画)	27年度	(計画)	28年	度(計画
		国届	車支出金	千円	9														
<del>1</del> /L		財県	支出金	千円	9														
人人	事	源	也方債	千円															
投入コス	事業費	M	<u> </u>	千円															
ス   り	貳	H/ \		千円		10,263	E	745		19,384		8,012		1	000		4,000		
1			成的 <i>(</i> 原 計(ア)	千円				745				8,012	_		000		4,000		
7	-					10,263		_	0	19,384	0.000		_			0.000			
ン			割合		円 0.80	6,000	0.40 3,	000	υ.	.41 3,075	0.280			δU <mark>2,</mark>		0.280	2,100		
プリ	人		間外	千四				50		70		70	)		70		70	'	
ツ性	牛		臨時	千円									1						
ト	費		協力分	千円															
		人件費	計(イ)	千円		6,000	3,	050		3,145		2,170	)		170		2,170	)	
1	<u> </u>	-タルコスト	(ア)+(イ)	千円	9	16,263	8,	795		22,529		10,182	2	6,	170		6,170	)	
		指標区分	· 分	単位	22年度	(実績)	23年度(実	績) 2	244	年度(実績)	25年馬	度(実績)	26年	F度(目	標)	27年度	医(目標)	28年	度(目標
活出	也テ	元役員会		口		6		7		5		Ę	5		5			5	
(白 —		こ調整		口		7		5		5		40	)		5			5	
指限		系機関との記	調整	□		7		7		5			-		5				
標片	JV	IVAIA1 C * 2 H	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			<u>'</u>							1		3		,		
対消	会 川	地区組合	昌(受兴老)	人		54		54		54		54	1		54		54	1	
象	也川	1460年1月	只(又紅白)	八		54		04		54		D4.	t		J4		D4	t	
象 指 [																			
標出		4->44-1-11-											$\vdash$						
		<b>请進捗率</b>		%		90		92		95		97			99		100		
1日 —			集積達成率	%		100		100		100		100			100		100	)	
標博	云作	F達成率		%		100		100		100		100	)		100		100	)	

<del>√</del> J.	<b>△桂熱の亦ル・</b> 古巳~」 ずの畑セ						
事		境の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》					
特	に無し						
[(	CHECK】事務事業の一次評価						
ιίχ		節囲は行政の役割から見て適切か?また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》					
必要	②総合計画との整合性、対象と意図の妥当性《目的	的(対象と意図)は総合計画と結びついているか?実態(社会環境の変化)に合っているか? 					
性評価		圃場整備に精通した県が事業主体となり、事業完了に向けては国、県、市、地元が相互の協力体制をとる必要がある。 費用負担割合については、県のガイドラインに従い適切である。					
		であったか?工夫をすることで今後,更なる成果向上ができるか?》					
有效							
		基盤整備によって、農地の集積や道路・水路・排水などの農業用施設の整備を図るうえで					
評価		有					
	日日上の赤地がある	効である。					
效	◎ 「休弗 5兆孙人    // 本! 目と 〒// 22-1    小弗と兆	川減できないか?(仕様や工法の見直し、市民の協力など)》					
率性	の人件負の削減示地 《荷勤里を下げ) 外に人件負を目	削減できないか?(業務プロセスの見直し,個々の業務の効率化等,業務委託や臨時雇用等)》 					
評		農業後継者(担い手)の育成や農業生産性の向上と農村地域の環境改善に有効である。					
佃	□ 削減の余地がある						
	次評価結果	全体総括(振り返り, 反省点)					
	必要性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がある						
	有効性 🗹 適切 🗌 見直しの余地がある	事業目標となる農地の汎用化、生産力の向上、耕作放棄地解消に有効な整備事業であり 必要性、有効性及び効率性ともに高い。					
	効率性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がある						
	CTION】事務事業の改革・改善フォロ	フェアップ - 治年中の細題を問題占					
		ーアップ 前年度の課題や問題点 その他 三度の改革・改善案					
	WT WEX	の有無とその対策					
		✓影響は大きく、問題の発生が予想される					
		□代替案や対策を採ることで対応できる					
		⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動 も含む)					
	改革・改善案を実現する上で克服するべ	────────────────────────────────────					
	以事・以音系を美現する上で見版するへ 課題と解決方法	組状況 他に手段がある(事務事業名・活動名)					
		名称					
		□他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる □統廃合や連携はできない・既に連携している					

[PLAN]	事務事業の計画

総合評価	今後の方向性	現行どおり継続	評価理由 当事業は土地改良法に基づいて農地の改良及び換地を行っている事から縮小及び廃止は出来ない。平成27年度完了予定。
1000 日 11111111111111111111111111111111	資源配分	現 状 維 持	

		1事效事类/		IIII > 1 *C		「 「業番号	L.	C							記人 F属部記			5年3月31日 第 農村整備調
IP	LAN	事務事業の	// 計画		尹伤手	未留万	7	6 評価	区分	車系	务事業性質	五 建	設·整備事		月基本			可 展刊 登
	重彩	等業名	経営体育原	<b>戈基盤</b> 整	修備事業	纟(箱田	中				要事務事		以 正州于		点 基本 包点視。	占具	り	
	<b>3</b> 17.	7 7 7 7 1	央地区)					評価	事業		計画実施計		0	<u> </u>	3/11/ [/[.	<u>i</u>	道 国·県補助	茨城県
公公	政	政策	2 多彩な交流	流で飛躍	する活ナ	ある産業	きのませ	うづくり 〔j	産 業〕		f規·継続	1 124	継続				虫	国50、県30、市
合	策		2 豊かな原	,,,,,,,,	,				_ //-/	事	開始年度	Ę	終了年度	:			補助率	10、地元10%
計	体	施策	1 農林業			- / / / /			,	業					<b>→</b>		旧山曲	:林事務所
	系	小施策	2 自然とま	+生によ	る農林	業の展	開			期間	平成16年	度   4	成27年月	支   共催	者・関	(徐団)		良運営協議会
-	予	会計	款		項			目			11目名		関連計画					
-	算	一般	農林水産業	<b></b> 	農業費	7	農	と と と と と と と と と と と と と と と と と と と	経営体	育成基盤書	整備事業(箱田中央	地区)	根拠法令	土地	改良法	Ė.		
7	科												実施手	法	補助	金のす	有無	負担金の有無
	∄												直営			_		0
		務事業の全			2 (H	25事業	計画	(主に担	当者が	行う業	務内容及	び手順	[] 3 【	年度目標	票】	4	事業費の	内容(決算額)
		は山間谷津						工事に~	ついて、	地元征	役員会及7	び関係		堂橋の橋	梁工	負担		,000千円
		悪く大型機材			関と調	整し進る	める。						事完			需用		10千円
		未整備である												区内附帯	了上事	台計	b	,010千円
		域の優良農 委託による											の完	: 1				
		がいによるな																
		望がされ、																
		現在、整地				H2	26事	業計画					業計画				H28事業	計画
		いる。河川に			•付帯					• 7	換地登記	業務						
		小ないため上			•道路	舗装工	事											
壊		への対応が	必要である	00														
5	事務	等業の目的	りと手段									<i>(</i> )		16-77. E. E.	* <i>k-k</i>	<del>-</del>	LEVE A	単位
		付象			-1- Hzh z/r	白重紫红	第 田 ロ	中央地区	内の土は	小昕右	<b>*</b>	④ 対象	受益面和		相田	十大耳	也区組合員	入 ha
目	(働	きかける相手	手・もの)		上地以	. 尺 尹 未 7	相四上	下天地区	.P307	四川有	18	カ 指標	文盆即位	貝				IId
的					農地の	汎用化。						(5)	整備進	步率				%
		耳務事業の意 〕か。どういう			生産力	の向上。						成果	担い手の		.積達5	<b>戊率</b>		%
	V 10,	7/13· とりいり	状態にしたV	107/13)	耕作放	棄地解	消。					指標	転作達用					%
_					県が事	業主体と	となり	農用地の	区画整:	里事業	を行う。	6	地元役員					旦
手	3	目的を達成で	するために乳	実際に	地元役	員を中心	いとし	換地を行	が、地格	怪者の カロ	意見調整	活動	地元調		#1/-			旦
段		った行政活動				なからは 備する。	场形	状を整え	.耕作追;	合べ井	排水路	指標	)	関との調	整			口
<u> </u>	_ _]	事務事業の領	主施		, 0115	/ 40												
		及び指標の																
7	<b>不</b> 只	事業費	, 11T/15	単位	f 22	在度(生	(緒)	93年度	(宝績)	94年	度(実績)	95年.Ĕ	E(宝績)	26年度(	計画)	97年	庶(計画)	28年度(計画)
			支出金	千円		十尺 (天	で加貝ノ	20千尺	(大順)	217/	文(天順)	20 T /5	2(天順)	20千及(	可四/	217	及(田岡)	20千及(田國)
		m.t																
投	事	温	支出金	千円														
投入コス	学	内	力債	千円														
コ	業費	訳して	の他	千円														
ト	ĺ,		般財源	千円	]	24	,310		14,160		10,678		5,010		2,000		2,000	
		事業費	計(ア)	千円	]	24	,310		14,160		10,678		5,010		2,000		2,000	(
イ		職員		人千			,000	0.52	3,900	0.54		0.335	2,513		0		0	(
(インプ	ı	時間		千円			,	0.00	128	5.01	130	2.000	130		- 0		U	
プ	人								120		130		100					
ッ	件費	嘱託		千円														
1	貝	他課の		千円														
$\bigcup$		人件費	·計(イ)	千円		6	,000		4,028		4,180		2,643		0		0	(
	<b> -</b>	-タルコスト(	(ア)+(イ)	千円	]	30	,310		18,188		14,858		7,653		2,000		2,000	(
		指標区分	}	単位	. 22	年度(実	€績)	23年度	(実績)	24年月	度(実績)	25年月	夏(実績)	26年度(	目標)	27年	度(目標)	28年度(目標)
٧,	批与	元役員会		回			8		8		6		9		5	·	3	
							6		7		6		15		5		3	
活動		- 調整													J			I
動	地ラ	こ調整 系燃朗レの割	国敕	回回							1		7					
動指	地ラ	元調整 系機関との訓	問整	口口			6		7		4		7		5		3	
動指標	地対関係	系機関との訓		日			6		7		4		7		5		3	
動指標対	地ラ 関係	系機関との記 地改良区第田中央地									100		7					
動指標対	地ラ 関係	系機関との訓		日			6		7		4		7		5		3	
動指標対	地ラ 関係	系機関との記 地改良区第田中央地		旦人			6 100		7 100		100		100		100		100	
動指標 対象指標	地方関係	系機関との記 地改良区第田中央地		口 人 ha			6 100		7 100		100		100		100		100	
動指標 対象指標	地方関係	系機関との記 地改良区第田中央地 <b></b> <b>企面積</b> 備進捗率	区組合員(受益者)	口 人 ha		,	100 47.6 87		7 100 47.6 98		100 47.6 99		7 100 47.6		100 47.6 99		100 47.6	
動指標対	地ラ関係を関する。要が担い	系機関との記 地改良区第田中央地 <b>益面積</b>	区組合員(受益者)	口 人 ha		,	6 100 47.6		7 100 47.6		100 47.6		7 100 47.6		100 47.6		100 47.6	

1.						
	<u>会情勢の変化・市民ニーズの把握</u> 務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境	竟の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》				
	と無し					
[C	HECK】事務事業の一次評価					
必要		範囲は行政の役割から見て適切か?また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》 か(対象と意図)は総合計画と結びついているか?実態(社会環境の変化)に合っているか?				
性評価	<ul><li>☑ 適切である</li><li>□ 見直しの余地がある</li></ul>	大規模な圃場整備であるため、国、県、市、地元相互の協力体制をとる必要がある。 費用負担割合については、県のガイドラインに従い適切である。				
有		であったか?工夫をすることで今後,更なる成果向上ができるか?》				
効	④成果の波及効果《全市民,または多くの市民や他の	の)他東へり)放及別未かめるか?》 				
性評価	□ 向上の余地がない □ 向上の余地がある	整備計画に基づいた成果を求めるように施工されているため、向上の余地はない。				
効		と削減できないか?(仕様や工法の見直し,市民の協力など)》				
効率性		減できないか?(業務プロセスの見直し、個々の業務の効率化等、業務委託や臨時雇用等)》				
[評価	☑ 削減の余地がない □ 削減の余地がある	基本計画をもとに国、県からの補助金交付決定額に合わせ施工しているため削減の余地はない。				
—}	· 次評価結果	全体総括(振り返り, 反省点)				
	必要性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がある					
	有効性 🗵 適切 🗌 見直しの余地がある	事業目標となる農地の汎用化、生産力の向上、耕作放棄地解消に有効な整備事業であり必要性、有効性及び効率性ともに高い。				
	効率性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がある					
[A	CTION】事務事業の改革・改善フォロー	ーアップ 前年度の課題や問題点 その他				
①ī	改革•改善案 ③前年	F度の改革・改善案 ⑤事務事業を休止, 廃止した場合の成果への影響 の有無とその対策				
		の有無とその対策  ☑影響は大きく、問題の発生が予想される  □代替案や対策を採ることで対応できる				
		⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動 も含む)				
	改革・改善案を実現する上で克服するべ 果題と解決方法	型他に手段がない 団他に手段がある(事務事業名・活動名)				
		名称				
		□他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる □統廃合や連携はできない・既に連携している				

ı	DI ANI	事務事業の計画
	LPLAN.	事務事業の計画

総合評価	今後の方向性	現行どおり継続	評価理由 当事業は土地改良法に基づいて行っている事から縮小及び廃止は出 来ない。平成27年度完了予定。
沙亞 口 日丁   Щ	資源配分	現 状 維 持	

妆

象指標成

果

指標

受益者(友部土地改良区組合員の一部)

整備進捗率(友部小原地区)

整備進捗率(北川根地区)

人

%

%

913

1

913

18

913

36

913

57

913

79

20

913

100

40

913

60

【PLAN】事務事業の計画 事務事業番号 所属部課名 産業経済部 農村整備課 事務事業性質 建設·整備事業 評価区分 後期基本計 補 所管省庁 経営体育成基盤整備事業(友部地 肋 事務事業名 画重点視点 重要事務事業 区) 評価事業 畄 国·県補助 茨城県 総合計画実施計画 独 政策 2 多彩な交流で飛躍する活力ある産業のまちづくり〔産 業〕 新規・継続 継続 政 総 国50、県27.5、市 区 補助率 豊かな恵みを実感できる農林業を振興します 10、地元12.5% 策 小政策 2 開始年度 終了年度 合 計 体 施策 農林業 県央農林事務所 期 平成22年度 平成28年度 共催者・関係団体 画 系 小施策 自然と共生による農林業の展開 土地改良運営協議会 関連計画 会計 項 目 細目名 ·船 農林水産業費 農業費 農地費 経営体育成基盤整備事業(友部地区) 根拠法令 土地改良法 算 科 実施手法 補助金の有無 負担金の有無 Ħ 直営 3【年度目標】 4 【事業費の内容(決算額)】 【事務事業の全体概要及び背景】2 【H25事業計画(主に担当者が行う業務内容及び手順) 友部小原地区は土地の形状は大区 ・友部小原地区用水機場の整備(第3.4機場) 用水機場整備の 19,882千円 負担金 画ではあるが、一級河川涸沼前川の • 友部市原地区用水機場設計委託 2,258千円 完了 委託料 河川流量が安定せず、更には用水 ・友部市原地区、友部中央・随分附地区の事業採択に向け 事業推進の実施 需用費 11千円 路の老朽化も進みつつある。霞ヶ浦 た推准 合計 22,151千円 用水が不動谷津池に着水したことに 伴い、本用水を利用した用水系統の 再整備を行い、農業生産の拡大と機 械化による効率化を図り、営農の合 H26事業計画 H27事業計画 H28事業計画 ·北川根地区用水機場整備 理化と安定化を目標とした豊かな農 友部小原地区用水堰及び機場の 友部小原地区暗渠排水及び排水 村集落を建設するものである。 整備(第5機場) 路整備 ・友部市原地区、友部中央・随分 また友部市原地区、友部中央・随分 北川根地区用水機場整備 •北川根地区用水機場整備 附地区の事業採択に向けた推進 附地区、北川根地区についても事業 ·友部市原地区、友部中央·随分附 ·友部市原地区、友部中央·随分附 採択に向け順次進めている。 地区の事業採択に向けた推進 地区の事業採択に向けた推進 単位 事務事業の目的と手段 (4) 受益者(友部土地改良区組合員の一部) ①対象 土地改良事業地区内の 対象 (働きかける相手・もの) 土地所有者 目 指標 的 整備進捗率(友部小原地区) % (5)②事務事業の意図(どのようにした 農業生産力と作業効率向上及び農村環境の改善 成果 整備進捗率(北川根地区) % いのか。どういう状態にしたいのか) 指標 口 地元役員会 (6) 県が事業主体となり、霞ヶ浦用水を取り入れ、用排水 地元調整 # ③目的を達成するために実際に 路等の再整備を行なう。現地施工の際、地元役員及 活動 段 関係機関との調整 び地権者の意見調整を行う 行った行政活動(サービス) 指標 【DO】事務事業の実施 事業費及び指標の推移 単位 22年度(実績) 23年度(実績) 24年度(実績) 25年度(実績) 26年度(計画) 27年度(計画) 28年度(計画) 事業費 国庫支出金 千円 財 県支出金 千円 投 源 事 地方債 千円 内 業 コ 千円 その他 訳 費 ス 一般財源 千円 4,232 21,001 29,500 22,151 20,000 19,300 20,000 1 事業費計(ア) 千円 4,232 21,001 29,500 22,15 20,000 19,300 20,000 1 職員割合 千円 0.90 6,750 0.90 6,750 0.92 6,900 0.545 4,088 0.545 4,088 0.545 4,088 0.5454,088 時間外 千円 503 500 500 500 500 件 嘱託臨時 千円 ッソ 費 1 千円 他課の協力分 人件費計(イ) 千円 6,750 7,253 7,400 4.588 4,588 4,588 4.088 トータルコスト(ア)+(イ) 千円 10,982 28,254 36,900 26,739 24,588 23,888 24,088 単位 22年度(実績) 23年度(実績) 24年度(実績) 指標区分 25年度(実績) 26年度(目標) 27年度(目標) 28年度(目標) 地元役員会 口 6 30 30 30 34 30 30 活 地元調整 回 7 16 15 21 15 15 15 動 指 5 関係機関との調整 口 12 10 10 10 10 13 標

記入日

平成26年3月31日

<u>社</u>	会情勢の変化・市民ニーズの把握	
事	務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境	筒の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》
	CHECK】事務事業の一次評価	
业		範囲は行政の役割から見て適切か?また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》
要性評価	☑ 適切である	り(対象と意図)は総合計画と結びついているか?実態(社会環境の変化)に合っているか?》 県営事業で整備するため、国・県費補助により地元負担(受益者及び市)の軽減が図られる。
<del></del>		」 おったか?工夫をすることで今後,更なる成果向上ができるか?》
有效性		
性評価		農地の集積や道路・水路・排水などの農業用施設の再整備を図るうえで有効であり、向上の 余地はない。
対率	⑥人件費の削減余地《活動量を下げずに人件費を削	  削減できないか?(仕様や工法の見直し, 市民の協力など)》  減できないか?(業務プロセスの見直し, 個々の業務の効率化等, 業務委託や臨時雇用等)》
性評価	☑ 削減の余地がない	農業後継者(担い手)の育成や農業生産性の向上と農村地域の環境改善に有効的であり、 効率性も高く削減の余地はない。
_	次評価結果	全体総括(振り返り, 反省点)
	必要性       ☑ 適切       □ 見直しの余地がある         有効性       ☑ 適切       □ 見直しの余地がある         効率性       ☑ 適切       □ 見直しの余地がある	事業目標となる農業生産力と作業効率向上及び農村環境の改善に有効な整備事業であり 必要性、有効性及び効率性ともに高い。
[ ]	ACTION】事務事業の改革・改善フォロー	ーアップ 前年度の課題や問題点 その他
1	改革·改善案	度の改革・改善案 ⑤事務事業を休止,廃止した場合の成果への影響の有無とその対策
		✓影響は大きく、問題の発生が予想される □代替案や対策を採ることで対応できる
	改革・改善案を実現する上で克服するべ 課題と解決方法	<ul> <li>⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動も含む)</li> <li>☑他に手段がない</li> <li>□他に手段がある(事務事業名・活動名)</li> <li>名称</li> <li>□他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる</li> <li>□統廃合や連携はできない・既に連携している</li> </ul>

$DI \Delta NI$	事務事業の計画	

総合評価	今後の方向性	現行どおり継続	評価理由 当事業は土地改良法に基づいて行っている事から縮小及び廃止は出 来ない。
松公口 1十11川	資源配分	現 状 維 持	友部小原地区については平成27年度完了予定。   友部市原地区、友部中央・随分附地区及び北川根地区は順次採択へ   と進めていく。

<u> [Pl</u>	<u>LAN</u>	事務事業	の計画		争	勞爭業都	音号	8							F	<b>竹禹部</b>	课名 2	生美			村整備	前胡
								評価	区分		事業性		設・整	備事業		明基本		補助	F.	听管省	旨庁	
	事務	事業名	霞ヶ浦用水	等業				評価	事業		事務事		_	-	画	重点視		単月	<b></b>			
			- 6-50								画実施記		0					独				
	政	政策	2 多彩な交流								規・継続		継糸					区 権	制助率			
合	策	小政策	2 豊かな原	息みを	実感`	できる農	林業を	振興しる	E す	事業	開始年月	<b></b>	終了年	丰度			1	分				
計	体	施策	1 農林業								継続事業	単 単	鱼年度網	繰返し.	共催	者・関	係団		支部土			
	系	小施策	2 自然と共	も生に.			展開			間		~			<b>/</b> [Е			門官	夏ヶ浦	用水:	土地改	良
	ř	会計	款			頁		目			目名		関連語									
多	草	一般	農林水産業			<b>業費</b>		と 地費			(事業)		根拠		土地	改良》						
	斗	一般	農林水産業	<b></b>	農	<b>業費</b>	<b>唐</b>	と 地費	霞	ヶ浦用オ	(事業)	詩)	実施	重手法		補助	金のす	有無	賃	負担金	の有無	無
	1												直	[営			_			(	$\circ$	
1	【事》	务事業の全	:体概要及び	背景	2	【H25事	業計画	(主に担	当者が	行う業績	<b>努内容及</b>	とび手川			度目標				費の	内容(	決算額	(j
霞々	ァ浦月	月水事業は	、霞ヶ浦の打	易水機	· 県	常管敷	設工事	に伴う関	<b>関係機関</b>	との調	整			・県営領	学敷記	设工事	負担	金	32	,869=	千円	
場	からな	充波山を通	過して、各受	至益地	• 4	体営管	測量設	計及び	敷設工	事に伴う	関係機	関との	調整	完了								
			る施設を造											団体営	営管涯	則量設						
で、	地填	成の要請に	即した多面的	的な土									Ī	計及び	敷設	工事						
地和	钊用	・機械力の	導入などをす	可能に									(	の完了								
			向上と農業網	経営の																		
		に資するも																				
なは	ેં, ધે	á市では、2	本戸地区と友	て部地			H26事	業計画				H27耳	事業計	画				H2	28事業	計画		
			定的な用水		同_	Ŀ				同	左					同点	左					
進	かてし	ハる。現在に	は不動谷津	池(小																		
			根に向けて	管敷																		
設_	工事:	が行われて	いる。																			
5	事務	事業の目的	的と手段																		単位	
	(I)対	+ 色			<del>-</del> ₩-F	⋾地区維	<b>法</b> 答理:	₹吕△π	アドナカル	1-14134 I	ㅋ▷₩	4		者(本)	戸地[	区、友	部土均	也改	良区)		人	
		リー きかける相手	チ・ナ・の)			コ地区無 内の土地		女貝云及	くい及前	工.地以.	文区地	対象										
目	(判)	さんが) の作-	子。2007)		\rightar	1077716	71/11/11					指標										
的	<b>⊘</b> ≠	マケーナルのエ	Aud (No Le	1-1 -	TE T	44444		olen den	+ W ~ +	ा -⊁ ज्या	7	(5)	用水	(管の埋	[設工	[事(県	営営	)			m	
			(どのよう) 状態にしたい		1   1    1   1	生的な水	个足解	月し、生産	重性の に	上を図り	<b>ఏ</b> 。	成果										
	V .02	///-° C JV ·J	小児にしたく	.07/3-1								指標										
					1-	리 <u> </u>	<b>5.</b> L II 4:	- 444- 00-1-	マルが	بليلط	ω. ₩ lib	6		:役員打							口	
手	ത F	かなきは、	するために乳	士 (改2) テ		国営霞ヶ河 東営管	用用水手	*業の元	事にひまった	へ、木焔	<b>文</b> 企 地	活動	地元	調整(	職員	)					П	
段			y るためにぇ 動(サービス			· 乐声 目。 }地区推					を行う	指標										
	11	7/2/11 政(百)	助(ゲービス)	•)		1 > 1 1 1 1 1	~= \U\U\\	X E XEEO	C>E)016	N ) L MAJIE	. C 11 70	7日1示										
(D	0】事	務事業の	実施																			
事主	業費	及び指標の	)推移																			
-	14247	事業費		単	<del> </del>	99年度	(宝縖)	99年度	:(宝结)	94年日	夏(実績)	25年1	在(宝丝	書) 26を	平 庄 (	計皿/	97年	由(	計皿()	90年	由(針	一 (
						22千茂	(天順)	23年度	(天順)	24十分	2(天順)	254/	文(天市	貝	十戊(	可四/	214	) (1	可四/	204	() (日	, 四,
			巨支出金	千	円																	
±/1.		財県	支出金	千	円																	
1文	事	源	<u> </u>	千																		_
	業	内																				
投入コス	費	訳	その他	千	円																	
ト			般財源	千	円		43,587		40,412		36,456		32,8	69	3	3,773		3	3,773		33,7	773
			計(ア)	千			43,587		40,412		36,456		32,8			3,773			3,773		33,7	
$\widehat{}$						0.50		0.70						_			0.00	_		0.0	_	
イン			割合		千円	0.53	3,975	0.79	5,925	0.83	6,225	0.240	1,8	<mark>00</mark> 0.2	40	1,800	0.24	U	1,800	0.24	0 1,8	30(
ププ	$\lambda$	時	間外	千	円																	
ノツ	件	嘱託	臨時	千	Н									f								_
ト	費											<b>-</b>		-								_
			協力分	千																		
		人件費	計(イ)	千	円		3,975		5,925		6,225		1,8	00		1,800			1,800		1,8	800
	トー	-タルコスト	(ア)+(イ)	千	Н		47,562		46,337		42,681		34,6		3	5,573		3	5,573		35,5	
						90年世		99左다						_			97Æ			20 H		
		指標区分		単		22年度	(夫領)	23年度			医(実績)	25年月	支(夫前	貝 <i>)</i> 26年	₽度(			及(		28年	度(目	宗,
活	地テ	元役員打合	せ	E	ī		6		7		7			7		7			7			7
動	地テ	記調整(職員	∄)	F	ī		8		8		7			7		7			7			7
指	- 07	-19-91E (1190)	~/	į.	-									_		- '			•			
標																						
小示																						
対	受益	者(本戸地区、友	部土地改良区)	J			1,079		1,079		1,079		1,0	79		1,079			1,079		1,0	079
象							, 5		.,,,,,		-,,,,,		-,5	-		, 5			, 3		-,,	
象 指																						
標																	L					
成	用水	でで埋設工	事(県営管)	n	1		1,850		500		1,000		1,0	00		1,182			1,000		1,3	300
果							,				7		-,0			,			,		-,	
指																						
標																						

平成26年3月31日

記入日

	社会情勢の変化・市民ニーズの把握									
事	努事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境	竟の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》								
[C	HECK】事務事業の一次評価									
必		範囲は行政の役割から見て適切か?また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》								
要性	_	の(対象と意図)は総合計画と結びついているか?実態(社会環境の変化)に合っているか? 								
評価	☑ 適切である	国営霞ヶ浦用水事業は、平成20年に小原地内の不動谷津池に農業用水が着水され、各 受								
ІЩ	□ 見直しの余地がある	益地(土地改良区)へ供給するためのかんがい排水事業が必要である。								
有		であったか?工夫をすることで今後,更なる成果向上ができるか?》								
効	④成果の波及効果《全市民,または多くの市民や他の	の施束への液及効果があるか?》								
性評価	☑ 向上の余地がない	各改良区で管理している農業施設などの老朽化や水不足の解消が図られ、各受益地へ気定した農業用水の供給が図られる。								
ТЩ	□ 向上の余地がある	たした辰未用小りが相か回り400。								
効		と削減できないか?(仕様や工法の見直し、市民の協力など)》								
効率性		川減できないか?(業務プロセスの見直し、個々の業務の効率化等、業務委託や臨時雇用等)》								
評価	☑ 削減の余地がない	農業用水を確保するため事業費については13市町の受益面積割合に応じて負担を行って								
	□ 削減の余地がある	いる事から削減余地はない。								
—}	欠評価結果	全体総括(振り返り, 反省点)								
	必要性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がある	老朽化した農業用施設の解消や安定的な用水を確保し農業生産性の向上と農業経営の安								
	有効性 🛛 適切 🗌 見直しの余地がある	定化を図る。必要性及び有効性がともに高く、効率性においても関係機関及び地元土地改								
	効率性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がある	良区との協議検討を行い高めている。								
[A	CTION】事務事業の改革・改善フォロー	ーアップ 前年度の課題や問題点 その他								
①ī	收革·改善案 3前年	F度の改革・改善案 ⑤事務事業を休止, 廃止した場合の成果への影響の有無とその対策								
		● ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・								
		⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動 も含む)								
_										
	牧革・改善案を実現する上で克服するべ 果題と解決方法									
		名称								
		□ 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる □ 統廃合や連携はできない・既に連携している								

【PLAN】事務事業の計画									
総合評価	今後の方向性		評価理由 霞ヶ浦農業用水の受益地(友部土地改良区)に供給するためのかんがい排水事業の推進が必要であるため。						
까다 더 됩니IM	資源配分	現 状 維 持							

			-·· · · <del>-</del>						言ロノ	ヘロ			-3月31日	
[PL	AN】事務事業	美の計画	事務事業都						所属部	部課名	産業経	<b>資部</b>	農村整	備課
				評価区分		事務事業性質	政第	的事業	後期基準		補	所	管省庁	
Ę	事務事業名	石岡台地用水	事業	評価外事		重要事務事業		_	画重点	視点	助市	単独		
					総合	合計画実施計画		0			独	1-1-1		
総				産業のまちづくり〔産		新規・継続		継続				功率		
合:	策 小政策		を実感できる農	林業を振興します	事 業	開始年度	終	了年度			分	77 1		
計		1 農林業	3 - 45 11 316		期	継続事業	単年	度繰返し	共催者•	関係同	体  石	副台地	十地改	良区
画	4 74 - 27   14		こよる農林業の		間				У (   Д	J 4 7 1 - E		. 4 11 - 12		
予	会計	款	項			細目名		連計画	1 1/6 7/ . 🗗	. 7/1.				
算	一般	農林水産業費	農業費	農地費	白岡1	台地用水事業		拠法令	土地改良		→ hm	<i>&gt;</i> 1.	п Л а +	→ fm²
科目							ā	実施手法	(相)	助金の	1 無	須1	旦金の有	!無
	古水古米の	\	allo Impra	*** 기 글로 (구·) = 1대 시/ =	センドムート	**************************************	ナルエ	直営	rt:		1 <del>-1.</del> ** +	E O H	<b>()</b>	· 本本 ) 】
		全体概要及び背景		業計画(主に担当る			于順)		度目標】				容(決算	- 観力
出い	州21年用水: スの200年)	事業計画が制定さ こ「石岡台地土:	・   事業質負 ・   事業買力	担金償還及び施設 の安定した供給のた			乙辺		維持管理	・負担	旦金	24,62	22千円	
水り、	この仮30年に	- 「年回百地工」 議会」、43年には	<ul><li>世   辰未用小</li><li>十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十</li></ul>	ひ女足した供給のだ Cと調整を行う。	_はノ、耳巴	儿以尺凸仅具	、/山 叫		.1反					
		で良区」が設立、4		マーかりまで 11 20										
		台地農業水利事												
		三に国営事業が完												
了し														
		<b>市町村は、これま</b>		H26事業計画			27事業	計画		H28事業計画			-画	
		非水事業の負担会				同左			F	司左				
		水施設の維持管	理											
	分担して支出													
	à囬傾5円1▫ 5内受益地55	「6933. 4 ha												
''	177文盆地36	00. <i>i</i> iia												
5 🖣	事務事業の目	的と手段											単	位
(	<ol> <li>対象</li> </ol>							色設管理道	重営				h	a
1	シベッ 働きかける相	手・もの)	旧岩間地区	用水受益地			象							
Ħ	,,,,	, ,					標							
		意図(どのようにし					5) 注果							
1	ハのか。どうい	う状態にしたいのか	ュ) 生産性の向	上			(未 _ ) 標							
							+	<b>推進協議会</b>	<u> </u>				-	1
手	O □ 44.4.1±.4	ナフェムラササ	地元改良	区役員、関係土地改			9		区(理事会	等)			-	
F/L		さするために実際 ・動(サービス)		減を考慮した上で土 及び運営を行う。	地以艮所		i則							
	日つに打政活	動(アーピス)	/よが出す 目 注	及り生音で行う。		指	信標 -							

## 【DO】事務事業の実施

事	業費	·及て	が指標の推移										_					
			事業費	単位	22年度	(実績)	23年度	(実績)	24年度	(実績)	25年度	(実績)	26年度	(計画)	27年度	(計画)	28年度	(計画)
			国庫支出金	千円														
投		財	県支出金	千円														
入	事業	源内	地方債	千円														
コス	業費	訳	その他	千円														
ト			一般財源	千円		29,108		27,374		25,291		24,622		25,000		25,000		25,000
_			事業費計(ア)	千円		29,108		27,374		25,291		24,622		25,000		25,000		25,000
イ			職員割合	人 千円	0.18	1,350	0.19	1,425	0.32	2,400	0.200	1,500	0.200	1,500	0.200	1,500	0.200	1,500
ンプ	人		時間外	千円														
ッ	件		嘱託臨時	千円														
卜	費		他課の協力分	千円														
)			人件費計(イ)	千円		1,350		1,425		2,400		1,500		1,500		1,500		1,500
	<b>}-</b>	ータノ	レコスト(ア)+(イ)	千円		30,458		28,799		27,691		26,122		26,500		26,500		26,500
		ŧ	旨標区分	単位	22年度	(実績)	23年度	(実績)	24年度	(実績)	25年度	(実績)	26年度	(目標)	27年度	(目標)	28年度	(目標)
活	推ì	<b>售協</b>	議会	口		4		4		4		4		4		4		4
動	土均	也改	良区(理事会等)	口		6		6		6		6		6		6		6
指標																		
対象	施詞	没管	理運営	ha		593		595		595		595		595		595		595
象指																		
標																		
成果																		
指																		
標																		

		市民ニーズの把握					
事	務事業を取り巻く	〈環境《対象や法令	令根拠及	び社会環境	の変化(開始時期	又は5年前との比	(較)・市民からの意見や要望》
	HECK】事務事	<u></u> 業の一次評価					
必	①行政関与の	必要性 《目的達 <sub>周</sub>					?また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》
必要性			意図の妥	当性《目的	(対象と意図)は総合	合計画と結びつい	いているか?実態(社会環境の変化)に合っているか?》
評	□ 適切である						
価	□見直しの余						
有効					あったか?工夫をす D施策への波及効り		更なる成果向上ができるか?》
性評	□ 向上の余地	也がない					
価	□ 向上の余地	也がある					
	⑤事業費の削液	咸余地 《活動量》	を下げず	こ事業費を	 削減できないか?(	仕様や工法の見	上直し,市民の協力など)》
効率	⑥人件費の削減	域余地 《活動量を	下げずに	人件費を削	減できないか?(業)	<b>務プロセスの見直</b>	し,個々の業務の効率化等,業務委託や臨時雇用等)》
性評	□削減の余均	也がない					
価	□ 削減の余均	也がある					
	次評価結果				全体総括(振り返り	, 反省点)	
	必要性	適切      見	直しの余	地がある			
	有効性 🗌	適切 🗌 見	直しの余	地がある			
	効率性 □	適切 □ 見	直しの余	地がある			
[A	CTION】事務事	業の改革・改善		フォロー	ーアップ 前年度の	課題や問題点	その他
1	改革•改善案			③前年	度の改革・改善案		⑤事務事業を休止, 廃止した場合の成果への影響 の有無とその対策
							□影響は大きく、問題の発生が予想される
							一代替案や対策を採ることで対応できる
							□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
$\ $							も含む)
		実現する上で克服	けるべ	<ul><li>④取組</li></ul>			□他に手段がない □他に手段がある(事務事業名・活動名)
さ	果題と解決方法				- / \ / \ /		名称
							■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■
							□統廃合や連携はできない・既に連携している
[P	LAN】事務事業©	の計画					評価理由
	総合評価	今後の方向性	ŧ				r) um de l'
		資源配分					

DI AN	· I de ⊠	本事業の割	. <del>கர்</del>	-	孫事業番	E. E.	10					記入所属部		業経済語	5年3月3	
PLAN	<b>\]</b> 争作	8事業の計	一曲	<del></del>	*伤 尹 未 街	了	10 評価区分	車	務事業性質	五	的事業	後期基本			n) 展刊 所管省F	
事系	务事業			排水事業	美特別会計	繰出		重	要事務事業		— —	画重点視	占助		7 6 67	J
4.7	カチバ	事	务				評価外事業		計画実施計		_	口里州仍	単			
総政	政	(策 2 2	多彩な交流	で飛躍す	る活力ある産	産業のま	ちづくり〔産 業		新規·継続		継続		独区			
合策		政策 2	豊かな恵	みを実愿	なできる農	林業を	振興します	事	開始年度	終	7年度		分	補助率		
計 体		<b>五</b> 策 1	農林業					業期	不明	出在日	上紀1月1	共催者・関			: -\c +#: \#:	<del>+</del>
画 系			健康増進	の生産・	生活環境	づくり		間	小奶	早午/:	え深巡し	ガ 代 付 ・ ド		果洛伊	小推進	主.
予		計	款		項		目	j	細目名		画信					
算		-般 農村	林水産業	費  農	業費	農	<b>退地費</b>	業集落排			L法令					
科										美	施手法	補助	金の有	無	負担金♂	)有:
目 <b>7</b> 本	76-6	W ~ A / I . II	W		T	VII. → 1 →	( ) ) [	10/->	W 34 1 4 7	- 10 - 11T) T	直営	e ele un lord V		·		k-k- ,1
		業の全体機 業特別会		_			(主に担当者 (推進室からの					三度目標】	繰出金	業費の	八谷 (沃 ,991千日	
				F	] <u>L</u>	H26事	業計画		同左	H27事業	計画	同		H28事業	計画	
①;	対象	その目的とう		農	業集落排	水事業				4 対象 指標						単位
① (働 ) (個 ) (② )	対象 Jきかり 事務事		っの) どのように	した 世	·業集落排		り推進									単位
① (働 2 <sup>1</sup> )いの 手記。3	対象 Jきかり 事務事 Dか。 る 目的を	する相手・も	っの) どのように にしたい。 ために実	した 農のか)		水事業の				対象 指標 ⑤ 成果						単位
回 (働 2 い を う 行 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	対象 jきかい 事務事 のか。る 目的を行 事務事	ける相手・も 業の意図( どういう状態 と達成する 可政活動(†	らの) どのように にしたいの ために実 ナービス)	した 農のか)	*業集落排	水事業の				対 指 ⑤ 成 指 ⑥ 毛 動						単位
(働 2)いの 年 3)行	対象りきかり事務事のからの目的を行事務事	する相手・も 業の意図( どういう状態 と達成する す政活動(† 事業の実施 指標の推	らの) どのように にしたいの ために実 ナービス)	か) 農際に 一	業集落排	水事業の				象標						
(働 2)いの 年 3)行	対象りきかり事務事のからの目的を行事務事	する相手・も 「業の意図( どういう状態 と達成する・ 下政活動(・ 「事業の実施 指標の推利 事業費	かの) どのように にしたい。 ために実 ナービス) i	にした のか) 勝に 単位	*業集落排	水事業の		i) 24年	手度(実績)	対 指 ⑤ 成 指 ⑥ 毛 動	<b>泛績)</b> 26	6年度(計画)	27年度	*************************************		
① (働 ② いん ここ (3) 行 の (7) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1	対象のおります。これでは、おります。これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、	する相手・も 業の意図( どういう状態 と達成する す政活動(† 事業の実施 指標の推	かの) どのように にしたい。 ために実 ナービス) i	か) 農際に 一	業集落排	水事業の		<b>夏</b> ) 24年	F度(実績)	象標	<b>〔</b> 績〕	6年度(計画)	27年度	<b>E</b> (計画)		
① (働 ② い の 3 行 子 業 費	対象のきかい。の目のたちのでは、一手を表している。	する相手・も 「業の意図( どういう状態 と達成する・ 下政活動(・ 「事業の実施 指標の推利 事業費	かの) どのように にしたいな ために実 ナービス) 1	にした のか) 勝に 単位	業集落排	水事業の		貢) 24年	F度(実績)	象標	至績) 26	5年度(計画)	27年度	<b>E</b> (計画)		
① (働 ② ③ 行 ) (不 ) (不 ) (不 ) (不 ) (不 ) (不 ) (不 ) (不	対象のきかい。の目のたちのでは、一手を表している。	する相手・も 「業の意図( どういう状態 と達成する 可政活動(も 事業の実施 指標の推揮 事業費 国庫支	かの) どのように にしたいな ために実 ナービス) 「 多	にした (た)(か) (	業集落排	水事業の		i) 24年	F度(実績)	象標	<b>を績)</b> 20	3年度(計画)	27年度	<b>E</b> (計画)		
① (側 ② ② ③ (小 ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	対象のきかい。の目のたちのでは、一手を表している。	する相手・も 「業の意図( どういう状態 に達成する(す な) 「政活動(す 事業の実施 指標の推 事業費 国庫支 地方付	かの) どのように にしたい。 ために実 ナービス) 「 多	にした (P)か) (P) (P) (P) (F) (P) (F) (F) (F) (F) (F) (F) (F) (F) (F) (F	業集落排	水事業の		訂) 24年	F度(実績)	象標	<b>経績)</b> 26	6年度(計画)	27年度	₹(計画)		
① (側 ② ② ③ (側 ② ③ (力 ) ② 3 (力 ) ( ) (	対象のきかい。の目のたちのでは、一手を表している。	する相手・も 「業の意図( どういう状態 と達成する で 下政活動(も 事業の実施 事業 国庫支出 地方に そのの	かの) どのように だしたいな ために実 ナービス) 1 多 出金 日金	にした (P)か) (P) (P) (P) (P) (P) (P) (P) (P) (P) (P)	22年度	水事業の	23年度(実績			対 集標				<b>E</b> (計画)		
① (側 ② ② ③ (側 ② ③ (力 ) ② 3 (力 ) ( ) (	対きかい 事かい もた 事か もた 事が もた 事が りた 事が りた りた りた りた りた りた りた りた りた りた りた りた りた	する相手・は 業の意図( どういう状態 と達成する 行政事業の実施 指標の推 事業 軍 東 支 地方の 一般財	かの) どのように といい ために実 ナービス) き 当金 日金 世 世 世 世 が アード	にした (P)か)	22年度 22年度	水事業の	23年度(実績 281,47	75	286,552	対集標 (5) 果標 (6) 活指標 25年度(年) 293	,991	321,818			28年度	
① (働 ② ② )	対きかい 事かい もた 事か もた 事が もた 事が りた 事が りた りた りた りた りた りた りた りた りた りた りた りた りた	する相手・も 業の意図( を達成する で変活動( を 事業の 事業費 は でのの 一般 を を は を を を を を を を を を を を を を を を を	かの) どのようににしたいなために実ナービス) 3 出金 日金 け源 ア)	にした (た)か)	22年度 22年度 22年度	水事業の の繰出 (実績) 79,474 79,474	23年度(実績	75	286,552 286,552	対象 指 ⑤ 成指標 ⑥ 活指標 25年度(9 293 293	,991 ,991	321,818 321,818		0	28年度	
1   1   1   1   1   1   1   1   1   1	対きかい 事かい もた 事か もた 事が もた 事が りた 事が りた りた りた りた りた りた りた りた りた りた りた りた りた	する相手・も 業の意図( どういう状態 を下政 実施 指標 要 国 県 地 方の 一般 果 事業 員割名	かの) どのように にしたいる ために実 ナービス)  3 出金 出金 は で は は で は な は な に は な に は な は な は な は な は な は な	にした (P) (P) (P) (P) (P) (P) (P) (P) (P) (P)	22年度 22年度 22年度	水事業の	23年度(実績 281,47	75	286,552 286,552	対集標 (5) 果標 (6) 活指標 25年度(年) 293	,991	321,818 321,818		0	28年度	
①(働) ②(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	対きかい 事かい もた 事か もた 事が もた 事が りた 事が りた りた りた りた りた りた りた りた りた りた りた りた りた	する相手・も 業の意図( を達成する で変活動( を 事業の 事業費 は でのの 一般 を を は を を を を を を を を を を を を を を を を	かの) どのように にしたいる ために実 ナービス)  3 出金 出金 は で は は で は は な は な に は な は な は な は な は な は な な は な な な な	にした (た)か)	22年度 22年度 22年度	水事業の の繰出 (実績) 79,474 79,474	23年度(実績 281,47	75	286,552 286,552	対象 指 ⑤ 成指標 ⑥ 活指標 25年度(9 293 293	,991 ,991	321,818 321,818		0	28年度	
The state of t	対き 事か 目の 事及 財源内訳 前た で ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	する相手・も 業の意図( どういう状態 を下政 実施 指標 要 国 県 地 方の 一般 果 事業 員割名	かの) どのように にしたい ために 実) 1 金 日金 上	にした (P) (P) (P) (P) (P) (P) (P) (P) (P) (P)	22年度 22年度 22年度	水事業の の繰出 (実績) 79,474 79,474	23年度(実績 281,47	75	286,552 286,552	対象 指 ⑤ 成指標 ⑥ 活指標 25年度(9 293 293	,991 ,991	321,818 321,818		0	28年度	
The arrange of th	対き 事か 自つ 事及 財源内訳 関源内訳	する相手・は 業の意図能 変形 実施 実施 実施 事業 国 県 地 その 最 ま で の 最 ま で の 最 ま で の 最 ま で の 最 ま で の 最 ま で の 最 ま で の 最 ま で の 最 ま で の 最 ま で の 最 ま で の ま で で で の ま で で で で	かの) どのようににしたい ために実ナービス) 1 後 世金 日金 世源 ア) テ	にした (た) (か)	22年度 22年度 22年度	水事業の の繰出 (実績) 79,474 79,474	23年度(実績 281,47	75	286,552 286,552	対象 指 ⑤ 成指標 ⑥ 活指標 25年度(9 293 293	,991 ,991	321,818 321,818		0	28年度	
1   1   1   1   1   1   1   1   1   1	対き	する相手・は「業のののでは、大きな」とでは、大きなが、大きなが、大きなが、大きなが、大きなが、大きなが、大きなが、大きなが	かの) どのようににしたいなために実力・ビス) と 金 は金 情 也 原 ア) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	にした (か)	22年度 22年度 22年度	水事業の たの繰出 (実績) 79,474 79,474 0	23年度(実績 281,47	75	286,552 286,552 0	対象 指 ⑤ 成指標 ⑥ 活指標 25年度(9 293 293	,991 ,991 173 0.	321,818 321,818 023 173	0.023	0 173	0.023	
The arrange of th	対き 事か 目の 事及 財源内訳 (1)	する相手・は 業の意図能 変形 実施 実施 実施 事業 国 県 地 その 最 ま で の 最 ま で の 最 ま で の 最 ま で の 最 ま で の 最 ま で の 最 ま で の 最 ま で の 最 ま で の 最 ま で の 最 ま で の ま で で で の ま で で で で	かの) どのように にしたい ために 実) 1 金 1 金 1 か ア) ト テ カ イ)	にした (た) (か)	22年度 22年度	水事業の の繰出 (実績) 79,474 79,474	23年度(実績 281,47 281,47	75 0	286,552 286,552	対象 指 (5) 成 指標 (6) (5) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	,991 ,991	321,818 321,818	0.023	0	28年度	

活動指標 対象指標成果指標

		市民ニーズの把握					
事	務事業を取り巻く	〈環境《対象や法令	令根拠及	び社会環境	の変化(開始時期	又は5年前との比	(較)・市民からの意見や要望》
	HECK】事務事	<u></u> 業の一次評価					
必	①行政関与の	必要性 《目的達 <sub>周</sub>					?また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》
必要性			意図の妥	当性《目的	(対象と意図)は総合	合計画と結びつい	いているか?実態(社会環境の変化)に合っているか?》
評	□ 適切である						
価	□見直しの余						
有効					あったか?工夫をす D施策への波及効り		更なる成果向上ができるか?》
性評	□ 向上の余地	也がない					
価	□ 向上の余地	也がある					
	⑤事業費の削液	咸余地 《活動量》	を下げず	こ事業費を	 削減できないか?(	仕様や工法の見	上直し,市民の協力など)》
効率	⑥人件費の削減	域余地 《活動量を	下げずに	人件費を削	減できないか?(業)	<b>務プロセスの見直</b>	し,個々の業務の効率化等,業務委託や臨時雇用等)》
性評	□削減の余均	也がない					
価	□ 削減の余均	也がある					
	次評価結果				全体総括(振り返り	, 反省点)	
	必要性	適切     見	直しの余	地がある			
	有効性 🗌	適切 🗌 見	直しの余	地がある			
	効率性 □	適切 □ 見	直しの余	地がある			
[A	CTION】事務事	業の改革・改善		フォロー	ーアップ 前年度の	課題や問題点	その他
1	改革•改善案			③前年	度の改革・改善案		⑤事務事業を休止, 廃止した場合の成果への影響 の有無とその対策
							□影響は大きく、問題の発生が予想される
							一代替案や対策を採ることで対応できる
							□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
$\ $							も含む)
		実現する上で克服	けるべ	<ul><li>④取組</li></ul>			□他に手段がない □他に手段がある(事務事業名・活動名)
さ	果題と解決方法				- / \ / \ /		名称
							■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■
							□統廃合や連携はできない・既に連携している
[P	LAN】事務事業©	の計画					評価理由
	総合評価	今後の方向性	ŧ				r) um de l'
		資源配分					

動指

標対

象指標成

果指標

活動報告会

活動組織

活動面積

口

地区

ha

記入日 平成26年3月31日 【PLAN】事務事業の計画 事務事業番号 所属部課名 産業経済部 農村整備課 事務事業性質 政策的事業 評価区分 後期基本計 補 所管省庁 肋 事務事業名 農地,水保全管理支払交付金事業 画重点視点 重要事務事業 各行政が連合会に交付金 評価事業 畄 国・県補助を納付し、連合会から各組 総合計画実施計画 歳に交付される 独 **補助率** 国:1/2、県: 政策 2 多彩な交流で飛躍する活力ある産業のまちづくり〔産 業〕 新規・継続 継続 政 総 区 2 豊かな恵みを実感できる農林業を振興します 1/4市:1/4 策 小政策 開始年度 終了年度 合 計 体 施策 農林業 土地改良事業団体連合 期 H30 共催者・関係団体 H19 画 系 会,土地改良運営協議会 小施策 自然と共生による農林業の展開 関連計画 会計 項 目 細目名 ·船 農林水産業費 農業費 農地費 農地 · 水保全管理支払交付金事業 根拠法令 農地•水保全管理支払交付金要綱 算 科 実施手法 補助金の有無 負担金の有無 E 【事務事業の全体概要及び背景】2 【H25事業計画(主に担当者が行う業務内容及び手順)】 3【年度目標】 4【事業費の内容(決算額)】 地域共同の活動により保全管理さ 事業の周知。 活動組織の要望 9,165千円 負担金 需用費 れてきた農地・農業用水等の資源 活動組織に対し、次年度の要望調査。 を聴取し、次年度 110千円 が、近年における農村の過疎化、高 活動報告会を実施。 以降の事業実施 合計 9,275千円 齢化、混住化等の進行に伴う集落機 実績報告書確認し、県北地域協議会に提出。 に備える。 能の低下により、その適切な保全管 理が困難となっている状況にある。 れら農地を中心とした資源の保全管 理は、地域主体の取組を強化するこ H26事業計画 H27事業計画 H28事業計画 要望量に基づき6月補正で交付金単 とが重要となっている。 新規申請の組織があれば採択申請 同左 このため、平成19年度より5年間、 価増額分を確保する。 に向け書類審査を行う。 地区環境の良好な保全と質的向上を 採択申請に向け書類審査を行う。 次年度要望量調査を実施する。 次年度要望量調査を実施する。 図る地域共同の組織作りへの支援が 活動報告会を行う。 実施された。平成23年度終了を予定 していたが、今後も必要な事業として 実績報告書を確認し、県北地域協議 活動報告会を行う。 実績報告書を確認し、県北地域協議 会に提出。 平成24年度より第2期事業が開始さ 会に提出。 れた。平成26年度より、交付内容の 組替、創設があり、多面的機能支払 制度として新規スタートする。 5 事務事業の目的と手段 単位 (4) 活動組織 地区 ①対象 対象 事業認可組織(地区住民) (働きかける相手・もの) 目 指標 農業者及び農業者以外を含めた地区住民による活動組織におい 的 (5)活動面積 ha ②事務事業の意図(どのようにした て農村環境、資源の保全管理に対し活動支援を行う。本事業(支 成果 いのか。どういう状態にしたいのか) 援)が完了した後でも、組織が永続的に農村環境の維持保全活動 指標 地元•関係機関調整 (6) 土地改良事業団体連合会を経由して交付金交付。 事業説明会 丰 ③目的を達成するために実際に 採択申請及び実績報告書の書類審査。 活動 段 活動報告会 事業内容の周知、活動状況の確認、研修会の開催 行った行政活動(サービス) 指標 【DO】事務事業の実施 事業費及び指標の推移 事業費 単位 22年度(実績) 23年度(実績) 24年度(実績) 25年度(実績) 26年度(計画) 27年度(計画) 28年度(計画) 国庫支出金 千円 財 県支出金 千円 投 源 事 地方債 千円 内 業 コ 千円 その他 訳 費 ス 一般財源 千円 4,499 4,499 5,629 9,275 13,156 13,156 13,156 1 事業費計(ア) 千円 4,499 4,499 5,629 9,275 13,156 13,156 13,156 1 4,050 職員割合 千円 0 0 0.540.463 3,473 0.463 3,473 0.463 3,473 0.463 3,473 時間外 千円 48 50 70 80 70 70 70 件 嘱託臨時 千円 ツ 書 1 千円 他課の協力分 人件費計(イ) 千円 48 50 4.120 3.553 3,543 3,543 3,543 トータルコスト(ア)+(イ) 千円 4,547 4,549 9,749 12,828 16,699 16,699 16,699 22年度(実績) 単位 23年度(実績) 24年度(実績) 25年度(実績) 26年度(目標) 27年度(目標) 28年度(目標) 指標区分 地元•関係機関調整 口 15 20 20 20 15 15 15 活 事業説明会 回 1 1 1 1

1

11

409

18

581

21

782

1

22

903

22

903

22

903

1

11

社会情勢の変化・市民ニーズの把握

事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》

平成19年に本事業がスタートし、平成24年に第2期もスタートしたが、事業期間満了を待たず、平成26年度より事業の組替えが行われ、事業自体も拡充されることになった。

#### 【CHECK】事務事業の一次評価

	ECK 事初事术。 KIT III						
必		節囲は行政の役割から見て適切か?また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》					
要	②総合計画との整合性,対象と意図の妥当性《目的	(対象と意図)は総合計画と結びついているか?実態(社会環境の変化)に合っているか?》					
必要性評例	☑ 適切である	国・県からの助成もある事業であり、また地元からの取組の要望も多いため適切である。					
価	□ 見直しの余地がある	ロ /iiii ファウルのCon Wiff Con					
	③成果の向上余地《成果は,昨年度と比べてどうで	あったか?工夫をすることで今後,更なる成果向上ができるか?》					
有効	④成果の波及効果《全市民,または多くの市民や他の	D施策への波及効果があるか?》					
性評	☑ 向上の余地がない	昨年レルベイを東米亜切地区が描きてむり重ねる効果が期待できる					
価	□ 向上の余地がある	昨年と比べても、事業要望地区が増えており更なる効果が期待できる。					
	⑤事業費の削減余地 《活動量を下げずに事業費を	削減できないか?(仕様や工法の見直し,市民の協力など)》					
効率	⑥人件費の削減余地 《活動量を下げずに人件費を削	減できないか?(業務プロセスの見直し、個々の業務の効率化等、業務委託や臨時雇用等)》					
性評	☑ 削減の余地がない						
計価	□ William V Hr SA A	事業推進に係る経費及び、負担金のみのため、経費の削減余地は無い。					
	□ 削減の余地がある						
—}	大評価結果	全体総括(振り返り, 反省点)					
	必要性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がある						
	有効性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がある	農地や農業施設の維持管理において有効な事業であり、引き続き農地を守っていくという 目標が達成できた。これからも必要な事業である。					
	効率性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がある						

### 【ACTION】事務事業の改革・改善

①改革•改善第	案
②改革・改善等き課題と解決に	案を実現する上で克服するべ 方法

フォローアップ 前年度の課題や問題点

#### ③前年度の改革・改善案

遊休農地の解消に難あり。各組織において、申請地域内の筆全てを把握し、対応いただく必要がある。地番と地目のみを記載した公図を渡し、各組織で対応いただく。

#### ④取組状況

笠間地区10組織 友部地区7組織

岩間地区4組織 計21組織 785.7ha

#### その他

(5)	事務事業を休止,	廃止	した場	台の原	又果へ	の影響
の	有無とその対策					

✓影響は大きく、問題の発生が予想される一代替案や対策を採ることで対応できる

⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動 も含む)

✓ 他に手段がない

─ 他に手段がある(事務事業名・活動名)

名称

■他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる■ 統廃合や連携はできない・既に連携している

#### 【PLAN】事務事業の計画

総合評価	今後の方向性		評価理由 国補事業でもあり、また地元の要望も多い状況であることから、必要性 の高い事業である。
₩S 口 # T   Щ	資源配分	現 状 維 持	

[PI	_AN	】事務事業	の計画		事	務事業都	番号	12										医第	<b>美経済</b> 音	郛)	農村	整備課
								評価区分	7		事業性質		政策的	事業		期基本		甫	F.	折管	省广	Ī
	事務	事業名	土地改良助	力成為	事業			評価事業	É		事務事			-	画	重点視	点り	がし	市単独			
400	Th.	政策	2 多彩な交流	ホベ和	医明十2	江力なる	产業のま		希		画実施記 見•継続		継続				<u></u>	虫		—fe vii	Iz alda	
	政策	小政策	2 豊かな見								開始年月		終了				[2 分		補助率			50%以内 50万)
	体	施策	1 農林業	<u> </u>	د کری		CHINCE	111111111111111111111111111111111111111		<b>É</b>					11. 79	u →v ===						
画		小施策	2 自然と共	<b>に生り</b>	こよる鳥	農林業の	展開		月	明 罰	不明	単	中度	繰返し	共作	産者・関	係団体	本				
3	ř	会計	款			項		1			目名		関連									
写		一般	農林水産業	*費	農	業費		<b>農地費</b>	農地費	標準的事	事業(農地整	(備G)	根拠						事業補			
<b>利</b>														恒手法 直営		補助	金の有 	手洪	<b>共</b>	負担		有無
		タ 車 業 の 全	    体概要及び	(北阜	景】2	【山95車	- 森 計 型	(主に担当す	とが行	ふ業系	女内宏及	ケアドチル		<u>1 呂</u> 3 【年	庶日	/ / / /	_	<b>‡</b> ; ≥	業費のほ	力尔	() () ()	質妬)
			推進を図るた			助対象均			3 W-11	ノ未が	为F1合以	(()、于)!		関係機			職員				330千	
			整など総括					ライン工事、	日草	場地[	区:排水	路整備	前、	整及ひ	ド、補.	助対	旅費				10千	-円
			内の公共性					修繕、稲田:									需用				37₹	
			§が必要な維 事費の2分⊄			:分水枡 戸ポンフ		甲辺地区:水	(中ボ)	ンプタ	· 換、中:	央地区	.: 深	金交付	を行	う。	負担補助				593千 50千	
			事員い2万0 助し、農地及					欠第対応									1111147	ΔZ.		5,4	:00	1 1
			維持管理を			- 10/1																
			を備された施			1 70 74+ 1		業計画				H27事	<b>事業計</b>	画				Н	[28事業	計i	画	
			進んでおり、			、規模土 助対象→																
	備事業認可を受けることも困難な 兄の中にあっては、地元要望に					方原地区																
II .			要不可欠な見					火第検討す	る。													
業~	きである。																					
			// ) rn																			)/ /I
5	事務	事業の目的	的と手段									(4)	1	改良	<del>√</del> →	· 壬山火口 »	Δ.					単位 団体
	(I)対				+	地改良区	. 水利約	合等				対象		以及以	<u> </u>	、个月市且行	<u> </u>				Į į	<u> </u>
目	(働:	きかける相	手・もの)				-7 \ \ 1 \ -1 \ 1 \ 1 \ 1 \ 1 \ 1 \ 1 \ 1	-11 11				指標										
的	② <b></b>	・ 経事業の音	意図(どのよう)	171.7	農	農業用施設の適正な維持管理に対する補 安定した生産と作業効率向上及び施設の:					により、	(5)	⑤ 改修完了地区							;	地区	
			状態にしたい		女.	定した生) 図る	産と作業	効率向上及	び施設	どの長	寿命化	成果										
					12 k	직신						指標		改修即	<b></b>							件
手	<u>ത</u> ⊧	のおかまます。	十フェムリアロ	± 1747 )	公 公	益的な農	業用施調	2の早期に改	で修す7	とめ助	成を行	⑥ 近新	+4h ==	記調整(		)						回
段			するために写 動(サービス		ر اخ،							活動 指標										
7-				/								10/15										
	_	務事業の																				
<b>争</b> =	長賃.	及び指標の		Υ	\\	99 <i>F</i> #	: ( 字(主)	99年度/史	(生) (2	4年 🖶	(字建)	9F/FF	在(空	志) 0.0	左曲	(⇒). ;;; \	97/T	库	(≟J. क्कः)	0.0	左曲	(\$l.æ.)
		事業費			<u> </u>	22年度		23年度(実		4牛皮	(	25年月	支(夫)	項月 26年	午度	(計画)	27年)	皮	(計画)	28	<b>平</b> 皮	(計画)
			車支出金		千円		0		0		0			-			1					
投	車	財県	支出金		千円		0		0		0						1					
入	学業	内	也方債		千円		0		0		0						1					
コス	事業費	訳	その他		千円		0		0		0											
<b>ト</b>			般財源		千円		500		500		2,500		6,5			4,070			4,070			4,070
		事業費	計(ア)	=	千円		500		500		2,500		6,5			4,070	)		4,070			4,070
イ		職員	割合	人	千円		0		0	0.32	2,400	0.440	3,3	00 0.4	440	3,300	0.440	)	3,300	0.4	140	3,300
ンプ	人	時	間外	=	千円		0		0													
ノツ	件	嘱託	臨時	-	千円		0		0													
١	費		協力分		千円		0		0													
$\smile$			計(イ)		<u>千円</u>		0		0		2,400		3,3	00		3,300			3,300			3,300
	<b> -</b>	-タルコスト			<u>- 1 7</u> 千円		500		500		4,900		9,8			7,370			7,370			7,370
		指標区分			<u>- 1 7 —</u> 单位	22年度	(実績)	23年度(実		4年度		25年月		_	年度			度		28	年度	
	加重	设修助成			<u>件</u>	F/X	2	-0 1 及(天	1	11/2	14	10 TE	~ ( ) /	7	IX	、口·环/	2.7	_	(HINT)	20	IX	(日:)示/
活		元調整(職員												7			1					
動指	エピフ	L 神 釜 ( 東 )	₹/		口		6		5		7			- 1			1					
招標									$\perp$								1					
		1.3/ -	L 40/200 A		71.71									10			1					
対象	土均	也改良区、万	水利組合	5	団体		40		40		40			40			1					
%指																						
標																						
成	改作	8完了地区		ŧ	也区		2		1		14			7								_
果ぉ																						-
招標	指																					
						-			1			_										

記入日 平成26年3月31日

	会情勢の変化・市民ニーズの把握	
事	努事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境	ぎの変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》
[C	HECK】事務事業の一次評価	
		節囲は行政の役割から見て適切か?また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》
必要	②総合計画との整合性、対象と意図の妥当性《目的	(対象と意図)は総合計画と結びついているか?実態(社会環境の変化)に合っているか?)
性評価	<ul><li>☑ 適切である</li><li>□ 見直しの余地がある</li></ul>	土地改良区等が管理している農業施設(水路等)や設備に対する維持補修費にかかる助成を行い、農家負担の軽減を図る。
	③成果の向上余地《成果は, 昨年度と比べてどうで	ー あったか?工夫をすることで今後,更なる成果向上ができるか?》
有効	④成果の波及効果《全市民, または多くの市民や他の	の施策への波及効果があるか?》
%性評価	<ul><li>☑ 向上の余地がない</li><li>□ 向上の余地がある</li></ul>	農地にかかる用排水路は公共公益的機能があるため、一部助成することによって市の負担 軽減につながり有効である。
اماد	⑤事業費の削減余地 《活動量を下げずに事業費を	削減できないか?(仕様や工法の見直し,市民の協力など)》
効率	⑥人件費の削減余地《活動量を下げずに人件費を削	減できないか?(業務プロセスの見直し,個々の業務の効率化等,業務委託や臨時雇用等)》
性評	☑ 削減の余地がない	     
一個	┃   削減の余地がある	公共公益的機能のある農業施設の維持管理を土地改良区等が通年管理することにより効  率的である。
— i	欠評価結果 	全体総括(振り返り, 反省点)
	必要性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がある	農業生産力と作業効率向上及び農村環境の改善に有効な整備事業であり必要性、有効
	有効性 🛛 適切 🗌 見直しの余地がある	性 性
	効率性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がある	及び効率性ともに高い。
(A	CTION】事務事業の改革・改善フォロー	- アップ 前年度の課題や問題点 その他
10	改革•改善案 ③前年	:度の改革・改善案 ⑤事務事業を休止,廃止した場合の成果への影響 の有無とその対策
		■ ▼影響は大きく, 問題の発生が予想される □ 代替案や対策を採ることで対応できる
		THE CAR EMBLE CAME COS
		⑥類似事業との統廃合・連携の可能性(民間活動も含む)
	牧革・改善案を実現する上で克服するベー 果題と解決方法	
211	林园と胜伏万伝	名称
		□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

【PLAN】事務事業の	の計画		
総合評価	今後の方向性		評価理由 当事業は笠間市農業振興対策事業補助金等交付要綱に基づいて 行っている事から縮小及び廃止は出来ない。
於公口 4十11四	資源配分	現 状 維 持	

実	施計画•事務事業評価共通調書																	
					7. <b>ロ</b>	1.0							-		75.3			
ĮΡΙ	_AN	事務事業の	り計画 ニュー	事務事業都	子方	13 評価区分		-	F務事業性質	沪	7-14-∋Л. т	整備事業		所属部課名	産ョ			村整備課
	<b></b>	古光力	農業競争力強	化基盤整備事業	밭(北	評価区グ	ゴ				建议 *	<b>於伽爭</b> 兼		期基本計	助	)	听管省 「	ョ厂
	争務	事業名	川根地区)			評価事業	<b>É</b>		[要事務事] 計画実施計				凹	重点視点	単	国·県補助	萝	<b>茨城県</b>
. n	I	TL 555	0 434555	歌田 ナッパ ナナッ	*** ~ +·	ト ぶんかくさい						C.+B			独			
総	政	2 -7 1 -	2 多彩な交流でき				<b>美</b> 」	事	新規・継続			規			区	補助率	国50、	県27.5、市 地元12.5%
台	策体			を実感できる農	外 業を	振興しよう		業	開始年度	Ę	於	7年度			分	10 .1. #	•	
計画	14 系	7	1 農林業	ァレス曲 壮光の	<b>〒</b> 田			期	平成25年	度	平成	30年度	共作	産者・関係国	団体	県央農		務別 営協議会
		4 /4-2/14		こよる農林業の	<b></b>			間	√m □ <i>b</i> 7		88,5	H⇒Last				工地以		呂協議云
_` 	<u>۲</u>	会計	款 農林水産業費	項 農業費	d				細目名			<ul><li>計画</li><li>U法令</li></ul>	1.4	1474 白 江				
多禾	31	一般	层外水压美貨	辰耒貨	厅	を 地質	農薬頭*	争刀強1	化基盤整備事業(北川村	及地区)			工月	也改良法	\ <del></del>	iur.	± +⊓ ∧	の七年
作	ቶ 										夫	施手法		補助金の	ノ有き	無 多	!担金	の有無
		ケ市光の人	/	allo Irrora	ᄴᅿ	(-) tu //-	+ >×/	<u>. → &gt; :</u>	₩ マト ᠨ /- /- /- T	~ N T	- 1d22 \ ¶	直営	nte 🗆		T -== :	光曲の	<u> </u>	
			体概要及び背景						業務内容及	び手	-順)】		度目					決算額)】
			盤整備が行われ		区(仁己	5田)用水機	場形	さ計	<b>委</b> 託					設計業 負	<b>担金</b>	3,0	000千	·円
			20a程度となって D流量が安定せ									務の完	: 1					
			フ加里か安定で の老朽化も進み															
			が不動谷津池															
			、本用水を利用															
			備を行い、農業															
			による効率化を		H26事業計画					H27事業計画					F	H28事業	計画	
),	営農	の合理化と	安定化を目標。	とし・北川根地	·北川根地区(仁古田)用水機場の					·北川根地区(住吉)月				・北川村	退地	区(長月	(路)月	11水機場
と豊	豊かれ	な農村集落	を建設するもの	で整備					備				の整備					
ある	ó.			•北川根地	区(住き	引用水機場	設計		•北川根地	区(县	<b>長兎路</b>	)用水機	場影			区(湯崎	5)用フ	水機場設
				委託					計委託					計委託				
5	車級	事業の目的	り上の															単位
, .			元十段							4	一	<u> </u>	- 如 十	:地改良区	組合	旨の一	部)	人
	<b>①</b> 太			土地改良事		内の				対象		二十 (久	. 다니 그	.地以区区	рп. П	只以	(rid	八
目	(働き	きかける相目	手・もの)	土地所有者						指標	要							
的	<u> </u>									5		備進捗3	枢(非	/川根地区	)			%
	(2)事	孫事業の意	図(どのようにし)	た、農業生産力	と作業交	加率向上及び	農村	環境	竟の改善	成身		VIII. C 12	1 (12		·			/ -
	(10)	か。とりいり	伏態にしたいのか	4)						指標								
				旧が古光子	H-1.7510	電,油田山	+ , IF→	n 7	가 田HF-J	6	地	元役員会	会					П
手	(3) E	的を達成っ	するために実際			、霞ヶ浦用水				活動	* 1 地	元調整			П			
段			り (サービス)		路等の再整備を行なう。現地施工の際、地 び地権者の意見調整を行う。				山川以只汉	指標   関係機関との調				調整				口
	13	1-11-501113	()						10.0	3,								

#### 【DO】事務事業の実施

	事業費及び指標の推移												
			事業費	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)	27年度(計画)	28年度(計画)		
			国庫支出金	千円									
投		財	県支出金	千円									
入	事業	源内	地方債	千円									
コス	業費	訳	その他	千円									
ト			一般財源	千円				3,000	14,910	19,605	19,605		
· (			事業費計(ア)	千円	0	0	0	3,000	14,910	19,605	19,605		
イ			職員割合	人 千円	0	0	0	0.398 2,985	0	0	0		
プ	人		時間外	千円									
ッ	件		嘱託臨時	千円									
1			他課の協力分	千円									
)			人件費計(イ)	千円	0	0	0	2,985		-	0		
	<b>}</b> -	ータノ	レコスト(ア)+(イ)	千円	0	0	0	5,985	-		19,605		
			旨標区分	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)		
活			員会	回				5					
動	地ラ			回				10					
指標	関係	系機	関との調整	囯				20					
対象	受益者	針(友語	部土地改良区組合員の一部)	人				286					
多指													
標													
成里	整備	推:	涉率(北川根地区)	%				5					
果指													
標													

	会情勢の変化・市民ニーズの把握 務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境	竟の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》
	CHECK】事務事業の一次評価	範囲は行政の役割から見て適切か?また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》
必要性評価	②総合計画との整合性,対象と意図の妥当性《目的 ☑ 適切である	即曲は11或の役割から兄で適切が、また旧民の息向や社会の委請から兄で適切が、例     は対象と意図)は総合計画と結びついているか?実態(社会環境の変化)に合っているか?     県営事業で整備するため、国・県費補助により地元負担(受益者及び市)の軽減が図られる。
有効性	③成果の向上余地《成果は、昨年度と比べてどうで ④成果の波及効果《全市民、または多くの市民や他の	  *あったか?工夫をすることで今後,更なる成果向上ができるか?》 の施策への波及効果があるか?》 
評価	□ 向上の余地がある	農地の集積や道路・水路・排水などの農業用施設の再整備を図るうえで有効であり、向上の余地はない。 ・削減できないか?(仕様や工法の見直し、市民の協力など)》
効率性評価	⑥人件費の削減余地《活動量を下げずに人件費を削 ☑ 削減の余地がない	減できないか?(業務プロセスの見直し、個々の業務の効率化等、業務委託や臨時雇用等)》 農業後継者(担い手)の育成や農業生産性の向上と農村地域の環境改善に有効的であり、 効率性も高く削減の余地はない。
	次評価結果     必要性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がある     有効性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がある     効率性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がある	全体総括(振り返り, 反省点) 事業目標となる農業生産力と作業効率向上及び農村環境の改善に有効な整備事業であり 必要性、有効性及び効率性ともに高い。
		-アップ 前年度の課題や問題点 -アップ 前年度の改革・改善案  「⑤事務事業を休止, 廃止した場合の成果への影響の有無とその対策  「▽影響は大きく, 問題の発生が予想される  □代替案や対策を採ることで対応できる
	改革・改善案を実現する上で克服するべ課題と解決方法	(⑥類似事業との統廃合・連携の可能性(民間活動も含む)  ☑ 他に手段がない □ 他に手段がある(事務事業名・活動名)  名称 □ 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる □ 統廃合や連携はできない・既に連携している

【PLAN】事務事業	の計画		
総合評価	今後の方向性	2-14-17-17-17-17-17-17-17-17-17-17-17-17-17-	評価理由 当事業は土地改良法に基づいて行っている事から縮小及び廃止は出来ない。
₩☆ □ 廿一   Щ	資源配分	現 状 維 持	北川根地区については平成30年度完了予定。

[PI	LAN.	】事務事業	の計画		手剂	务爭業者	皆号	14							<b>所</b> 履	部課名	産	<b>美経済</b>	北 農	<u> 村整備</u> 課	
								評価区	分		事業性質		政策的事	業	後期基		補		所管省	<b></b> 1	
	事務	事業名	土地改良▷	[事務]	事業			評価事	华		事務事				画重点	視点	助単	市単独			
		.1 1-1-									画実施記		<u> </u>				独	114 1 322			
	政	政策	2 多彩な交流								見・継続		継続	der .			区	補助率	3		
合	策	小政策	2 豊かな見	!! ひを!	<b></b> 表感	ぐさる農	杯業を	振興します	Γ	事業	開始年度	芝	終了年月	艾			分				
計画	体区	施策	1 農林業	[. /[.) = '	1. у ш	م کلادیا ا				期	継続事業	と 単	4年度繰	返し	共催者	•関係E	団体	(旧)随	分附・(1	日)友部中 大沢地区	
	系	小施策	2 自然と共	で生べ.				П		間	7 /2		日日・士・コーニ	:				大工地	以民区、	人伙地区	
		会計	款 農林水産業	と 非	曲 3 工	<sub>貝</sub> と費	<b></b>	目 製地費		細	1名 2区事務	Śr.	関連計画 根拠法4		(注字)	**・明士	油田	1. 公久/1	î		
争	早 斗	一般 一般	農林水産業			ドダ ド費		支地質 <u></u> 農地費			マム 尹 /6 事務 (臨		実施引					b金条例 ₩ -		の有無	
	7	一月又	辰怀小生未	き貫	辰ラ	卡貝	厅	文地員 工地以及区			事伤 (	144)	<b>天</b> 旭日 直営							の有無	
		タ 車 紫 の 今	 :体概要及び	(北县)	1	【口の5重	**************************************	(十)>扣斗	4 老がん	行う業業	大山宏石	フドチリ			を目標】	_	【車:	**		決算額)	
			で負担して					国(主に担当者が行う業務内容及 農用地の水源補償のため電気料金							安定した		担金		5,026		
			するための農					生産を図		1001000	电入四	жсь		産を図			助金		14,186		
			や都市下水		土±	:地改良事業運営協議会へ補助を行い、土地改良区の適  土地改良区の適  合計										9,212					
			償のため設	置した	正~	で効率的	りな維持	デ管理を図	る。				正	かつを	动率的	2					
	架井戸電気料金。												維	持管理	里を図る						
	また、土地改良事業運営協議会へ																				
	人件費補助及び土地改良施設改り のための補助を行っている。						TIOC車	光計画				11075	★***** <del>***</del>				т	100年4	4⇒1 <del></del>		
0)7	こめし	り 補助を行	っている。		同_	L	H26事	業計画		同力		H27=	事業計画			同左	- 1	H28事業	計画		
					lb]_	<u> </u>				[P] Z	Ľ.					円圧					
5	事務	事業の目的	りと手段												,					単位	
	(I)対	计象			١							4	人件費	補助	(					団体	
		きかける相手	手・キぃの)		土均	也改良区	、水利組	自合等				対象		1價						地区	
目	(1-)3	C / G   I .	,		-							指標		・カルコム	112					-	
的			(どのよう)			Eで効率						⑤ 成果	組織基 安定し						式 式		
	いの	か。どういう	状態にしたい	のか)	安定	とした営	農の維持	宇				成未 指標		/こ呂/	<b></b>					I(	
					+								人件費	1				団体			
手		- // - > 15		La refere s	+#	地改良区	運営に対	対する人件	書補 助	1及で水	源補僧	6	電/三半							地区	
段			するために乳			めの電			,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	1/3 · 1113 15×	活動		1711	•							
	1丁二	たけ収估	動(サービス	.)								指標									
(D	0]事	務事業の	実施																		
事	業費.	及び指標の	推移																		
		事業費		単化	<b>(</b> †	22年度	(実績)	23年度(	主績)	24年度	(実績)	25年月	度(実績)	26年	. 度 (計i	画) 27	年度	(計画)	28年	度(計画)	
						22 + 12		20 + 12 (	大/順/		(天順)	20 7	文 (天順)	207	-/X (FIII	리/ 21		· (FI EI)	20-	汉(田酉)	
			<b>三支出金</b>	千																	
投		財県	支出金	升	円																
入	事	- 水 土	也方債	千	円																
コ	業費		一の他	千										1							
ス	貸	H/ C	般財源	千1			18,007	1	7,067		18 077		10 010	1	20.0	16.1		20 064		20,064	
1											18,077		19,212		20,0			20,064			
$\widehat{}$		事業費		升			18,007		7,067		18,077		19,212		20,0			20,064		20,064	
イ		職員	割合	人	千円	0.21	1,575	0.34	2,550	0.29	2,175	0.090	675	0.09	0 6	<mark>75</mark> 0.0	90	675	0.09	0 675	
<i>→</i>	人	時間	<b></b>	千	円																
プッ	件		臨時	千										ı		$\neg$					
ト	費													1		$\overline{}$					
1,			協力分	升																	
		人件費		升			1,575		2,550		2,175		675			75		675		675	
	<b> </b>	-タルコスト	(ア)+(イ)	千	円		19,582	1	9,617		20,252		19,887		20,7	'39		20,739		20,739	
		指標区分	<del>}</del>	単位	位.	22年度	(実績)	23年度(	実績)	24年度	(実績)	25年月			速(目標	票) 27	年度	(目標)	28年	度(目標)	
	1. 11	+費補助		·····································			1		1		1		1			1		1		1	
活											1		1					1			
動	電気	試料負担		地	<u>X</u>		3		3		3		3			3		3		3	
指標															1				L		
標																					
対			団	体		1		1		1		1			1		1		1		
象指	人件費補助(     団       水源補償     地		地					3	_			1	3 3					-			
指	八小	水間負		型	<u> </u>		3		3		3		3	<u> </u>		3		3		3	
標	<b>芸</b>											<u> </u>									
成	成 組織基盤強化 式			7 7		1		1		1		1	1		1		1		1		
果指	安京	と	舌動	大	, ,		1		1		1		1	l		1		1		1	
指標	** 安定した営農活動 :				-				-					1		-					
Lim	標					l		1						1		1			1		

平成26年3月31日

記入日

<u>ネ</u>	土会情勢の変化・市民ニーズの把握	
Juli.	F務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境 で記録がある。	境の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》
	CHECK】事務事業の一次評価	
إد	y	範囲は行政の役割から見て適切か?また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》
写作言	要 ②総合計画との整合性, 対象と意図の妥当性《目的 生 図 適切である □ 見直しの余地がある	り(対象と意図)は総合計画と結びついているか?実態(社会環境の変化)に合っているか?》 土地改良事業運営協議会の運営費や土地改良施設及び設備等の経年劣化による維持補 修の管理と公共用地確保のための水源補償などの負担であり、必要性高く、適切である。
		であったか?工夫をすることで今後,更なる成果向上ができるか?》
オダム		の施策への波及効果があるか?》
Ħ	性 ☑ 向上の余地がない □ 向上の余地がある	農業用の施設及び設備の修繕については、土地改良維持管理適正化資金(国・県の補助金や拠出金)などを活用して負担金の軽減を図っており有効である。
7		を削減できないか?(仕様や工法の見直し,市民の協力など)》
	F <sup>2</sup>	削減できないか?(業務プロセスの見直し、個々の業務の効率化等、業務委託や臨時雇用等)》 「
Ħ	生 図 削減の余地がない	協議会の運営については、事務事業(人員の削減・受託事業・事務体系)の改善を図りなが
	□ 削減の余地がある	ら計画的に効率化を進めており、削減の余地がない。
	一次評価結果	全体総括(振り返り, 反省点)
	必要性 □ 適切 □ 見直しの余地がある	農家負担の軽減、土地改良地区の適正な維持管理及び公共用地に係る水源補償である
	有効性 🗵 適切 🔲 見直しの余地がある	ため必要性、有効性、効率性とともに高い。
	効率性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がある 	
		ーアップ 前年度の課題や問題点 その他
()	②前年	手度の改革・改善案 の有無とその対策
		<ul><li>☑影響は大きく、問題の発生が予想される</li><li>□代替案や対策を採ることで対応できる</li></ul>
		⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動 も含む)
	②改革・改善案を実現する上で克服するべ ④取組	型状況
C	課題と解決方法	名称
		□他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる □ 統廃合や連携はできない・既に連携している

【PLAN】事務事業	の計画		
			評価理由
	今後の方向性	現行どおり継続	事業推進に伴う水源補償であるため、必要である。(但し今後の霞用
60 Λ ₹π /π*		2 - 7 - 7 - 7 - 7 - 7 - 7	水等の事業経過を見据えて調整を図る)
総合評価			また、土地改良事務運営協議会は、合併後6年を経過したが、組織の
	資源配分	現 状 維 持	効率か等の強化を着々と進めてはいるが、当面の補助は妥当と判断し

[P	LAN	】事務事業	の計画		事務事業	番号	15										郭 農村			
	= /	- Lealle to	農業基般東	整備促進	生事業(山根	油地	評価区分	`	事務事業性		建設·整備	事業		胡基本			听管省户	宁		
	事務	8事業名	区)	E IM IACA	= 7 / (	(10)	評価事業	4/	重要事務事				画]	重点視	点単		農林ス	水産省		
4/4	πh	政策	9 タジわな	冻で孤盟	ナス汗カなス	<b>産業のま</b>	 ちづくり〔産 業		於合計画実施語 新規・継続		継続	:			独					
総合		小政策			『 いる   はっこう   はい   はい   はい   はい   はい   はい   はい   は			き) 事			終了年				区 分		50	)%		
計		施策	1 農林業	いっとこう	C. C. O. W.	errina c	M <del>YC</del> C S 7	<b>***</b>	É	χ.				( <del>- </del>			l			
		小施策		共生によ	る農林業の	展開		—— 其 『			H25		共佰	佳者・関	係団体					
=	予	会計	款		項		I		細目名		関連計	画								
1	算	一般	農林水産業	<b></b> と 費	農業費	<b>.</b>		農業体質強	能化基盤整備促進事業(山根	池地区)	根拠法		農業				<b>E施要綱</b>			
	卧 目										実施			補助	金の有	無 1	負担金の	)有無		
		改古光のム		16.11 □ □ □	o Inora	(₩÷[.æ;	( <del>)</del> ) = +0 \lambda = <del> </del>	138/	は光水中点で	7. アド T. I	すべて	<b>一</b> 安託		lass 1		光典の	<u>○</u> 内容(決	佐佑(		
			<ul><li>体概要及び</li><li>超)や排水器</li></ul>				(土に担当る) けた地元説明		う業務内容及り開催	てい子)		め池			委託料		895,650			
			たの機能を昇		•実施設計		いたたいしいしつ	/1 <u>\</u>	기元  庄					及び	工事費	1 予 15	,781,500			
なく	くなっ	った施設に対	対し、用水の	確保と	•設計内容	に基づ	き工事(ため	池護	岸工事)		整	備工	事(†	こめ池	合 書	合 計 16,677,150円				
			行い、親水								護	岸工	事) 0	り完了						
		崔隅用水・没 した整備を	供水調節等の	ク機能																
			り山根上池に	こつい																
てり	は、岩	計間地区泉	地内に位置	するた		H26事業計画 H27事業計画 H28事業計画										計画				
			からの整備	を切望	完了															
		いる。 に 農業休息	<b>賃強化基盤</b>	改備促																
			:開始し、今																	
事	業名	が変更とな	った農業基	盤整備																
促	進事	業にて護岸	どの整備を行	<b></b> う。																
5	事務	5事業の目6	的と手段														j	単位		
	①\$	付象			加士豆		4	(4) 地元区民 対象							人					
目	(働	きかける相	手・もの)		一般市民、	一般市民、用水受益者						対象 指標								
的	@ =	⊢ ₹ <b>/-</b> → Ν/- ~ ₹	* E	)> }								<b>完</b> 了地	也区					地区		
	(2)号	事務事業の意 うか、どういう	意図(どのよう 状態にしたレ	(にした)	用水の確保	と農村環	環境の改善			⑤ 成果	Ļ									
	,	-	- VOERTCO/CT	->/4 /						指標		田市ケ						11		
手	_				報水空間の	提供•游	運田水・洪水	等の機能を考	6	役員記	<b>河</b> 登						口			
段			するために		慮した整備		11/// I/// I///	H) H) H) H)	44.07/06/10/10/10/10	活動										
	111	つだ11収値!	動(サービス	\)						指標	•									
_		事務事業の																		
事	業費	及び指標の	D推移									_								
		事業費	,	単位	22年度	〔(実績)	23年度(実統	責) 2	4年度(実績)	25年	度(実績	) 26生	F度(	(計画)	27年度	ま(計画)	28年度	(計画)		
			軍支出金	千円	7	0		0	7,000		8,32	5								
投		財県	支出金	千円	7	0		0	0			0								
投入	事業費	源 内	也方債	千円	7	0		0	0			0								
コ	兼	訳	その他	千円	7	0		0	0			0								
スト	貝		般財源	千円		0		0	7,117		8,35	3								
<u>۱</u>			計(ア)	千円		0		0	14,117		16,67			0		0		(		
イ			割合		-円	0			0.38 2,850			5 0.2	78		0.278	2.085	0.278	2,085		
ン	ı		間外	千円		0		0	0		_,00	- 1.5		,		-,,,,,,,		.,,,,,,		
プッ	件		:臨時	千円		0		0	0											
ット	費		·協力分	千円		0		0	0	1										
			から 計(イ)	千円		0		0	2,850		2,08	E		2.005		2,085		100.0		
	1.	ータルコスト		千円		0		0		4				2,085				2,085		
	r-						00 분 분 (보상	ŭ	16,967		18,76	_	- rt: /	2,085		2,085		2,085		
	/n t	指標区分	<i>ਹੱ</i>	単位			23年度(美術		4年度(実績)				上区(	日標)	27年度	E(目 <i>悰)</i>	28年度	(目標)		
活	役員	員調整		旦		0		0	5	ļ		4								
動																				
指揮																				
標																				
対	地ラ	元区民		人					1,553		1,53	6								
象指標																				
標										Ī										
成	整何	#完了地区		地区	ζ	0		0	0			1								
果		,						-		l										
指	指						1	_		1		1								

記入日 平成26年3月31日

	会情勢の変化・										
事	事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》										
	HECK】事務事	業の一次	<del></del> :評価								
				に向け	て, 行政の領	節囲は行政の役割な	から見て適切か?	また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》			
必要性	②総合計画と	の整合性	, 対象と意	図の妥	当性《目的	(対象と意図)は総ク	合計画と結びつい	いているか?実態(社会環境の変化)に合っているか?》			
性評	<ul><li>☑ 適切である</li></ul>	3					とであるとともに、は	也域にとって憩いの場である農村環境施設に位置づけ			
価	□見直しの分	余地がある	)			られる。					
有								でなる成果向上ができるか?》			
効性			市氏、またに	は多く()	)市民や他の	の施策への波及効果	果があるか?》				
評価	☑ 向上の余:					農業的機能と景観	形成を一体化した	と整備を行っており、向上の余地がない。			
Ind	□ 向上の余:		//アモJ 日 .>		3 <del>-  -  </del>	Not No. 20 No. 2	71 18 d - 2 V - 5 E				
効率								直し,市民の協力など)》 し,個々の業務の効率化等,業務委託や臨時雇用等)》			
性	<ul><li>✓ 削減の余</li></ul>										
評価	□ 削減の余					国の補助を利用す	ることにより、市の	D財政負担軽減が図られている。			
<b>—</b> ;	次評価結果					全体総括(振り返り	), 反省点)				
	必要性 ☑	適切	□ 見直	重しの余	(地がある						
	有効性 🗹	適切	□ 見直	重しの余	⇔地がある	農業基盤の向上と	農村環境の形成	につながり、有効性及び効率性ともに高い。			
	効率性  ☑	適切	□ 見直	重しの余	(地がある						
[A	CTION】事務事	事業の改革	<b>────</b> ≛•改善		フォロー	-アップ 前年度の	課題や問題点	その他			
①i	改革•改善案				③前年	度の改革・改善案		⑤事務事業を休止,廃止した場合の成果への影響			
					1			の有無とその対策 □影響は大きく, 問題の発生が予想される			
								□ 代替案や対策を採ることで対応できる			
								②短川市光上の公成及、油堆の可光州 (早間江新			
								⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動も含む)			
	。 改革・改善案を		上で克服っ	するべ	4 取組	<b>小</b>		☑他に手段がない □他に手段がある(事務事業名・活動名)			
き記	果題と解決方法							名称			
								□ □ 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる			
								☆ 統廃合や連携はできない・既に連携している			
(P	LAN】事務事業	の計画						評価理由			
		今後	どの方向性		事	業完了	事業完了	可顺生中			
	総合評価	資	源配分			_					

			勞爭業評	他共z									記入日		平成26		
(P	LAN	事務事業	の計画		事務事業	番号	16 評価区分	<b>&gt;</b>	事務事業性	晢 維.	持管理事		属部記			『 農村 近管省	寸整備課 '产
	事務	8事業名	災害復旧事	事業			評価外事		重要事務事		—		点視	占 助	市単独	71 11 11	/ 1
								并	総合計画実施記		_			単独	川早畑		
	政	政策					ちづくり〔産		新規・継続		新規			区	補助率		
合計	策体	小政策 施策	2 豊かなり	思みを	実感できる農	体業を	振興します		事 開始年月	-	終了年度			分			
画		小施策		共生によ	よる農林業の	)展開			期 不明	単	年度繰返	世 共催	者•関	係団体			
=	予	会計	款		項		<b>I</b>		細目名		関連計画						
1	算	一般	災害復旧	費農村	水産施設災害復旧費	農地災	災害復旧費	農地	<b>地災害復旧事</b>	業	根拠法令						
	科 目										実施手法	去	補助	金の有類	無 負	担金	の有無
		※重業の全	     体概要及で	[4]	9 【山95車	(柔計型	(土)と担当さ	<b>ナ</b> ふくん	fう業務内容及	アドチ順	i) 1 3 [4	1年度目標	<b>i</b> 1	4【事	業費の[	力灾 / 注	夬算額)
			こより被災し			未可凹	(工)旦目1	3 73-7 .	17未分1147	(0)于顺	災害				旧工事		八 <u>弄饭)</u> [千円
性	のあ		いて、災害			易合に、	その都度対応	むする	5.								
行	<b>5</b> 。																
						1100=	علاد عالد				7110 = 1 = ===						
					同上	H26事	業計画		同上	H27事	業計画		同_		128事業	計画	
									Inj Tr				IH1 _	_			
5	車数	多事業の目的	めレ毛の														単位
5	1		りて子权							(4)	地元区民	1					人
		対象 きかける相	壬・オ、の)		一般市民、	用水受益	益者			対象							
目	(判)	らい*()の作-	子, 800)		11.00					指標	75 ID 45 =	z 1114 1113					III.
的			意図(どのよう						受を復旧し、農 環境の維持を	⑤ 成果	復旧完了	地区					地区
	110	つか。 どういう	状態にしたい	いのか)	図る。	11	PV/国後及U	)IX(1) !	来が20ノルビリリで	指標							
										6	復旧工事						地区
手段	3	目的を達成	するために	実際に				く調節	i等の機能を回	活動	関係機関	引との調整	と				口
段			動(サービス		復するため	の復旧」	_争を117。			指標							
ľD		事務事業の	宝施														
		及び指標の															
-	/14//	事業費		単位	立 22年度	F(実績)	23年度(実	績) 2	24年度(実績)	25年度	(実績) 2	6年度(言	斗画)	27年度	(計画)	28年月	变(計画)
				千月			, , , , ,	0	1000			1 22 (1			. (1.77		
Тп			支出金	千月			2	582									
投入コス	事	源	也方債	千月			2,	0									
ハコ	事業費	M	その他	千			1	0									
	實	H/ C	般財源	千			E (	329	1		1		1		1		
1			  計(ア)	千		0		411	1		1		1		1		]
イ			割合		千円	0		0	0	0.000	0 0	0.000	0	0.000	0	0.000	
ン			目 目外			U			0	0.000	0	.000	U	0.000	U	0.000	
プ	人			千				534									
ット	件費		塩サハ	千				0									
\ \ \ \ \ \ \ \ \			協力分	千		-		0							ō		
	_		<b>計(イ)</b>	千		0		534	0		0		0		0		(
	  -	ータルコスト		千		0		945	1		1		1		1		1. ( - !-)
		指標区分		単位		E(実績)	23年度(実	_	24年度(実績)	25年度	(実績) 2	6年度(	1標)	27年度	(目標)	28年月	度(目標)
活		日工事地区		地区				2	0		0						
動	関係	系機関との語	調整	口				3	0		0						
指揮																	
標																	
対	地力	元区民		人					0		0						
象指																	
標																	
成	復[	日完了地区		地区	<u>x</u>			2	0		0						
果指																	
指標																	
· M							1	1		_							

社会情勢の変化・ī	市民ニーズの把握				
		l及び社会環境	色の変化(開始時期)	又は5年前との比	(較)・市民からの意見や要望》
【CHECK】事務事訓	業の一次評価				
					?また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》
安		) 妥当性《目的	(対象と意図)は総合	合計画と結びつ(	ハているか?実態(社会環境の変化)に合っているか?》
評一週のである					
一 光直000米		111 5 2125 2			
右	余地 《成果は,昨年度 効果《全市民,または多				更なる成果向上ができるか?》
性評し向上の余地		(I) III (IEI	2 NE /K	(7 4) 577 . 11	
評  □					
		ずに事業費を	 削減できないか?(	仕様や工法の見	
杰					し,個々の業務の効率化等,業務委託や臨時雇用等)》
性 □ 削減の余地	也がない				
価 □ 削減の余均	也がある				
一次評価結果			全体総括(振り返り	, 反省点)	
必要性 □	適切 □ 見直し	の余地がある			
有効性	適切 □ 見直し	の余地がある			
効率性 □	適切 □ 見直し	つ余地がある			
【ACTION】事務事	業の改革・改善	フォロー	ーアップ 前年度の詞	果題や問題点	その他
①改革•改善案		③前年	度の改革・改善案		⑤事務事業を休止, 廃止した場合の成果への影響 の有無とその対策
					□影響は大きく、問題の発生が予想される
					代替案や対策を採ることで対応できる
					<ul><li>⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動)</li></ul>
					も含む)
②改革・改善案を写 き課題と解決方法	実現する上で克服する	<ul><li>④取組</li></ul>			□他に手段がない   □他に手段がある(事務事業名・活動名)
2 味趣と呼びガム					名称
					他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる
					□統廃合や連携はできない・既に連携している
【PLAN】事務事業の					評価理由
総合評価	今後の方向性				
%℃□ 6十1Щ	資源配分				

「日本学生学校学生の			車 数 車 娄/			事務事業	釆县	17							記入日 平成26年3 所属部課名 産業経済部 農					
東京	IP.	LAN	】事伤争耒	ク計画 一		尹伤尹未	<b>留</b> 万		<b>&gt;</b>	<b>重</b> 終重業人	と性質									
大学   大学   大学   大学   大学   大学   大学   大学		事務	事業名		片総合整	備事業(/	小原地					Æ IX					助			
京政 改革 多数な交流が関係が高からを集から、で 割		J- 1).	7 7 7 7	区)				評価事業					0		<u> </u>	u////		・県補助	茨	成県
京 本語   日本学   日本学   日本学   日本学   日本学   日本学   日本   日本	総	政	政策	2 多彩な交	流で飛躍	する活力ある	産業のま	ちづくり〔産 氵					継続				一派 —	ent e	国50、県	130、市
# 体	合	策						事	開始年	-	終					分	即率	10、地方	10%	
展示	計	体					·	<u> </u>			T 144	πź	+07/T:B	±: 11.	/炉 土 目	日屋口	n 4	中農	林事務	所
当日   一切			小施策	2 自然とま	+生によ	る農林業の	り展開				干皮	<del>'\'</del>	戏27年月	支   共	惟石・周	创涂区				
当日   一切	=	予						<b>I</b>		細目名		関	連計画	ì						
1   1   1   1   1   1   1   1   1   1	1	, 算		農林水産業	<b></b> 上費	農業費	<b>.</b>	と と と と と と と と と と と と と と と と と と と	県営畑	地帯総合整個	<b>前事業</b>	根	拠法令	土	地改良	法				
1													実施手	法	補助	り金の	)有無	負	負担金の	)有無
撮影や原性できる。本田公子   上規関収 (建始注)   上規関収 (建始注)   上田改良区   字   上田改良区   字   日27事業計画   日27事業計画   日28事業計画   日27事業計画   日28事業計画   日28章業計画   日28章業計		Ħ											一部委	託		_			0	
横部の東京   東京   東京   東京   東京   東京   東京   東京	1	【事	務事業の全	体概要及び	『背景』	2 【H25事	事業計画	(主に担当者	が行	う業務内容	及び三	<u>手順</u> )	] 3 [	年度	目標】	4	【事業	費の降	内容(決	算額)】
開発性線を使事を大規模化として整めた。	畑	総小	原地区は、	一部谷津田										絡道路	各及び付	負担 負担	担金	6	,000千	円
(場合であるが、本地域は未発値であり 無道はついては、事業完了時(平成) 「伊本工事」・ ・別地平落。 「伊本工事」・ ・別地平落。 「伊本工事」・ ・別地平落。 「伊本工事」・ ・別地平落。 「伊本工事」・ ・別地平落。 「伊本工事」・ ・別地平落。 「伊本工事」・ ・別地平落。 「伊本工事」・ ・別地平落。 「伊本工事」・ ・別地平落。 「伊本工事」・ ・別地平落。 「伊藤で表したいかの」 「伊藤で表したいない。」 「日のか、とかいが表面にしたいかの」 「日のか、とかいが表面にしたいかの」 「日のか、とかいが表面にしたいかの」 「日のか、とかいが表面にしたいかの」 「日のか、とかいが表面にしたいかの」 「日のか、とかいが表面にしたいかの」 「日のか、とかいが表面にしたいかの」 「日の上海を主なとなり選地ので同意理事業を行う。」 「地元ではな中なたし、場底での、別様での家庭解析 を行いるたが表面はのでレスト。 「日の上海を主な変態 事業費 単位 22年度(実績) 23年度(実績) 24年度(実績) 24年度(実績) 26年度(実績) 26年度(国内) 27年度(日内) 26年度(日内) 27年度(日内) 27年度						•用地買巾	又(連絡道	恒)L=170m												
特別では、															又に伴う					
総は言葉では異称状はから、含養性 (本名かの方)を育せている。 20 性 (本名かの方)を育せている。 20 性 (本名かの方)を育せている。 20 性 (大きな変)を有様については、参名を目標とする。 4 性 (大きな変)を有様については、参名を目標とする。 4 性 (大きな変)を有様については、参名を目標とする。 4 性 (大きな変)を有様にのいるを目標とする。 4 地 (地 (地 を で で で で で で で で で で で で で で で で で で													立会	3						
(2 多大 安男 ) 大き 青																				
日20年業計画																				
29年度)までに100%を目轄とする。							H26事	業計画			H9	7事3	<b>性計画</b>			1	Н9	8車業	計画	
計画変更法手続き   強地事務						•付帯工事		ZISHT HIT		• 換地登			CHI PH				114	マザ 木	HI E	
・換地事務	-	1 ~	, 01 11-100	/	, 00			き		50, 532	10/10/1/	,								
日   日   日   日   日   日   日   日   日   日																				
日   日   日   日   日   日   日   日   日   日																				
日   日   日   日   日   日   日   日   日   日																				
日   日   日   日   日   日   日   日   日   日																				
日   日   日   日   日   日   日   日   日   日																				
日   日   日   日   日   日   日   日   日   日																				
日   日   日   日   日   日   日   日   日   日																				
日   日   日   日   日   日   日   日   日   日	5	事殺	事業の目的	内と手段																単位
他齢かける相手もの)				70 112							(4	1)	土地改具	良区小	、原地区	組合	·員(受	益者	)	-
20				エチの)		畑総小原均	他区内の	上地所有者			対	象					, , , ,	-		
20mm		(1期)	さかりる相手	于•600)							指	標								
いのか。どういう状態にしたいのか    本語が向出上。   大き様の   大き春の   大き春	的	<b>②</b> 車	要要業の音	音図(どのよう																%
特性の集地時間。   特性の集地時間。   特性の集地時間。   特性の集地時間。   特性の集地時間。   特性の集地時間。   特性の集地等業主体とか知地の区画整理事業を行う。   1 地元役員会   回   1 地元役員会   回   1 地元役員会   回   1 地元役員会   回   回   回   回   回   回   回   回   回		レック	かっ どういう	状態にしたい	いかかり								担い手の	の農地	1集積達	成率				%
担元では   地元では						D111700714	_,,,,,,,	Im title as Port	4 m t )	W. A. 7 - 7	指		ᆈᆈᆖᇮᇿᇦ	旦 厶						ы
日本の	壬					県が事業3	E体となり	畑地の区画響	2埋事	業を行り。 その音 貝 調恵		9) [								
To 2c T 政治側 サービス   2s   14   14   15   15   15   15   16   16   16   16	子段				夫院に						石	割			調敷					
事業費   単位   22年度(実績)   23年度(実績)   24年度(実績)   25年度(実績)   26年度(計画)   27年度(計画)   28年度(計画)   28年度(計画)   27年度(計画)   28年度(計画)   28年度(計画	1~	行	った行政活動	助(サービス			31- 3377	, (CIL)	,_,	,	指	標	INT DIVIDAD	X, C · >	H/-Q IE.					
事業費及び指標の推移	(D	<b>○】</b>	軽事業の	<b>主</b> 施	•						•	•							•	
事業費   単位   22年度(実績)   23年度(実績)   24年度(実績)   25年度(実績)   26年度(計画)   27年度(計画)   28年度(計画)   28年度(計画	_																			
世界では、中国のは、中国のでは、中国のは、中国のは、中国のは、中国のは、中国のは、中国のは、中国のは、中国の	<b>T</b> ,	/ <u> </u>			単位	99年日	年(宝繕)	99年度(宝	<b></b> (春) 197	年度(宝績	954	宇宙(	(宝結)	26年月	年(計画)	) 974	宇宙(	計画()	98年度	F (計画)
財源   現支出金   千円   地方債   千円   での他   での他   千円   での他   での他   千円   での他   での他   での他   千円   での他   での他   での他   での他   での他   千円   での他   でのも		1 1					文(大順)	20年度(天)	関/ 45	十尺 (大帳	/ 20-	十尺(	大順/	20千万	又(川凹)	) 21-	十尺 (i	11 四/	20千万	(
できた   であります   でありま																				
一般的原	投		温		千円											$\perp$				
一般的原	入	事		也方債	千円															
一般的原	コ	兼		の他							ı									-
事業費計(ア)   千円   57,598   26,824   21,057   6,000   800   700   700   100		頁	H/ \				57 508	26.9	324	91 NF	7		6.000		QΛ	)		700		
職員割合   人   千円   0   0   0.45   3,375   0.270   2,025   0.270   0.2	1																			
世界	$\widehat{}$							26,8			_									0
プット 機能臨時 千円 他課の協力分 千円 の 50 3,445 2,095 2,095 2,095 1,005 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	イン		1 1				0					70		0.270	2,02	0.2	270	2,025		0
大	プ	人	時間	<b></b> 『  『  『  『  『  『  『  『  『  『  『  『  『	千円		0		50	7	0		70		70	)		70		_
大   大   大   大   大   大   大   大   大   大			嘱託	:臨時	千円						ĺ									
大件費計(イ) 千円 0 50 3,445 2,095 2,095 2,095   100   10		費									1		<u> </u>							
トータルコスト(ア)+(イ)   千円   57,598   26,874   24,502   8,095   2,895   2,795     指標区分   単位   22年度(実績)   23年度(実績)   24年度(実績)   25年度(実績)   26年度(目標)   27年度(目標)   28年度(目標)     活 地元役員会   回   3   4   5   5   5   5     地元初整   回   4   4   5   5   5   5     博	·						- 0		50	9.44	5		2.005		9 001	-		2 005		0
指標区分 単位 22年度(実績) 23年度(実績) 24年度(実績) 25年度(実績) 26年度(目標) 27年度(目標) 28年度(目標) 12年度(目標) 28年度(目標) 12年度(目標) 28年度(目標) 12年度(目標) 28年度(目標) 12年度(目標) 28年度(目標) 12年度(目標) 28年度(目標) 28年度(目標) 28年度(目標) 28年度(目標) 27年度(目標) 28年度(目標) 28年度(目標) 27年度(目標) 28年度(目標) 28年度(目標) 28年度(目標) 27年度(目標) 28年度(目標) 28年度(日標) 28年度(日時時) 28年度(日時) 2		,									_									0
活 地元役員会 回 3 4 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5											_									0
地元調整   回 4 4 5 5 5 5 5   15   接換関との調整   回 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5			指標区分	<del>}</del>	単位	22年月	E(実績)	23年度(実	漬) 24	年度(実績	254	丰度(	(実績)	26年月	度(目標)	) 274	干度(	目標)	28年度	(目標)
地元調整   回 4 4 5 5 5 5 5   15   15   15   15   15	江	地ラ	元役員会		口		3		4		5		5		į	5		5		
指 関係機関との調整 回 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5		地元	元調整		口		4		4		5		5		!	5		5		
標 対 象 指標 成 果 担い手の農地集積達成率 % 90 90 92 95 97 100				<b>周敷</b>							_					_				
対 象 指 標 成 果 指 担い手の農地集積達成率     0     203     203     191     191     191     191       191     191     191     191     191     191       190     93     95     97     98     99     100       190     90     90     92     95     97     100	標	大小	いかはしいが	M TE.	쁘		ა		J		5		J		•	+		J		
象指標       成整備進捗率     % 93 95 97 98 99 100       果担い手の農地集積達成率     % 90 90 92 95 97 100																1				
指標       成果       担い手の農地集積達成率     %     93     95     97     98     99     100       90     90     92     95     97     100	対	土地	<b></b>	組合員(受益者)	人		203	4	203	19	1		191		19	l		191		
標     成果     93     95     97     98     99     100       果指     担い手の農地集積達成率     90     90     92     95     97     100	家地																			
成果     整備進捗率     %     93     95     97     98     99     100       果指     担い手の農地集積達成率     %     90     90     92     95     97     100	標										1		1							
果 指 担い手の農地集積達成率 % 90 90 92 95 97 100		敷布	<b></b> 造 進 排 滅		0/2		ОЗ		95	C	7		QQ		Q	a		100		
指標 20 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	果			<b>主主工</b>																
標	指	-	・于の農地第	長順達成率	%		90		90	9	4		95		9'	(		100		
	標	示									L								<u> </u>	

4	ᄼᅝᅒᇬᅗᄱᅠᅺᄝᅟᇕᇬᄳᄱ		
	<u>-会情勢の変化・市民ニーズの把握</u> -務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会	環境の変化(開始時期又は5年前との比	較)・市民からの意見や要望》
朱	作に無し		
L			
		<b>文の範囲は行政の役割から見て適切か?</b>	また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》
业	②総合計画との整合性,対象と意図の妥当性《	目的(対象と意図)は総合計画と結びつい	いているか?実態(社会環境の変化)に合っているか?
1/2		大規模な圃場整備であるため、国、	県、市、地元相互の協力体制をとる必要がある。□
言	ř   5	費用負担割合については、県のガ	イドラインに従い適切である。
	一元直しい赤地がある		
有	③成果の向上余地《成果は、昨年度と比べてと		更なる成果向上ができるか?》
亥	世界大の仮及効米  主巾氏,または多くの巾氏へ	P他の施策への波及効果があるか?》	
性言		整備計画に基づいた成里を求める	ように施工されているため、向上の余地はない。
佰	□ 向上の余地がある	正冊 日西に至 フレイに成木を木のる。	よりに加出しては、これにかり、同二つンが、地域があれて、。
	⑤事業費の削減余地《活動量を下げずに事業	 費を削減できないか?(仕様や工法の見	直し,市民の協力など)》
タ マ	カ ⑥人件費の削減余地 《活動量を下げずに人件費	を削減できないか?(業務プロセスの見直	し,個々の業務の効率化等,業務委託や臨時雇用等)》
性言		基本計画をもとに国、県からの補助	金交付決定額に合わせ施工しているため削減の余地
石		は ない。	
	·次評価結果	全体総括(振り返り, 反省点)	
	必要性 ☑ 適切 □ 見直しの余地があ		を力の向上、耕作放棄地解消に有効な整備事業であり
	有効性 ☑ 適切 □ 見直しの余地があ	る 学業目標となる展地の抗用化、生産必要性、有効性及び効率性ともに高	も刀の同上、耕作放来地解伺に有効な登備争乗であり 高い。
	効率性 ☑ 適切 □ 見直しの余地があ	る	
ľ	ACTION】事務事業の改革・改善フ	オローアップ 前年度の課題や問題点	その他
		前年度の改革・改善案	⑤事務事業を休止,廃止した場合の成果への影響
)		13 T ( ) 3 T ( ) 13 T	の有無とその対策
			✓影響は大きく、問題の発生が予想される
			□代替案や対策を採ることで対応できる
			⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動も含む)
_			✓ 他に手段がない
	)改革・改善案を実現する上で克服するベ 課題と解決方法	取組状況	一他に手段がある(事務事業名・活動名)
			名称
			□他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる □統廃合や連携はできない・既に連携している

_	【PLAN】事務事業の	の計画		
	<b>公人</b> 冠/IT	今後の方向性	現行どおり継続	評価理由 当事業は土地改良法に基づいて農地の改良及び換地を行なっている 事
	総合評価	資源配分	現 状 維 持	から縮小及び廃止は出来ない。平成27年度完了予定。

_				\ \ \		- PM   <b>日</b> 事務事業番号 18												記入				年3月	31日 讨整備課
[PI	LAN	事務事業	<u>の計画</u> 		評価区分 事務事業性質								î	盖彩	務的事	業		属部 基本		生来7 甫	圣済音	D 展 所管省	
	事務	8事業名	林業振興事	事業								事務事業		4X(1)	— 0HJ <del>T</del>			点視	占月	<u>ந</u> 一		/	/1
	• •	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	117103200	, ,,,	部位			評価	事業			画実施計							<u>E</u>		単独		
総	政	政策	2 多彩な交	流で飛躍	する	舌力ある剤	産業のま	ちづくり〔	産業〕			1・継続			継続					虫属	ᄪᆚᆉ		
合	策	小政策	2 豊かな月	恵みをま	実感できる農林業を			振興しま	興します 事			始年度	:			芝					助率		
計	体	施策	1 農林業							業期		未定	ж	左口	度繰り:	: E1:	· /· /· //- /	₩. 月月	校田	* 笠	間林	業指導	事所
画	系	小施策	1 安定し	た農林第	美の才	隹進				間			牛	·+-):	支減り.					37	間西	茨城系	集林組合
	予	会計	款		ij			目			細目				連計画				茶林計	·画			
	算	一般	農林水産業	<b>        </b>	林美	<b></b>	林美	<b>美振興費</b>	林美	\$振興標	準的事	葉(森林整備	備G)		拠法令		森林						
	科													2	実施手			補助	金の有	1無	負		の有無
		26 -t- 116 -c - V	//.lmt=======			<b>7</b>	7116 ± 1 = ==	( ) ) [=	1 1 a -be 3	\/->	VIII 76			.17*\	直営		S	- T		AII/- :	#		
			と体概要及び						当者が	行り	業務	内容及	び手	順)			11日標						央算額) <b>】</b>
			十画区域 8,9 の維持や、			林計画		続さ 小規模材	という	<b>※</b> 足ど	t⁄n≅	李 押				外計  1件	画一部	事多	職貝 旅費			97千F	4
		事務を行う。		歪佣()				事務(指									指定意	意見	需用	費 🤈	」」 26千日	9	
1/~3	/ 52	T-101 C 11 7 (	)					リ り 事業σ				pr thr./				2件	VII	-0 .00					<b>计金</b> 10
						入れ許				.,	- 1						業要旨	2提	千円		,,,,,		
																2件入れ	許可書	<b>基</b>					
								7116 1							行	38件	HI JE	3 / 0			>!!!		
					-	r	H26事	業計画					H27₹	事業	計画				, .	H28	8事業	計画	
					同_	Ė.					同左	1						同	左.				
_	-t- 7/	<del>т</del> жап.	44.1 - rn.																				224 /-La
5	争移	8事業の目	りと手段											1-	D 1/2 1/2 1	在土							単位
		対象			杰丸	林所有者							④ 対象		尾施対	豕白							人
目	(働	きかける相	手・もの)		林小	17月1日1日							利 指標										
的													5	東	修備面	積							ha
			意図(どのよう		森杉	木計画に	基づく森	林整備	の推進				成果		C 1111 PTT	123							IIα
	V 10	7/13° 57(17)	状態にしたレ	107/31)									指標	į									
					杰士	<b>∤</b> 敷/供亦	重計画:	書の作成	<del>;</del>				6		品出件								件
			するために		各種	重届出の	交可画 <sup>っ</sup> 受理	自VALENX	4				活動	, 2	く入れ	許可	件数						件
段	行~	った行政活	動(サービス	.)		れ許可		亍					指標										
	01=	+ 7/r -+ 1/4 · 0	H+4-																				
_		事務事業の																					
争	<b>美</b> 費	及び指標の					(.1. * : :							,									L. C.
		事業費	<u>,                                      </u>	単位	Ĭ.	22年度	(実績)	23年度	(実績)	24年	F度(	(実績)2	25年月	度(	実績)	26年	:度(i	計画)	27年	度(記	十画)	28年月	度(計画)
		国国	<b>車支出金</b>	千円	]																		
+/T∟		財県	支出金	千円	}																		
投入コス	事	源	<u> </u>	千円						1													
ノコ	業費	内	<u>にカ 頃</u> その他	千円																			
ス	費	H/ C										00-			0.5			6=1			0=:		
1			般財源	千円			704		187			239			239			254			254		254
$\widehat{}$			計(ア)	千円			704		187	'		239			239			254			254		254
イン		職員	割合	人	円	0.09	675	0.09	675	0.1	14	1,050	0.082	2	615	0.08	32	615	0.083	2	615	0.082	615
ン	λ	時	間外	千円	]																		
プッ	件		- ニューニー - ニュー - ニューニー - ニュー - ニュー - ニュー - ニューニー - ニュー - ニューニー - ニューニー - ニュー - ニュー - ニュー - ニューニー - ニューニー - ニューニー - ニュー - ニュ	千円								1											
  -  -	費		)協力分	千円						1													
)							0==		0.7			1.050			01=			01-			01-		- 01 =
			<b>計(イ)</b>	千四			675		675	_		1,050			615			615			615		615
	}-	ータルコスト		千円			1,379		862			1,289			854			869			869		869
		指標区	分	単位	Ĺ	22年度	(実績)	23年度	(実績)	24年	F度(	(実績)	25年月	度(	実績)	26年	速(	目標)	27年	度(目	目標)	28年月	度(目標)
J_T.	届出	出件数		件			9		16	5		19			33			18			18		18
活動		 入れ許可件	:数	件			40		38			34			39			35			35		35
期指	)()		%A	IT.			40		J(	1		94			33			55			90		<u></u>
標																			-				
対	実力	施対象者		人								1											
象																							
指標										1													
伝出	事々 /	備面積		1_						1													
成果指標	金1	用山惧		ha																			
指																							
標																							

	<u>会情勢の</u> 務事業を					見拠及で	バ社会環境	でででである。 この変化(開始時期又は5年前との)	北較)・市民からの意見や要望》						
	になし	<i>V-7</i> L	. (>(>)		. 12-11-12			2 - 20   2 (pi// 4 / 7/7/2 (10 - 1   1/2 - 1 )	500 40040 5 41000 (50.20)						
		- 7/r -	٠ علاد	v/ == /==											
	HECK ] 事					つ向けて	一行政の	節囲け行政の役割から見て適切か	?また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》						
必要									いているか?実態(社会環境の変化)に合っているか?						
安性評価	☑ 適切	「である	5		<u> </u>				行うため届出や許可申請をすることにより、森林機能の維						
	3成果6	つ向上	:余地〈	《成果は	は, 昨年	度と比	べてどうで	 あったか?工夫をすることで今後,	更なる成果向上ができるか?》						
有効	4成果6	つ波及	効果《金	全市民,	または	多くの	市民や他の	の施策への波及効果があるか?》							
性評価									引地区から申請がされており昨年と同程度であり、また届 的があるため一概に増えるものではないが継続的に周知						
払		貴の肖	減余地	《活動	加量を下	「げずに	こ事業費を	減できないか?(仕様や工法の見直し,市民の協力など)》							
効率		骨の削	減余地	《活動:	量を下げ	<b>ずずに</b> ,	人件費を削	減できないか?(業務プロセスの見直	直し、個々の業務の効率化等、業務委託や臨時雇用等)》						
性評価			地がない地がある					森林法に基づく整備計画作成(変 持・保全を図るため予算の削減は	更)、各種届出許可の事務手続きであり、森林機能の維 できない。						
	次評価結	果						全体総括(振り返り, 反省点)							
	必要性 有効性 効率性	V	適切適切		見直	しの余り	也がある 也がある 也がある	整備計画変更については県のアト の事務手続きについてもスムーズ	ドバイスを受けながら適切な対応ができ、各種届出許可 に行えた。						
[A	CTION]	事務事	事業の改	ヹ・改	<del></del>		フォロー	ーアップ 前年度の課題や問題点	その他						
	改革·改善							度の改革・改善案	⑤事務事業を休止,廃止した場合の成果への影響						
									の有無とその対策  ☑影響は大きく,問題の発生が予想される  □代替案や対策を採ることで対応できる						
	改革・改善課題と解え			る上で	克服する	るべ	<ul><li>④取組</li></ul>	状況	<ul><li>⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動も含む)</li><li>☑ 他に手段がない (世に手段がある(事務事業名・活動名)</li><li>名称 (世の事務事業や活動と統廃合や連携ができる)</li><li>一 統廃合や連携はできない・既に連携している</li></ul>						

ı	DI ANI	事務事業の計画
	LPLAN.	事務事業の計画

総合評価	今後の方向性		評価理由 各種申請、届出、許可等により、適正な森林の維持・保全や豊な森林 環境の充実が図れるため、現行どおり継続する。
形态 口 6千川川	資源配分	現 状 維 持	

_			<b>务事業</b> 評											記入日		平成26		
(PL	LAN)	事務事業	の計画	1	事務事業	番号	19	<u> </u>	±∞+₩ III.		1. kh LL =	- عللد						寸整備記
	古水	古光力	MY BB コニュナール	4 木 4 4 4	人 松 岩 市	孙	評価区分		事務事業性質		<b>女策的事</b>			基本計	H I	)	<b>听管省</b>	/丁
	争務	事業名	笠间四次3	以綵外組	1合指導事業 評価事業			4	重要事務事業総合計画実施記				쁴里.	点視点	単単	市単独		
24.5	T/A	政策	9 夕彩わ☆	は で 丞 明 寸	■				新規・継続						独			
								事	問始在日		継続       終了年度			区 補助率				
口 計	体	施策	1 農林業		見ている	を小来で	1水突しより	業							分			
	系	小施策	75 4 1 1 7 1 4	た農林業の	の推進			—— 期 間		単4	年度繰り	返し共	<b>ķ催</b> 者	音・関係	<b>系団体</b>	笠間西	茨城梨	<b>某林組</b>
· ·		会計	款		項			IH)	細目名		関連計画	ΕĪ						
貨			農林水産	<b>業費</b> オ	木業費	林美	上	林業振興	費標準的事業(森林整		根拠法		計間:	F補助.	金条例			
禾		70.72.11.1	72 1111 1 7 2 7								実施司				の有無		負担金(	の有無
E	1										直営	<u>/</u>		(	C		_	-
	事務	务事業の全	:体概要及で	『背景』2	2 【H25事	業計画	(主に担当者	音が行う	5業務内容及	なび手川	頁)】3	【年度	目標	4	1 【事	業費の	内容(污	央算額
たが	以降、 をや、 すって	造林·間位 森林所有	1合が設立さ 大等の森林 者への技術 費用の一部	施業の 指導														
		, (X)=0 ·		F	司上	H26事	業計画		同左	H27事	業計画			同左		[28事業	計画	
5	事務	事業の目的		7	司上	H26事	業計画		同左			1 LbW.		同左		[28事業	計画	単位
	①対	事業の目白	内と手段						同左	4	業計画活動団	体数		同左		[28事業	計画	単位団体
	①対	事業の目白	内と手段		司上				同左	(4) 対象		体数		同左		[28事業	計画	
目	①対 (働き	事業の目6 †象 きかける相=	<b></b> かと手段 手・もの)	3	空間西茨城	战森林組			同左	(4) 対 指標	活動団			同左		[28事業	計画	
目的	①対 (働き ②事	事業の目的 才象 きかける相= 一 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	内と手段 手・もの)	にした。原	空間西茨場所有者の技	· 艾森林組· · · · · · · · · · · · · ·	<b>合</b>		同左	4 対指 ⑤ 成果				同左		[28事業	計画	団体
目的	①対 (働き ②事	事業の目的 才象 きかける相= 一 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	<b></b> かと手段 手・もの)	にした。原	空間西茨城	· 艾森林組· · · · · · · · · · · · · ·	<b>合</b>		同左	(4) 対象 指標 (5)	活動団技術指	潰∙件	数	同左		[28事業	計画	回回
目的	①対 (働き ②事 いの	事業の目的 対象 きかける相= ・務事業の意 か。どういう	内と手段 手・もの)	にした 原か)	空間西茨場所有者の技	· 艾森林組· · · · · · · · · · · · · ·	<b>合</b>		同左	<ul><li>4 対指標</li><li>5 成指標</li></ul>	活動団	潰∙件	数	同左		[28事業	計画	団体
目的	①対 (働き ②事 いの	事業の目的 才象 きかける相= 一務事業の意 か。どういう。	内と手段 手・もの) 「図(どのよう 状態にしたい するために	にしたいのか)。	空間西茨場所有者の技	大森林組 が 付 上 への 意識 に	<b>合</b>		同左	4 対指 ⑤ 成果	活動団技術指	潰∙件	数	同左		[28事業	計画	回回
目的	①対 (働き ②事 いの	事業の目的 才象 きかける相= 一務事業の意 か。どういう。	内と手段 手・もの)	にしたいのか)。	空間西茨城 所有者の技 茶林整備へ	大森林組 が 付 上 への 意識 に	<b>合</b>		同左	<ul><li>4 対指標</li><li>5 成指標</li><li>6</li></ul>	活動団技術指	潰∙件	数	同左		[28事業	計画	回回
目的 — 手段	①対 (働き ②事いの ③ 目 行っ	事業の目的 対象 きかける相当 務事業の意 か。どういう 目的を達成 た行政活動	的と手段 手・もの) (はのよう) 大態にしたい するために、 動(サービス	にしたいのか)。	空間西茨城 所有者の技 茶林整備へ	大森林組 が 付 上 への 意識 に	<b>合</b>		同左	4     教標       5     成指       6     動	活動団技術指	潰∙件	数	同左		[28事業	計画	回回
目的 手段 <u>D</u> (	①対 (働き ②事の ③行っ つ】事	事業の目的 対象 きかける相= 務事業の意か。どういう。 は的を達成でいた行政活動	内と手段 手・もの) ((どのよう) 状態にしたい するために; 動(サービス 実施	にしたいのか)。	空間西茨城 所有者の技 茶林整備へ	大森林組 が 付 上 への 意識 に	<b>合</b>		同左	4     教標       5     成指       6     動	活動団技術指	潰∙件	数	同左		[28事業	計画	回回
目的 手段 DO	①対 (働き ②事の ③行っ つ】事	事業の目的 対象 きかける相当 務事業の意 か。どういう 目的を達成 た行政活動	内と手段 手・もの) (をのよう) をはにしたいまるために、 まるために、 まが、サービス 実施 の推移	にしたいのか)。	空間西茨場 所有者の技 集林整備へ 甫助金の交	式森林組 対術向上への意識に を付	合 <b>改</b> 革	(生) 0.4	甲度(実績)	<ul><li>① 対指</li><li>⑤ 成指</li><li>⑥ 面標</li></ul>	技術指補助金	· 第·件						回 円

事	事業費及び指標の推移																	
			事業費	単位	22年度	(実績)	23年度	(実績)	24年度	(実績)	25年度	(実績)	26年度	(計画)	27年度	(計画)	28年度(	(計画)
			国庫支出金	千円														
投		財源	県支出金	千円														
入	事業	源内	地方債	千円														
コス	業費	訳	その他	千円														
ト			一般財源	千円		1,500		1,000		1,000		900		900		900		900
_			事業費計(ア)	千円		1,500		1,000		1,000		900		900		900		900
イン			職員割合	人	0.09	675	0.06	450	0.11	825	0.013	98	0.013	98	0.013	98	0.013	98
ププ	人		時間外	千円														
ツ	件		嘱託臨時	千円														
卜	費	他課の協力分		千円														
)			人件費計(イ)	千円		675		450		825		98		98		98		98
	<b> </b>	ータルコスト(ア)+(イ)		千円		2,175		1,450		1,825		998		998		998		998
			指標区分	単位	22年度	(実績)	23年度	(実績)	24年度	(実績)	25年度	(実績)	26年度	(目標)	27年度	(目標)	28年度(	(目標)
活	補具	助金		円							9	00,000						
動																		
指標																		
対象指	活動	動団	体数	団体		1		1		1		1		1		1		1
多指																		
標																		
成里	技征	析指	導・件数	口								5		5		5		5
果指標																		
標	標																	

社会情勢の変化・市民ニーズの把握 事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境 特になし	の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》						
必 ②総合計画との整合性,対象と意図の妥当性《目的の性性 ☑ 適切である Ⅲ 見直しの余地がある 3成果の向上余地 《成果は,昨年度と比べてどうである。	節囲は行政の役割から見て適切か?また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》 (対象と意図)は総合計画と結びついているか?実態(社会環境の変化)に合っているか?》 森林組合から技術指導等を受けることで、森林所有者が効率的な森林施業を行うことができ適切である。 あったか?工夫をすることで今後、更なる成果向上ができるか?》						
□ 向上の余地がある ⑤事業費の削減余地 《活動量を下げずに事業費を降	施策への波及効果があるか?》 森林所有者の施業の受委託等を通じて、森林整備の推進が図れ有効である。  削減できないか?(仕様や工法の見直し, 市民の協力など)》  或できないか?(業務プロセスの見直し, 個々の業務の効率化等, 業務委託や臨時雇用等)》						
性 評価 ☑ 削減の余地がない ☑ 削減の余地がある	森林組合の事業実績等を考慮し、今後事業費を削減する余地があると思われる。 全体総括(振り返り, 反省点)						
有効性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がある 効率性 □ 適切 ☑ 見直しの余地がある	森林の荒廃を防ぐ上で森林所有者への技術指導等が適切に行われている。また、森林組合の事業受託等も増加傾向にあり、補助金額の見直しを検討していきたい。 -アップ 前年度の課題や問題点 その他						
	度の改革・改善案  「⑤事務事業を休止, 廃止した場合の成果への影響の有無とその対策 「一」影響は大きく, 問題の発生が予想される 「一代替案や対策を採ることで対応できる  「⑥類似事業との統廃合・連携の可能性(民間活動も含む)						
②改革・改善案を実現する上で克服するべき課題と解決方法 近隣市町村(桜川市・城里町)からも補助金が出されているため、調整が必要となる。							

$DI \Delta NI$	事務事業の計画	

総合評価	今後の方向性	改善し,継続	評価理由 専門知識をもつ森林組合が森林所有者への技術指導を行うことは今後 も必要であるが、森林組合の事業実績や近隣市町村の状況を把握し、
₩© 口 6T  Щ	資源配分	縮小	補助金については減額を検討すべきである。

# 実施計画•事務事業評価共通調書

[PL	AN,	事務事業	の計画		争	務爭業額	百万	20										生き かんりょう かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かい	<b>존経済</b>			: // // // // // // // // // // // // //
	/	- Leville 1	1. 11		n x n = t -	<b>NII</b> 4		評価	5区分		事業性		政策的	事業		明基本		補	Ī.		省庁	
- 1	事務	事業名	森林愛護道	基動者	<b>性進事</b>	業		評価	事業		事務事			-	画画	直点視	点	助単	県補助		城県	
	_, l	TL M:	o カボルナン	·+	rum FA	オルナッ	77° 2116° co . 14°	b 3210	েক মাহত		画実施		継続				}	独		子	隹進機	譜
総	政	政策	2 多彩な交流								規・継続							区	補助率		10/1	.0
	策体	小政策 施策	2 豊かな原	むみで	ど夫恐	じさる展	外来を	仮興し	より	事業	開始年	- 5	於」	干及	芝			分				
	平 系		1 農林業 2 自然と共	+ /+ ):	ァトス世	自状業の	展問			期	S47	È	单年度	繰返し 共催者・			係団	体	茨城県	緑化	匕推進	機構
	_	会計	2 日然こま	や土い		ラグル 来り 項	/			間如	目名		問事	関連計画								
子第		一般	農林水産業	と 書		<del>点</del> 業費	林当	- <u>- </u>	事 林		<u>日 日</u> 業(森林整	(借C)	根拠		<b>茨城県緑</b>	の少年団育	成指道要	頂は	¥林愛護運動	推准事業	監補助金な	(付要項
科		川又	辰州小庄为	尺貝	7/15	未貝	4173	<b>三1000 949</b> 5	1/1/2	K1x +17 +	**(林小正	(DIMIC)		五月 恒手法		補助					金のす	
														直営		冊均几	<u> </u>	Ηл	<del>~</del> 5	₹1⊑.	— がヘンプ	1 7777
		を事業の全	上 :体概要及び	K감 톤	引 <sub>2</sub>	【H95重	* 学計画	(主にお	日当者が	行う業	<b>終</b> 内宏 [	みてド壬			度目標	画】		事	業費の	力宏	(決管	(額)
社会 緑を てい	森林での野外学習活動や、地域の 社会奉仕活動を通して、自然を愛し 緑を守り育てる心豊かな人間に育っ ていくことを目的とした子供たちの自 主的な愛護活動に対し補助を行う事 業				ン 付る つ 自	]体計画 を行う。	に基づ	〈森林』	愛護活動	かに対し	補助金	の申請		•補助  体	団体	6団	負担 千円		補助及	び交	で付金	90
市内	7ボ・	ーイスカウト	、2団体				H26事	業計画				H27	事業計	画				Н	[28事業	計画	BÎ	
		による活動			同。	F	11207	/KHI	<u> </u>	同	左	1121	# <del>                                     </del>			同力	<del> </del>	1.	120 7 7	<u> </u>		
5 -	事務	事業の目的	的と手段							ı.											単	位
	<b>(1)</b> 対	<del> </del>										4	団体	数							4	体
		」 きかける相=	手・ţ(の)		緑0	の少年団	Ī					対象										
Ħ	(12)	- W 17 W 1H	1 0.2/			子供たちの自主的な愛護活動の推進						指標										
的	②事	務事業の意	意図(どのよう	にした	- 7.1								⑤ 愛護活動・参加者							,	Λ	
	いの	か。 どういう	状態にしたレ	いのか	v) L	指標																
														円								
手	3 E	的を達成	するために乳	実際に	こ 歩	助金の交	- (					(6) >T. €4		7 3124							'	-
段	行っ	た行政活動	動(サービス	.)	相具	9年の文	11)					活動 指標										
												111/17										
		務事業の																				
事業	き費.	及び指標の	)推移																			
		事業費	•	肖	单位	22年度	(実績)	23年度	ま(実績)	24年月	き(実績)	25年	度(実績	責)26	年度(	計画)	27年	度	(計画)	28 <sup>‡</sup>	F度(	計画)
		国届	<b>車支出金</b>	-1	f円																	
дп.		財県	支出金		f円																	
投	事	温した	<u> </u>		<u>' ' ' '</u> f 円																	
	業	内					0.0		7.5		7.5			0.0		0.0			0.0			
投入コス	費	H/ \	その他		f円 		80		75		75	1		90		90			90			90
卜			般財源		f円																	
$\overline{}$		事業費	計(ア)	1	戶円		80		75		75	5		90		90			90			90
イ		職員	割合	人	千円	0.09	675	0.07	525	0.13	975	0.053	3	<mark>98</mark> 0.0	053	398	0.05	3	398	0.0	53	398
ンプ	٨	時	間外	1	<u></u> f円							1										
プ	件		<u> </u>		· F円							1		1								
	費											ł –		-								
7	~		協力分		F円																	
			計(イ)		千円		675		525		975		3	98		398			398			398
	<b>}</b> -	・タルコスト	(ア)+(イ)	- F	戶円		755		600		1,050	)	4	88		488			488			488
		指標区分	分	肖	单位	22年度	(実績)	23年度	ま(実績)	24年度	ま(実績)	25年	度(実績	責)26	年度(	目標)	27年	度	(目標)	28 <sup>£</sup>	下度(	目標)
<b>y</b> -	補助				円								90,0									
活動												1	.,,	1								
割 指												1		-								
標														_								
対	団体数    団		団体		4	L	5		5	L		6		6			6	L		6		
象指																						
/ 標												ĺ										
成	↑ 感難汗動• 糸加老			Y						2,590		2,9	56		2,600			2,600			2,600	
果	受護活動・参加者 人			<i>/</i>						۵,550	1	۷,9	50		2,000			۵,000			2,000	
成果指!														_								
標																						

平成26年3月31日

記入日

	会 <u>情勢の変化・市民ニーズの把握</u> 務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会	会環境	の変化(開始時期又は5年前とのと	と較)・市民からの意見や要望》						
	になし		3 - 3C(B (M) B - 1)/M) 4 (a) a   11/B - 11/B							
	THECK】事務事業の一次評価									
		可政の貿		?また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》						
必要				いているか?実態(社会環境の変化)に合っているか?						
性評価			緑化活動を通じて、次代を担う子供を養うために適切である。	と化活動を通じて、次代を担う子供たちが自然に親しみ、緑を育み、健康で心豊な人間性 養うために適切である。						
	③成果の向上余地《成果は, 昨年度と比べて。	どうで	」 あったか?工夫をすることで今後,『	更なる成果向上ができるか?》						
有効	④成果の波及効果《全市民,または多くの市民	や他の	の施策への波及効果があるか?》							
性評価			緑の少年団は、森林学習や里山体間性を養うのに有効である。	<b>、験、公共施設等への環境緑化活動を通して、心豊な人</b>						
効率	⑤事業費の削減余地 《活動量を下げずに事業 ⑥人件費の削減余地 《活動量を下げずに人件費			<ul><li>直し、市民の協力など)》</li><li>し、個々の業務の効率化等、業務委託や臨時雇用等)》</li></ul>						
性評価	日		補助事業として定額予算での対応であり、事業費の削減はできない。							
	次評価結果		全体総括(振り返り, 反省点)							
	必要性       ② 適切       見直しの余地がある。         有効性       ② 適切       見直しの余地がある。         効率性       ② 適切       見直しの余地がある。	ある	各団体との連絡調整もスムーズに7 できた。	各団体との連絡調整もスムーズに行うことができ、申請・交付手続き事務も予定どおり完了できた。						
(A	CTION】事務事業の改革・改善フ	フォロー	ーアップ 前年度の課題や問題点	その他						
			度の改革・改善案	⑤事務事業を休止, 廃止した場合の成果への影響						
				の有無とその対策  ☑影響は大きく、問題の発生が予想される  □代替案や対策を採ることで対応できる						
	改革・改善案を実現する上で克服するべ 課題と解決方法	<b>④</b> 取組	状況	<ul> <li>⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動も含む)</li> <li>☑他に手段がない</li> <li>□他に手段がある(事務事業名・活動名)</li> <li>名称</li> <li>□他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる</li> <li>□統廃合や連携はできない・既に連携している</li> </ul>						

[PLAN]	事務事業の計画

総合評価	今後の方向性		評価理由 緑の少年団の緑化活動等により、子供たちが心豊な人間性を養い、団活動により責任と協力の心を培うことができるため現行どおり継続する。
₩© □ BT   Щ	資源配分	現 状 維 持	

<del></del>	· <del>1/c</del> =	≜L ਜ	. <del>1 da</del> 32	<b>₹ ★</b> ★ ★ ★ ★	在"井"	<b>₹.</b> ≇⊞	1 <del>-11-</del>														
-				务事業評	個犬ス	<b>坦</b> 讷	一									記入				年3月31	
[Pl	LAN	事	務事業(	の計画		事	务事業番	<b>等号</b>	21						. Mr	所属部				ß 農村 勢	
	- <b></b>	·	W- F-	- ، د صلاحاللـ	r <del>-/-</del> -/- 1	<b>Д</b> Д. Д	L 1 /*/* → → →	<b>L</b>	評価区	分		事務事業性質		政策的事		後期基本		補助	F.	听管省庁	•
	爭彥	多事	<b></b>	林業担い	上育成的	<b>東1ビヌ</b>	对策爭到	₹				重要事務事業 合計画実施計画			I	画重点視	点	単	県補助	茨城	课
44	T-L.	7	<b>- 上华</b>	0 夕彩わ六	法云亦理	ートマン	エーセフコ	ケ米のナ	ナベノり〔卒	<del>**</del> 1				∞∞∞				独			
	政策		,	2 多彩な交							事	新規·継続 開始年月		継続 終了年月	#			区	補助率	5/1	10
合計			施策	1 農林業	むのとう	天心	くさる辰	小未で	- 47 42 4 7		業	用如牛皮						分	本品目	. #VIII #	田先
	系		施策	1 安定し	> 農林署	との お	<b>生</b> 准				期間	H9	È	単年度繰返し 共催者・関係団体 茨城県・桜町					* (安川川	"	
_	予 会計 款				項			I			細目名		関連計画	町				1			
	算 一般 農林水産業費 科 目			<b></b> と	林弟		林美	上 上 振興費	林業		手育成強化対策	事業	根拠法		5城県林業担	い手育	「成強	化対策事業	<b>美費補助金</b> 3	を付要項	
													実施引		補助	金の	有無	<b>乗</b>	担金の	有無	
													直営			0					
1	【事	務事	業の全	体概要及び	『背景】	2	【H25事	業計画	(主に担当	者が	行う	業務内容及	なび手		【年度		4	事業	業費のP	勺容(決算	算額)】
				である森林			動計画								前助団	本 1団			補助及	び交付金	È 132
				件の改善を			助金交		(県費)					体			千円	4			
				ため、事業 の1/2以内		• 作用	i助金交	打													
			る補助		在床"																
				ザネ 复化された。																	
関	係市	•町	の負担語	割合につい	ては、																
			川による。					H26事	業計画				H27	事業計画				Н	[28事業	計画	
		49%				同」	Ŀ					同左				同意	左				
		34% 17%																			
- 少汉 -	壬川	1170	0																		
5	車数	女車→	生の日白	りと手段		<u> </u>														月	単位
J			KV/ D H	70千权		1							(4)	作業員	数					-	人
		対象	ユマ 4ロー	T 3 D)		笠間	『西茨城	森林組	合作業員				対象		. 200						
目		さか	ける相も	手・もの)									指標	į.							
的	②I	[終]	事業の音	は図(どのよう	にした								5	組合員	の確保	<b>R</b>					人
				状態にしたい		組合	合作業員	の労働	条件の改善				成果								
													指標	補助金							円
丰	(3)	目的	を達成っ	するために	主際に								6								门
段	行	コドノ ったイ	こ 正 正 に に に に に に に に に に に に に	動(サービス	()	補助	力金の交	付					活動								
., .				,, ,,									指標								
(D	0]=	事務	事業の領	<u>実施</u>																	
_			指標の																		
-			事業費		単位	<del>†</del>	22年度	(宝績)	23年度(3	巨績)	24年	下度(実績)	25年	度(実績)	26年月	变(計画)	27年	E度	(計画)	28年度	(計画)
				支出金	千月		22 1 1	()	20 1 20 0	C/1947		1 12 ()2/19()	20   )	X ()/()()	20 1 /2	Z (FI 🖾 /	2.		(1112)	20 1 12	(111117
		財																			4=0
投	中	源		支出金	千月			195		195		60		66		150			150		150
入	学	内		力債	千月																
コ		: 訳	そ	の他	千F	Э															
スト			—,	般財源	千月	<b></b>		195		195		60		66		150			150		150
-			事業費		千F			390		390		120		132		300			300		300
7			職員			-円	0.09	675	0.08	600	0.1		0.008		0.008		0.0	08		0.008	60
シ							0.03	010	0.00	000	U.,	100	0.000	00	0.000	00	0.0	00	00	0.000	00
プ	人		時間		千F																
ッ	件典		嘱託		千月																
	費		他課の	協力分	千F	9															
$\overline{}$			人件費	·計(イ)	千F	9		675		600		750		60		60			60		60

360

3

390

千円

単位

円

人

人

トータルコスト(ア)+(イ)

指標区分

補助金

対 作業員数 指標 成組合員の確保 指標

活動指標

4

1,065

990

3

22年度(実績) 23年度(実績) 24年度(実績)

870

384

192

390

132,000

25年度(実績)

360

3

390

360

3

390

26年度(目標) 27年度(目標) 28年度(目標)

<u>社</u> :	会情勢の変化・市民ニーズの把握								
事	務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境 になし	竟の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》							
<b>[</b> C	HECK】事務事業の一次評価								
①行政関与の必要性《目的達成に向けて,行政の範囲は行政の役割から見て適切か?また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》 必 ②総合計画との整合性,対象と意図の妥当性《目的(対象と意図)は総合計画と結びついているか?実態(社会環境の変化)に合っているか									
必要性		J(対象と息図)は総合計画と結びついているか?実態(任会境境の変化)に合っているか? 							
評価	<ul><li>☑ 適切である</li><li>□ 見直しの余地がある</li></ul>	社会保険料を一部負担することは、雇用条件等を理由に離職が多い林業就業者の定着を促進するため適切である。							
右		であったか?工夫をすることで今後,更なる成果向上ができるか?》							
有効性	④成果の波及効果《全市民,または多くの市民や他の	の施策への波及効果があるか?》							
性評価	<ul><li>☑ 向上の余地がない</li><li>□ 向上の余地がある</li></ul>	社会保険料を一部負担することは、組合職員の雇用条件や福利厚生の充実が図れ、就業者が確保され、森林環境整備の一助となり有効である。							
杰		と削減できないか?(仕様や工法の見直し,市民の協力など)》							
効率性		川減できないか?(業務プロセスの見直し、個々の業務の効率化等、業務委託や臨時雇用等)》							
評	☑ 削減の余地がない	補助事業として決められた予算の範囲での対応であり、事業費を削減することはできない。							
価	□ 削減の余地がある								
<b>—</b> ;	次評価結果	全体総括(振り返り, 反省点)							
	必要性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がある	森林組合との連絡調整もスムーズに行うことができ、申請・交付手続きも予定どおり完了し、							
	有効性 🗵 適切 🔲 見直しの余地がある	就業者2名が確保された。、							
	効率性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がある								
	CTION】事務事業の改革・改善na	その他							
①i	改革·改善案	F度の改革・改善案 ⑤事務事業を休止, 廃止した場合の成果への影響の有無とその対策							
		☑影響は大きく、問題の発生が予想される							
		□代替案や対策を採ることで対応できる							
		⑥類似事業との統廃合・連携の可能性(民間活動							
		も含む)							
	改革・改善案を実現する上で克服するべ 果題と解決方法	□ 他に手段がない   □ 他に手段がある(事務事業名・活動名)							
C F	NACCITIVO III	名称							
		□他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる □ 統廃合や連携はできない・既に連携している							

【PLAN】事務事業	の計画		
総合評価	今後の方向性		評価理由 林業就業者の定着を図るための条件整備が図れるため、現行どおり継続する。
WES CHI IIM	資源配分	現 状 維 持	

実	施	計価	ii•事系	多事業評	価共i	涌調:	書												<del></del>	<del></del>	
					Щ/\			۵. II.	99								記入			年3月3	
IP	LAN	] 争 ?	務事業(	の計画		争務	等業都	子	22 証価	区分	車	務事業性	啠	政策	的事業	生 谷	期基本		業経済部	が一展や 所管省月	
	事彩	(事業	<b></b>	森林機能緊	<b>区急回</b> 征	復整備	古事業					要事務事			() ()		重点視	占助			
	J- 1)	3 <del>-</del> 7	КН	AN TI DAILES		15C 11E (//I	11 - 1/1		評価	事業		計画実施		-			<u> </u>	単	県補助	茨均	成県
総	政	J	<b>汝策</b>	2 多彩な交	流で飛躍	星する活	f力ある。	産業のま	ちづくり 〔	産業〕		新規·継続		刹	継続			独区	.	1.0	/10
合	策	小	政策	2 豊かな原	恵みを多	実感で	ぎる農	林業を	振興しま	きす	事業	開始年	度		7年度			分	補助率	10,	/10
計	体		<b>拖策</b>	1 農林業							業期	H20		L	129	++-1	岁之。	核田は	笠間林	光七净	교
画	系			2 自然と共	共生に 』	よる農	林業の	展開			間					共作	住石・  美	<b>沐凹</b> 科	立即你	来拍导	ולו
	予		会計	款		項		1.1.50	<u> </u>			細目名			計画						
	算	_	一般	農林水産業	<b>養費</b>	林業	費	林業	<b>É振興費</b>	森	林機能勢	緊急回復整備	事業		は会会				急回復整		
	科 目														施手流		<b>補</b> 切	金の有	無 多	負担金の	)有無
		汝市	坐の今	体概要及び	rac 로.	2 [	HOE 車	米計画	( <del>)</del> / ナ / ナ 十 口	17年 本み	ミクテスト	業務内容及	<b>エッドコ</b>			<del>比</del> 年度目	- 上西 】	<u>○</u>	業費の	力索 (沖.	竺痴)【
				神帆安及し 軽備事業				乗計画 員の委!		見有∥	*1177 <i>5</i>	<b>表伤凹谷</b> //	X ()\-			中皮目 面積			<del>ま</del> 賃 の 176千円		异似儿
				要とされる 柔					馮 現地調3	杏 測長	₽.				天旭	凹傾	2411a		170 □ □		
				見しれるが			ススル 託設計		)UP EI H/HJ I	H- / 10/13	<b>E</b> .								₹ 50千月		
				どを行い、私		•間(	戈実施	協定書	締結(森	林所有	(者)								斗 12,00		
			J機能の	回復と環境	色改善		戈事業												購入費 9		
を	図る。					·林i	道開設	に伴う影	设計業務	秀託•	林道	整備工事						工事	り千円		
								H26事	<b>泰</b> 計画				ப்வ	事業	計画				H28事業	計画	
						同上		11207	未打凹			同左	1141	尹禾			同力		1140尹未	門門	
						1.31	•					, ,,,,,,,					11.3%				
5	事務	多事業	美の目白	りと手段									1 0	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	h- 1.1	. <del>-12</del>					単位
		対象				緊急	に間伐	を行う必	要のある	<b>添森林(</b> /	A判定	の所有	4 対1		施対象	と 有					人
I	(働	きか	ける相手	手・もの)		者、村	林道						指								
的													(5		備面積	曹					ha
,,,				て図(どのよう 状態にしたレ		計画	に基づ	く間伐面	i積の確何	保、林道	整備		成		備路線						路線
	V 10	J/J <sup>-1</sup> 0	27(1).	水態にしたV	107/13								指								
_		<b>-</b> ,,,	2 3-4- 15		La refere s			への事業	<b></b> 業説明				6			₹•測量	Ł				<u> </u>
				するためにタ			間伐推進員の委嘱現地調査、測量						活動   設計、傾鼻				日				
权	11,	ا <i>ا</i> در	」以伯里	動(サービス	·)		神重、 、 、 積算	<b>机里</b>					指	漂 —							
ID	DO】事務事業の実施																				
_			指標の																		
<b>-</b>	木貝				単位	بي رب	22年度	(字法)	23年度	(字法)	9.4年	度(実績)	95年	三度(実	* (建)	c 年 由	(計画)	97年日	き(計画)	28年度	(計址)
			事業費				22 干皮	(	23 平 及	八天限	244	· 及 (	234	→ (支 ( 夫	と利力と	70 平及	(回回)	27年月	支(計四)	20千度	(司四)
		п.		支出金	千																
投		財源		支出金	升			22,500		10,520	)	9,302	2	12	,711		19,900		9,900		9,900
入	争光	源出	坩	拉方債	千日	円															
コス	来	内訳	7	の他	升	円															
	×	''	<u> </u>	般財源	千日	Э		44		12	2				75		2,000				
1			事業費		千月			22,544		10,532		9,302	)	12	,786		21,900		9,900		9,900
7				割合			1.15	8,625	0.80	6,000					,580		5,580	0.744		0.744	5,580
ン							1.10	0,040	0.00	0,000	, 0.0	0,373	0.74	11 0	,300 (	7.144	0,000	0.744	0,000	0.144	0,000
プ	人		時間		千								1								
ッ	件			臨時	千								1								
1	費		他課の	協力分	千	刊															
)			人件費	·計(イ)	千	<b></b>		8,625		6,000	)	6,375	5	5	,580		5,580		5,580		5,580

トータルコスト(ア)+(イ)

指標区分

現地調査·測量

設計、積算

実施対象者

成 果 指 整備路線 標

活

1動指標

対象指標

千円

単位

日

日

人

ha 路線 31,169

25

10

101

62

16,532

10

10

52

31

22年度(実績) 23年度(実績) 24年度(実績)

15,677

10

10

50

25

18,366

24

16

57

24

25年度(実績)

27,480

20

10

30

24

1

15,480

20

10

30

24

26年度(目標) 27年度(目標) 28年度(目標)

15,480

20

10

30

24

1

社会情勢の変	か. 古足	ーーブの畑堤

- 仁云有勢の変化・印氏ニースの把佐
事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》
特になし

### 【CHECK】事務事業の一次評価

		7/4 7 /17 .	, III					
必要					範囲は行政の役割から見て適切か?また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》			
要	<b>少</b> 松石司	画との発音	生,刈《	8と息凶の安ヨ住《目的	(対象と意図)は総合計画と結びついているか?実態(社会環境の変化)に合っているか?》			
性評	☑ 適切	である			県の間伐等促進全体調査結果を踏まえ、市特定間伐等促進計画に基づき緊急に間伐が 必要とされる地区の森林整備や効率的な間伐作業を実施するための林道整備を行ってお			
価	□見直	しの余地があ	る		り適切である。			
+	③成果の	向上余地《	成果は	t, 昨年度と比べてどうで	あったか?工夫をすることで今後,更なる成果向上ができるか?》			
有効	<ul><li>④成果の</li></ul>	波及効果《全	è市民,	または多くの市民や他の	の施策への波及効果があるか?》			
性評	☑ 向上	の余地がない	`		間伐については昨年度と同程度の面積を整備することができ森林機能の改善が図れた			
価	□ 向上	の余地がある	)		が、労務単価の見直しや補助金減額により今後整備面積を増やすことは難しい。			
	⑤事業費の削減余地 《活動量を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の見直し,市民の協力など)》							
効率	⑥人件費	の削減余地	《活動』	量を下げずに人件費を削	減できないか?(業務プロセスの見直し,個々の業務の効率化等,業務委託や臨時雇用等)》			
性評価	☑ 削減	の余地がない	()		補助事業であり決められた予算の範囲での対応であり、計画に沿った事業箇所選定により			
1	□削減	の余地がある	3		業務委託を行っており事業費の削減はできない。			
<b>—</b> }	一次評価結果				全体総括(振り返り, 反省点)			
	必要性	☑ 適切		見直しの余地がある	間伐事業については、推進委員と連携し事業箇所選定や適切な業務委託が行えた。ま			
	有効性	☑ 適切		見直しの余地がある	た、林道開設については地権者との調整に時間を要したがその他関係機関との調整はスムーズに行えた。			
	効率性	☑ 適切		見直しの余地がある				

ı	ACTION	車級車業の改革・改美

①改革•改善案	
②改革・改善案を き課題と解決方法	実現する上で克服するべ

フォローアップ	前年度の課題や問題点	í

③前年度の改	革·改善案	
_		
<b>全</b> 取組状況		

その他
-----

⑤事務事業を休止,	廃止した場合の成果への影響
の有無とその対策	廃止した場合の成果への影響

V	影響は大きく,	問題の発生が予想される
Г	1代替案や対策	を採ることで対応できる

⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動 も含む)

✓ 他に手段がない─ 他に手段がある(事務事業名・活動名)

─ 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる─ 統廃合や連携はできない・既に連携している

## 【PLAN】事務事業の計画

総合評価	今後の方向性	現行どおり継続	評価理由 間伐事業や林道開設事業により森林の公的機能の回復や効率的に森 林環境が整備されるため、現行どおり継続する。
	資源配分	現 状 維 持	

PLA	N】事	務事業	<b>务事業評</b> 値 の計画		マスト 『務事業番号	<del>-</del>	23						記入所属部		平成26     業経済音	年3月31日 第 農村整備課
1 2. 1		100 11 710	× #1 III		100 T 71C III		評価区分	} :	事務事業性質	質	<b>汝策的</b>	事業	後期基本	計補	Ī.	听管省庁
事	務事	業名	身近なみど	り整備推	進事業		評価事業	<u>k</u> :	重要事務事	<b></b>	_		画重点視	占 助	県補助	茨城県
							計៕爭未	総	合計画実施記	画				単独		次规宗
8 政		政策			る活力ある産業				新規・継続		継続			区		10/10
3 第				ひを実履	感できる農林	業を	振興します	事 業		Ŧ	終了年	度		分	冊切十	10/10
体	_	施策	1 農林業		# 11 M/ ==			期	H20		H29		共催者•関	係団体		業指導所
可矛	1	<u> </u>		生による	農林業の展	開	-	間					, (IM II )	7711	22110111	)K11 (1/)1
予		会計	款	т т	項	1.1.211	44-191-#	+ >= 1	細目名	-t-a Mile	関連計		#1719 4 75	- 2 1.01	o ==== (#= 1//.)	44 - 14 14 17 A-
算		一般	農林水産業	:質 🏻 🔻	<b>  *   *  </b>	杯弟	<b></b>	身近な	みどり整備推進	事業	根拠法					生事業実施要領
科目											実施一部		(相切	金の有	<b>無</b> 多	負担金の有無
	巨双目	す坐の合	/大/	北見】の	【1105单杂:	∌ப் கர்	(十) > +0 北 =	とふさんこ	う業務内容及	フドエ lil			<b>支目標】</b>	<u> </u>	・光弗の「	<u>一</u> 内容(決算額)】
			活用し水源		実施要望箇			3 N-1 J ]	7未伤门谷以				節所 5箇		*乗負のP	
		ことって\ を推進す	快適で豊かた ける。		—————————————————————————————————————	26事	業計画		同左	H27事	<b>手業計画</b>	<u> </u>	同		H28事業	計画
車	<b></b>	業の目白	かレ毛砕													当位
			りと手段							(4)	実施	<b>计象</b> 者	2			単位人
<u>(</u>	)対象	ţ		<b>#</b>	也域住民					(4) 対象		対象者	Ž			単位
① (値	)対象			H	也域住民					対象 指標			2			, ,
	)対象 動きか )事務	されている。 おける相 <sup>3</sup> 事業の意	手・もの) 〔図(どのよう》	こした 坩	地域住民にとっ	って快	適で豊かなる	<b>森林環</b> 場	境づくりを推	対象 指標 ⑤	実施i		2			
	)対象 動きか )事務	されている。 おける相 <sup>3</sup> 事業の意	手・もの)	こした 坩		って快	適で豊かなる	<b>森林環</b> 均	境づくりを推	対象 指標 ⑤ 成果	実施i		2			人
	)対象 動きか )事務	されている。 おける相 <sup>3</sup> 事業の意	手・もの) 〔図(どのよう》	こした 比 のか) 進	地域住民にとっ			<b>森林環</b> 均	境づくりを推	対標 ⑤果標	実施は現地は	面積				人
(値 (値 2)い 手 (3)	)対象動きか 動きか )事務かのか。 )目的	事業の意。どういう	手・もの) (図(どのよう)。 状態にしたい するためにま	こした 地 のか) 並 実際に 現	地域住民にとっ 重する ミ施要望箇所で 見地調査、測量	。 のとり 最		森林環塩	境づくりを推	教標 ⑤ 果標 ⑥	実施	面積				ha
① (値 ② い = ③	)対象動きか 動きか )事務かのか。 )目的	事業の意。どういう	手・もの) 京図(どのよう) 状態にしたい	こした のか) 追 実際に 弱	地域住民にとっ きする 足施要望箇所で 記地調査、測量 話業務の発済	のとり 量 注	まとめ		境づくりを推	対指 ⑤ 果標 ⑥ 動	実施可見地記書、表記書、表記書、表記書、表記書、表記書、表記書、表記書、表記書、表記書、表	面積				人 ha
<ul><li>①(値)</li><li>②い</li><li>○ 3行</li></ul>	)対象 動きか )事務か )目的 ()目的	まれて 事業の意 。どういう で達成 行政活動	手・もの) (図(どのように 状態にしたい するためにま 動(サービス)	こした のか) 追 実際に 弱	地域住民にとっ 重する ミ施要望箇所で 見地調査、測量	のとり 量 注	まとめ		境づくりを推	教標 ⑤ 果標 ⑥	実施可見地記書、表記書、表記書、表記書、表記書、表記書、表記書、表記書、表記書、表記書、表	面積				人 ha
① (値 ②い 手段 (DO)	対 動きか 事 か の か り 目 的 干 っ て た て ま た る た る も た る た る た る た る た る た る た る た	ま 事業の意 どういう 可を達成 行政活動	手・もの)  (図(どのように 状態にしたいするためにま動(サービス)	こした のか) 追 実際に 弱	地域住民にとっ きする 足施要望箇所で 記地調査、測量 話業務の発済	のとり 量 注	まとめ		境づくりを推	教標 ⑤ 果標 ⑥ 動	実施可見地記書、表記書、表記書、表記書、表記書、表記書、表記書、表記書、表記書、表記書、表	面積				人 ha
国内 (個 ②い 手段 DO)	対 動きか 事 か の か り 目 的 干 っ て た て ま た る た る も た る た る た る た る た る た る た る た	事業の意とでは、アンドランスを達成で、一般では、アンドランスを達成で、アンドランスを達成で、アンドランスを達成で、アンドランスを使った。	手・もの)  (図(どのよう)  状態にしたい  するためにま  動(サービス)  実施  )推移	こした のか) 道	地域住民にとった。 を応要望箇所記地調査、測量 を前業務の発達 を備後の適正を	のとり <b>計</b> 注 な維持	まとめ 寺管理の啓発	č		対指⑤ 根標 ⑥ 動標	実施i 現地i 設計、	面積 調 <u>查</u> 、 積算	測量			人 ha 日 日
国内 (個 ②い 手段 (可 の)	対 動きか 事 か の か り 目 的 干 っ て た て ま た る た る も た る た る た る た る た る た る た る た	事業の意 。どういう かを達成で 事業の 事業の 事業費	手・もの)  京図(どのように 状態にしたい  するためにま 動(サービス)  実施  )推移	こした のか) 追 実際に 弱	地域住民にとっ きする 足施要望箇所で 記地調査、測量 話業務の発済	のとり <b>計</b> 注 な維持	まとめ 寺管理の啓発	č		対指⑤ 根標 ⑥ 動標	実施可見地記書、表記書、表記書、表記書、表記書、表記書、表記書、表記書、表記書、表記書、表	面積 調 <u>查</u> 、 積算		27年度	<b>E</b> (計画)	人 ha 日 日
① (個 ②い 三 3 行	)対象 動きか )事務か )目的 (下つた 事務 (費及で	事業の意 。どういう かを達成で 事業の 事業の 事業費	手・もの)  (図(どのよう)  状態にしたい  するためにま  動(サービス)  実施  )推移	こした のか) 道	地域住民にとった。 を応要望箇所記地調査、測量 を前業務の発達 を備後の適正を	のとり <b>計</b> 注 な維持	まとめ 寺管理の啓発	č		対指⑤ 根標 ⑥ 動標	実施i 現地i 設計、	面積 調 <u>查</u> 、 積算	測量	27年度	天(計画)	人 ha 日 日
(値) ②い ③行 3行 業別	対象を対象のからいます。対象のからいます。	事業の意 事業の意 うと達成で 手業の 事業の 事業の 事業の 事業の 事業の 事業の 事業の 事業の	手・もの)  京図(どのように 状態にしたい  するためにま 動(サービス)  実施  )推移	こした 地でのか) 造	也域住民にとった。 達する 足施要望箇所で 見地調査、測量 終託業務の発達 を備後の適正で 22年度(ま	のとり <b>計</b> 注 な維持	まとめ 寺管理の啓発 23年度(実	č		対指⑤ 根標 ⑥ 動標	実施i 現地i 設計、	面積 調査、 積算	測量		ま(計画) 5,100	人 ha 日 日 28年度(計画)
①(作 ②)) 手段 ③行 DO)	対象が   事数	事業の意。どういうのを達活す事業のである。 とういう おき できる できる 事業のである 事業 国 県 !!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!	手・もの)  (図(どのように)  大態にしたい  するために実動(サービス)  実施   主権  (支出金  支出金  支出金	にした 地道 実際に 実際に 実現 要単位 千円	也域住民にとった。 達する 足施要望箇所で 見地調査、測量 終託業務の発達 を備後の適正で 22年度(ま	のとり 計 注 な維持 実績)	まとめ 寺管理の啓発 23年度(実	績) 24	4年度(実績)	対指⑤ 根標 ⑥ 動標	実施 現地 設計、	面積 調査、 積算	測量			人 ha 日 日 28年度(計画)
①(作 ②)) 手段 ③行 DO)	対象が   事数	事業の意。どういうのを達活す事業のである。 とういう おき できる できる 事業のである 事業 国 県 !!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!	手・もの)  (図(どのよう) (状態にしたい) するためにま 動(サービス) 実施 (支出金 立支出金 し方債	にした のか) 進 野際に 野 事 要 単位 千円 千円	也域住民にとった。 達する 足施要望箇所で 見地調査、測量 終託業務の発達 を備後の適正で 22年度(ま	のとり 計 注 な維持 実績)	まとめ 寺管理の啓発 23年度(実	績) 24	4年度(実績)	対指⑤ 根標 ⑥ 動標	実施 現地 設計、	面積 調査、 積算	測量			人 ha
「個のでは、 「個のでは、 「ののでは、 「ののでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	対象を対象のからいます。対象のからいます。	事業の意 を達活す 事業の意 を達活す 事業標の 事業標の 事業標の 事業標の 事業標の 事業標の 事業標の 事業標の	手・もの)  (図(どのように) 状態にしたい するためにま動(サービス) 表施  (世春) 本移  (世春) 支出金  (世春) 大の他	にした (のか) (まります) (ま) (ま) (ま) (ま) (ま) (ま) (ま) (ま) (ま) (ま	也域住民にとった。 達する 足施要望箇所で 見地調査、測量 終託業務の発達 を備後の適正で 22年度(ま	のとり 量 注 な維持 を 手 減 ( 870	まとめ 寺管理の啓発 23年度(実	績) 24	4年度(実績)	対指⑤ 根標 ⑥ 動標	寒施i 現地i 設計、	面積 調査、 積算 ) 26年 0	測量 F度(計画) 5,100		5,100	人 ha 日 日 5,100
目的     2い       3行       DO	対象が   事数	事業の意 を達活す 事業の意 を達活す 事業標の 事業標の 事業標の 事業標の 事業標の 事業標の 事業標の 事業標の	手・もの) (図(どのように) 状態にしたいするためにま動(サービス) 実施 主支出金 立方債との他 般財源	にした のか) 進 野際に 野 事 要 単位 千円 千円	也域住民にとった。 連する 足施要望箇所。 記地調査、測量 記託業務の発達 を備後の適正で 22年度(実	のとり 計 注 な維持 実績)	まとめ 寺管理の啓発 23年度(実 4,5	績) 24	4年度(実績)	対指⑤ 根標 ⑥ 動標	寒施i 現地i 設計、	面積 調査(算) 26年 0	測量			人 ha 日 日 日 5,100

事業費 単位 22年度(実績) 23年度(実績) 24年度(実績) 25年度(実績) 26年度(計画) 27年度(計画) 2																		
	事業費		単位	22年度	(実績)	23年度	(実績)	24年度	(実績)	25年度	(実績)	26年度	(計画)	27年度	(計画)	28年度	(計画)	
			国庫支出金	千円														
投		財	県支出金	千円		4,870		4,960		5,090		5,100		5,100		5,100		5,100
入	事業	源内	地方債	千円														
コ	未費	訳	その他	千円														
スト	,		一般財源	千円		2		2		1		1		2		2		2
-			事業費計(ア)	千円		4,872		4,962		5,091		5,101		5,102		5,102		5,102
1			職員割合	人 千円	0.37	2,775	0.40	3,000	0.40	3,000	0.362	2,715	0.362	2,715	0.362	2,715	0.362	2,715
ププ	人		時間外	千円														
ッ	件		嘱託臨時	千円														
1	費		他課の協力分	千円														
)			人件費計(イ)	千円		2,775		3,000		3,000		2,715		2,715		2,715		2,715
	トータルコスト(ア)+(イ)			千円		7,647		7,962		8,091		7,816		7,817		7,817		7,817
		抖	旨標区分	単位	22年度	(実績)	23年度	(実績)	24年度	(実績)	25年度	(実績)	26年度	(目標)	27年度	(目標)	28年度	(目標)
活	現均	也調	查、測量	日		4		4		4		15		15		15		15
動	設計、積算			日		2		2		2		5		5		5		5
指揮																		
標																		
対免	実施対象者		人		15		13		15		13		15		15		15	
象指																		
標																	-	
成田	実施面積		ha		5		7		7		4		5		5		5	
果指																		
標											_		_					

社会情勢の	亦ル,由	足ーー	ブの押場

_住会情勢の変化・市民ニースの把握
事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》
特になし

### 【CHECK】事務事業の一次評価

È	① (1) 行政関	与の必要性	《目的	達成に向けて、行政の	範囲は行政の役割から見て適切か?また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》				
必					(対象と意図)は総合計画と結びついているか?実態(社会環境の変化)に合っているか?》				
要		回この宝日日	工, / 1 0	KC总区V女士压《FH)	(				
必要性評	☑ 適切	である			  公益的機能を有する平地林及び里山林の整備をすることで森林の保全や住民にとって豊				
価	□見直	しの余地があ	る		な森林環境づくりを推進することができ、適切である。				
	③成果の	向上余地《	成果は	、昨年度と比べてどうで	あったか?工夫をすることで今後,更なる成果向上ができるか?》				
有効	④成果の	波及効果《全	市民,	または多くの市民や他の	の施策への波及効果があるか?》				
性評	☑ 向上	の余地がない	`		作業工程などにより前年度より整備面積は減少したが、市民からの提案などにより、荒廃した平地林や里山林の間伐、下刈り、枝打ち等を実施することで豊な森林環境づくりに有効				
価	□ 向上				た中地体で至山体の间域、下列が、校打り等を実施することで豆は森体環境 プバッに有効である。				
1.1	⑤事業費	⑤事業費の削減余地 《活動量を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の見直し,市民の協力など)》							
効 率	⑥人件費	の削減余地	《活動』	量を下げずに人件費を削	減できないか?(業務プロセスの見直し,個々の業務の効率化等,業務委託や臨時雇用等)》				
性評	☑ 削減	の余地がない	``						
評価	□ ¾13+	・ 本人 いしょごよっ			補助事業であり決められた予算の範囲での対応であり、適切な事業箇所選定により業務委   託を行っており事業費の削減はできない。				
	│ □ 削減	の余地がある	)						
—;	次評価結果	果			全体総括(振り返り, 反省点)				
	必要性	☑ 適切		見直しの余地がある					
	有効性	☑ 適切		見直しの余地がある	市民などの提案により効果的に事業箇所の選定ができ、主に通学路付近の平地林を整備することで豊な森林環境づくりができた。				
	効率性	☑ 適切		見直しの余地がある					

【ACTION】事務事業の改革・改善
--------------------

①改:	革•改善	<b></b>			
②改 き課題	革・改き 夏と解決	喜案を実現 や方法	見する上	で克服す	- るべ
			/		

フォローアップ	前年度の課題や問題	占

③前年度の改革・改善案	
<ul><li>④取組状況</li></ul>	

⑤事務事業を休止,	廃止した場合の成果への影響
の有無とその対策	廃止した場合の成果への影響

✓	影響は大きく、	問題の発生が予想される
	代替案や対策	を採ることで対応できる

⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動 も含む)

✓ 他に手段がない─ 他に手段がある(事務事業名・活動名)

名称

─ 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる─ 統廃合や連携はできない・既に連携している

### 【PLAN】事務事業の計画

40 A == fre	今後の方向性	現行どおり継続	評価理由 森林湖沼環境税を活用して効率的な森林環境整備が図れるため、 行どおり継続する。			
総合評価	資源配分	現 状 維 持				

実	施言	計画·事務	务事業評価	価共通調	書							記入	1	平)	成26	年3月31日
[PL	AN	事務事業	の計画	事	<b>努事業番号</b>	24						所属部語	果名	産業経	済音	『 農村整備課
						評価区分		事務事業性質		推持管理事		後期基本		補	戸	斤管省庁
	事務	等業名	林道維持管	理事業		評価事業		重要事務事			Ī	画重点視点		助単県	補助	
	. 1	-pol bolo	- 6-42 (2)				稅	合計画実施語						独	113.74	
総^	政	政策				まちづくり〔産業		新規・継続		継続				区補品	功率	
合計	東	小政策 施策		はみど天感	じざる展外業	を振興します		開始年月	乏	終了年度	٤			分		
画画	平系			・生たとと	は林業の展開		期			年度繰り	返し 共	<b>ķ催者・</b> 関	係団	体		
う		会計	款		頁	細目名		関連計画	î							
貨	Ī		農林水産業		<b></b> 上	林道費	林道費根	標準的事業(森林整	備G)	根拠法令		林法				
乖		724-41	)JC 11747JII	117		11.2				実施手		補助。	金の	有無	負	担金の有無
E										一部委			_			0
				背景】2	【H25事業計	画(主に担当者	が行	う業務内容及	び手							內容(決算額)】
既訓	形設林道の維持管理を行う。 ・定期的なパトロールの実施 補修工事路線 7 職員手当等 43千円															
пьо	ᄼᆇᄼ	1.0円欠 6位		• 補	修工事の実	施				路線	1		旅費	9千	円ってロ	1
路 延 長		16路線 31.3km												月費 13 8費 16		
ν г	×.	JI.JKIII														, ,996千円
													原材	†料費	23₹	-円
					1100	+ W = 1				La Mile et l			負担			び交付金 592
				同		事業計画		同左	H27₹	事業計画		同方	_	H28	事業	計画
				IH)_	E.			印左				旧月左	Ľ.			
5	事務	等事業の目的	内と手段							日存 6台 坐7。						単位
		付象		±1	勺林道16路線				4 対象	路線数 延長						路線
目	(働	きかける相手	手・もの)	IIII	14小旦10哈脉				対象							m
的	@ <b>=</b>	= 7/r == 21/4 oo 7	150 / 18 to 1. 7.1	-1 .h					5		に対す	トる整備延	£長(	舗装済	*)	km
	(2)事	・務事業の怎	(図(どのよう) 状態にしたい	こした 安全	とに通行できる	林道を維持して	ンベ		成果							
	• •		-V()=V(=0)=V	• > / >					指標			,,				7-1
<b></b>	_ P	コかな法式・	するために乳	は殴い 路回	面・側溝清掃の	実施			6	補修工	事件委	汉				件
			り ひためにす		面除草の実施				活動							
+~	11 -	7/2/11/2/103	93 ( ) C / ·	/   洛イ	5・倒木撤去エ	.事の実施			指標							
DO	0 ] 事	事務事業の	実施	•						•						·
		及び指標の														
		事業費		単位	22年度(実績	<b>責</b> ) 23年度(実統	責) 24	4年度(実績)	25年月	度(実績)	26年月	度(計画)	27年	三度(計	画)	28年度(計画)
			<b>三支出金</b>	千円												

事業費及び指標の推移 事業費 単位 22年度(実績) 23年度(実績) 24年度(実績) 25年度(実績) 26年度(計画) 27年度(計画) 28年度(計画)											
			事業費	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)	27年度(計画)	28年度(計画)
			国庫支出金	千円							
投		財源	県支出金	千円					1,040	1,040	1,040
入	事業	源内	地方債	千円							
コス	業費	訳	その他	千円							
^   }			一般財源	千円	2,780	3,916	3,199	3,692	4,985	4,985	4,985
·			事業費計(ア)	千円	2,780	3,916	3,199	3,692	6,025	6,025	6,025
イ			職員割合	人 千円	0.20 1,500	0.20 1,500	0.20 1,500	0.759 <b>5,693</b>	0.759 <b>5,693</b>	0.759 <b>5,693</b>	0.759 <b>5,693</b>
プ	人		時間外	千円	26	68					
ッ	件		嘱託臨時	千円							
1	費		他課の協力分	千円							
			人件費計(イ)	千円	1,526	1,568	1,500	5,693	5,693	5,693	5,693
	<b>}</b> ∽	ータノ	レコスト(ア)+(イ)	千円	4,306	5,484	4,699		11,718	11,718	11,718
			指標区分	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)
活	補何	多工.	事件数	件	5	7	9	13	7	7	7
動											
指標											
対免	路網			路線	16	16	16	16	16	16	16
象指	延士	麦		m	31,339	31,339	31,339	31,339	31,339	31,339	31,339
標											
成甲	総延	長に	対する整備延長(舗装済)	km	21	21	21	21	21	21	21
果指											
標											

払	会情勢の変化・市民ニーズの把握						
	芸情気の変化・明氏ー ベッル・ 務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社	社会環境	竟の変化(開始時期又は5年前との比	(較)・市民からの意見や要望》			
特	になし						
10	 THECK】事務事業の一次評価						
		行政の	範囲は行政の役割から見て適切か'	?また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》			
必要	②総合計画との整合性,対象と意図の妥当性	生《目的	(対象と意図)は総合計画と結びつい	いているか?実態(社会環境の変化)に合っているか?)			
性評価			整備された林道の適正な維持管理切である。	を実施することで、安全な通行を確保することができ適			
	③成果の向上余地 《成果は, 昨年度と比べ	てどうで	」 あったか?工夫をすることで今後,『	更なる成果向上ができるか?》			
有効	④成果の波及効果《全市民, または多くの市	民や他の	の施策への波及効果があるか?》				
性評価			定期的なパトロールの実施や市民からの情報提供などにより状況を把握しており、維持管理事業として有効である。				
効率	⑤事業費の削減余地 《活動量を下げずに事 ⑥人件費の削減余地 《活動量を下げずに人作			L直し,市民の協力など)》 にし,個々の業務の効率化等,業務委託や臨時雇用等)》			
性評価	☑ 削減の余地がない		パトロールや市民からの要望・情報 実施しているため事業費の削減は	提供などにより適切な施工場所の選定、業務委託等を できない。			
_	次評価結果		全体総括(振り返り, 反省点)				
	<ul><li>必要性</li><li>図 適切</li><li>見直しの余地が</li><li>有効性</li><li>図 適切</li><li>見直しの余地が</li><li>効率性</li><li>図 適切</li><li>見直しの余地が</li></ul>	がある		列木などがあったが、早急な対応ができた。また、パト こついても、補修工事により安全が確保された。			
ľΑ	CTION】事務事業の改革・改善	フォロー	ーアップ 前年度の課題や問題点	その他			
	改革·改善案		度の改革・改善案	⑤事務事業を休止,廃止した場合の成果への影響 の有無とその対策			
				● 影響は大きく、問題の発生が予想される □ 代替案や対策を採ることで対応できる			
	改革・改善案を実現する上で克服するベ課題と解決方法	④取組	1状況	<ul><li>⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動も含む)</li><li>☑ 他に手段がない</li><li>□ 他に手段がある(事務事業名・活動名)</li><li>名称</li><li>□ 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる</li><li>□ 統廃合や連携はできない・既に連携している</li></ul>			

ı	DI ANI	事務事業の計画
	LPLAN.	事務事業の計画

総合評価	今後の方向性		評価理由 適正な維持管理を実施することにより、林道としての機能確保が図れる ため、現行どおり継続する。
₩Ċ ロ 8T   Щ	資源配分	現 状 維 持	

# 実施計画•事務事業評価共通調書

[PLAN	事務事業	の計画		事務事	業番号	25						所属部	課名	産業経	E済音	『 農村整備課
						評価区分	}	事務事業性		政策的事	-	後期基本		補	月	听管省庁
事務	务事業名	子どもの森	づくり推	進事業		評価事業	<b>É</b>	重要事務事			正	可重点視	点	助単	補助	茨城県
	~!. <i>!</i>	0 050 4		1 3 3 5 1 1	). we the Mile 1.		稻	於合計画実施: 新聞 ####		4c To				独	1113.74	77777
総政	政策					ちづくり〔産	<b>楽</b> 」	新規・継続		新規	٠ <u>-</u>			区補」	助率	10/10
合策計体		2 豊かな原 1 農林業	<b></b> おかを実	・感じさる	の展外兼を	仮興しよう		開始年	夏	終了年度	Ź			分 """		
画系	小施策		+ <i>片</i> :1ァト	ス典林業	美の展開		其			H25	共	催者・関	係団	体 茨	城県	緑化推進機構
予	会計	款	マエによ	では 項	RV/政州		F	細目名		関連計画	ΕΪ					
算	一般	農林水産業	と 書	林業費	林当	上   表表與費	子ども、	の森づくり推進	車業	根拠法令						
科	/4X	及中的生力	N. FR	717不具	Tri-zi	KIM <del>X</del> A	,	*/// > <b>(</b> ) [EXE	T.A.	実施手		補助	金の	有無	1	負担金の有無
目										直営		1113-23	0	11 2///		
1 【事	務事業の全	体概要及び	『背景』	2 【H25	5事業計画	(主に担当る	が行	う業務内容及	び手川		【年度	]標】	4 (	事業費	貴の 内	内容(決算額)】
森林や 環境教 図るた	沼環境税を 中自然への関するとは 対すや自然を が、環境教 が、環境教 が、環境を が、である。	目心を深め、 体験活動の打	森林 催進を			境整備をす 交付を行う。	るため	の木製品の	尊入)。	こ対補明	助団体	1団体	負担 500 <sup>-</sup>		助及	び交付金
			-		H26事	業計画			H273	<b>事業計画</b>				H28	事業	計画
			-	なし		71471		なし	11213	F /K III III		なし		1120	チバ	H I Feel
5 事務	8事業の目6	的と手段														単位
①5	対象			小学坛/	タラン シェ	1/			4	団体数						団体
目(働	きかける相	手・もの)		小子仪(	緑の少年団	1)			対象 指標							
的									5 5	整備箇	所					箇所
(2)=	事務事業の意 ひか。どういう			青少年~	への森林環境	境教育や自然	《体験》	舌動の促進	成果		// 1					<u> </u>
V .0	7/13 C 7(17	水態にしたV	102/31)						指標							
- 0		1 2 2							6	補助金						円
段行	目的を達成った行政活!	動(サービス		補助金の	の交付				活動指標							
	事務事業の															
事業費	及び指標の	推移														
	事業費	•	単位	22年	F度(実績)	23年度(実	績) 2	4年度(実績)	25年月	度(実績)	26年度	E(計画)	27年	速(計	画)	28年度(計画)
	国庫	<b>車支出金</b>	千円	ı												
дп.		支出金	千円							500						
事	源	<u> </u>	千円							300						
事業費	内	<u>にの頃</u> その他	千円						1							
ス 費	訳															
投入コスト (インプッ		般財源	千円													
$\bigcirc$		計(ア)	千円		0		0	0		500		0			0	(
1		割合	人		0		0	0	0.023	173		0			0	(
プ人		間外	千円													
ッ件	嘱託	臨時	千円													
ト費	他課の	協力分	千円													
$\overline{}$		計(イ)	千円		0		0	0		173		0			0	(
  -	ータルコスト		千円		0		0	0		673		0			0	(
	指標区分		単位				Ů	4年度(実績)			26年月		97年	.度(目	ŭ	28年度(目標)
抽	助金	· J		. 224	以(大順)	20千尺(天	191 4	+ 下汉 (大順)	20 Th	500	2073	(日/示/	211	以(日	コボノ	20十尺(日标)
活動 1	ツ立		円							900						
動									<b>.</b>							
標 —																
対象指標	体数		団体	Š			_			1			L		_ [	
家世																
標																
成敷	備箇所		箇所	ŕ						1						
果├─	7111 LEI / / I		四刀							1						
指																

記入日 平成26年3月31日

社会	会情勢の変化・	市民ニーズの把握							
	務事業を取り巻 になし	〈環境《対象や法令根持	処及び社会環境	筒の変化(開始時期)	又は5年前との比	較)・市民からの意見や要望》			
<b>[</b> C	HECK】事務事	業の一次評価							
必						シまた市民の意向や社会の要請から見て適切か?》 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			
要性			2) 妥当性《目的	(対象と意図) は総介 	台計画と結びつV	いているか?実態(社会環境の変化)に合っているか?)			
評価	<ul><li>☑ 適切である</li><li>□ 見直しの余</li></ul>					ことで、子供たちが身近なところで自然観察や体験活動 や自然への関心を深めることができ適切である。			
有					あったか?工夫をすることで今後,更なる成果向上ができるか?》 )施策への波及効果があるか?》				
効性	●成未り仮及			//旭来。 <b>、</b> ○/仅 <i>区</i> 》//>	KN-0)/2/N-: //				
評価				補助の対象団体がど)の整備などに関		象経費も苗木等の購入や木製品(テーブル・ベンチな の向上は難しい。			
効率						直し,市民の協力など)》 し,個々の業務の効率化等,業務委託や臨時雇用等)》			
十性評価	凶 削減の宗			補助事業として定れ	額予算での対応で	であり、事業費を削減することはできない。			
<u> </u>	<b>火評価結果</b>			全体総括(振り返り	, 反省点)				
	必要性 ☑	適切 □ 見直し	の余地がある						
	有効性 🗹	適切 □ 見直し	の余地がある			ことができ、北川根小学校において、木製テーブル、ベ 、 自然観察などを行える環境整備ができた。			
	効率性 ☑	適切 □ 見直し	の余地がある	マノ 小双直 1716垣	.v / 3全7/用 // -1 1 4 / 4 / 6	、日然既宗はこを打える殊児崔畑がてさた。			
[A	CTION】事務事	業の改革・改善	フォロ・			その他			
	改革•改善案			度の改革・改善案		⑤事務事業を休止,廃止した場合の成果への影響			
						の有無とその対策 ✓影響は大きく、問題の発生が予想される ○代替案や対策を採ることで対応できる			
						⑥類似事業との統廃合・連携の可能性(民間活動			
						も含む) ☑他に手段がない			
	改革・改善案を3 果題と解決方法	実現する上で克服する	べ ④取組	1状況		□他に手段がある(事務事業名・活動名)			
						名称			
						<ul><li>□他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる</li><li>□統廃合や連携はできない・既に連携している</li></ul>			
			<u> </u>			<u> </u>			
[P]	LAN】事務事業	の計画							
	総合評価	今後の方向性	事	業完了		11 脚在出			
	称6.70年1月	資源配分		_					

			<b>务事業</b> 評	川ブ											記入			6年3月31日	
PL	AN)	事務事業	の計画		事	務事業番	子子	26							所属部		業経済		萹
	L-74			-t- >4	→ →/. →	06 <del>-   0</del> 116		評価区分	र्ने		務事業性質		策的事	-	期基本			所管省庁	
	<b>事務</b>	事業名	いばらきの	<b>森晋</b>	文啓角	<b>芒</b> 事業		評価事業	É		要事務事			迪	i重点視	点 単	県補助	茨城県	Ĺ
	<b>→1</b> .	元左公	0 夕彩わち	tt-rak	田小フ	エーキフェ	ちゃっと	トベノい(女:	444-7		計画実施記	†画	新規			独			
	政	政策 小政策						ちづくり〔産 〕 振興します	<b></b>	事	新規•継続 開始年度	Ŧ.	新規 終了年度	2		区	補助率	定額	
	策人	施策	1 農林業	むみと	天恐	行さい辰	か未せ:	灰哭しより		業	用好十万	ک ا	於丁平度	t.		分			—
	系	小施策	2 自然と共	七生に	トス虐	専林業の	展閱			期間	H25		H26	共	崔者・関	係団体			
		会計	款	<u>4T16</u>		項	AX [71]				細目名		関連計画	î					
4		一般	農林水産業	<b>半</b>		業費	林業	上 生振興費	いは		の森普及啓発		根拠法令		らきの森普	子及啓発活	動支援事	業費補助金交付	要
`		727	72(11/4/12)	1424	117	×14.24	11/21	.,,,,,,,,					実施手			金の有		負担金の有	
													直営			0		_	
	事剂	务事業の全	体概要及び	が背景	] 2	【H25事	業計画	(主に担当す	者が	行う	業務内容及	び手順	(i)] 3	年度目	標】	4【事	業費の	内容(決算額	須)
	及	び森林・林	5用事業の第 業の重要性 青報発信し、	などを	- 普	制助金申 等及啓発								ントでの カ 1回	の普及	需用費	₹ 251=	千円	
			くりを推進す																
							TIOC事	<b>泰</b> 到亚				LIOE =	W = [ ==				100=	W 31	
					同.		H26事	<u></u>			なし	H27事	業計画		なし		H28事	<u> </u>	_
					11.3.						. & C				1.50				
1	事務	事業の目的	的と手段															単位	<u>扩</u>
	<b>①</b> 女				1114 1	域住民(参	èhn≠)					④ 対象	地域住	民(参加	口者)			人	
	働き	きかける相	手・もの)		167	<b>以</b> 仕氏(∅	>川伯)					对象 指標							_
			意図(どのよう				森林湖泊	召環境税の意	意義	やその	の使途など	⑤ 成果	地域住	民(参力	口者)			人	
	いの	か。 どういう	状態にしたい	いのか)	の音	普及啓発						指標							_
Ī	<u> </u>	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		La mina								6	普及啓	発活動				旦	
l	3)⊧ ⁄≕	的を達成	するために	実際に	- パ:	ンフレット	配布なと	普及啓発				活動							
	打つ	た行政店!	動(サービス	·)								指標							
_	<b>1</b> 車	務事業の	字坛																_
	_	及び指標の																	_
`∄	: 貝 /			114	<u> </u>	00左座	(字法)	00年度(字	(主)	0.4.4	: 庄(字建)	0.5年.由	:(字结)	00年中	: (३1.mi)	97左角	≓ ( ∌ l. <del>जर</del> े	00年度(到	. 100
ī		事業費			<u>位</u>	22年度	(夫領)	23年度(実	順丿	244	- 艮(夫領)	20年度	(実績)	20千尺	(町間)	21年度	(計画)	28年度(計	世
			直支出金		·円														
		洒 ———	支出金		·円								250	_	250				
	事業費	源 内	也方債	Ŧ	·円														
	来	訳	その他	Ŧ	·円														
	只	H/ C	般財源		·円								1		1				_
			計(ア)		<u>· `</u> 円		0		0		0		251		251		(	)	
L			·斯() / [割合		<u>- 7</u> 千円		0		0			0.060	450		0		(		f
			間口 間外		<u>                                     </u>		U		0		0	0.000	100		U			,	
	人																		
	件費		臨時		·円 ·用														
	貝		協力分		·円														
L			計(イ)		·円		0		0		0		450		0		(		
			(7) + (1)		.Ш		0		Λ		0		701		251	10		1	

22年度(実績) 23年度(実績) 24年度(実績)

25年度(実績)

1,000

1,000

26年度(目標) 27年度(目標) 28年度(目標)

1,000

1,000

単位

口

人

人

指標区分

活番遊客発活動指標

対象 地域住民(参加者) 集 指標

<del>7</del> .	<b>△</b> ⊭熱の亦ル・古兄~〜 ブの切根						
	会 <u>情勢の変化・市民ニーズの把握</u> 務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び	社会環境	危の変化(開始時期又は5年前との比	較)・市民からの意見や要望》			
特	になし						
		, 行政の	範囲は行政の役割から見て適切か?	・ また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》			
必要	②総合計画との整合性,対象と意図の妥当	性《目的	(対象と意図)は総合計画と結びつい	いているか?実態(社会環境の変化)に合っているか?			
性評価	☑ 適切である □ 見直しの余地がある		当事業において普及啓発することに 市民に理解してもらうために適切で	こより、森林湖沼環境税の意義やその使途などを多くの ある。			
	③成果の向上余地 《成果は, 昨年度と比べ	ヾてどうで		<b>見なる成果向上ができるか?》</b>			
有効	④成果の波及効果《全市民,または多くの市	方民や他の	の施策への波及効果があるか?》				
性評価	<ul><li>☑ 向上の余地がない</li><li>□ 向上の余地がある</li></ul>		多くの市民が集まるイベント等での教室開催やパンフレット等の配布をすることで、森林湖 沼環境税の意義や使途、また、森林・林業に対する市民の理解促進が図れ有効である。				
効率	⑤事業費の削減余地 《活動量を下げずに ⑥人件費の削減余地 《活動量を下げずに人			直し,市民の協力など)》 し,個々の業務の効率化等,業務委託や臨時雇用等)》			
性評価	<ul><li>☑ 削減の余地がない</li><li>□ 削減の余地がある</li></ul>		補助事業として定額予算での対応、	であり、事業費の削減はできない。			
	次評価結果		全体総括(振り返り, 反省点)				
	必要性       図 適切       見直しの余地         有効性       図 適切       見直しの余地         効率性       図 適切       見直しの余地	かある		ながスムーズに行え、イベントでの普及啓発活動で多く 「る理解、森林・林業に対する意識醸成が図れた。			
ľΑ	CTION】事務事業の改革・改善	フォロー	ーアップ 前年度の課題や問題点	その他			
	改革•改善案		度の改革・改善案	⑤事務事業を休止, 廃止した場合の成果への影響			
				の有無とその対策  ☑影響は大きく、問題の発生が予想される  □代替案や対策を採ることで対応できる			
	改革・改善案を実現する上で克服するべ 果題と解決方法	④取組	1状況	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性(民間活動も含む)  ☑他に手段がない □他に手段がある(事務事業名・活動名)  名称 □他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる □統廃合や連携はできない・既に連携している			

$DI \Delta NI$	事務事業の計画
PL/AIN	

			評価埋田
総合評価	今後の方向性	現行どおり継続	多くの市民に森林湖沼環境税の意義や活用事業などの情報発信する
WC CI FT IM	資源配分		多くの旧式に森林朝石集現代の思義で石戸事業などの情報先后する 機会ができるため現行どおり継続する。

### 実施計画・事務事業評価共通調書 記入日 平成26年3月31日 【PLAN】事務事業の計画 所属部課名 産業経済部 農村整備課 事務事業番号 評価区分 事務事業性質 建設•整備事業 所管省庁 後期基本計 肋 事務事業名 県単十地改良事業 画重点視点 重要事務事業 評価事業 県補助 茨城県 単 総合計画実施計画 独 政策 2 多彩な交流で飛躍する活力ある産業のまちづくり〔産 業〕 新規・継続 継続 般37.5% 総 卧 区 補助率 ため池50% 小政策 2 豊かな恵みを実感できる農林業を振興します 開始年度 終了年度 合 策 業 計 体 施策 農林業 期 単年度繰返し 共催者·関係団体 画 系 小施策 安定した農林業の推進 1 間 関連計画 会計 目 細目名 予 農地費 根拠法令 般 農林水産業費 農業費 県単土地改良事業 茨城県県単土地改良事業補助金交付要綱 算 補助金の有無 科 実施手法 負担金の有無 目 直営 【事務事業の全体概要及び背景】 2 【H25事業計画(主に担当者が行う業務内容及び手順)】 3【年度目標】 4 【事業費の内容(決算額)】 国補事業以外の土地改良事業を対 安居地区(横断暗渠改修) 実施設計·工事 横断暗渠改修2 委託料 134.4千円 象として補助を行い、国補事業と均 橋爪地区(横断暗渠改修) 実施設計・工事 地区の工事完了 工事請負費 1,197千円 衡を図りながら農業生産基盤の整備 合計 1,331.4千円 並びに農村の環境整備を推進し、農 業の振興に資する。 H26事業計画 H28事業計画 H27事業計画 農道舗装5路線 (箱田東部 L=240.0m、来栖 L= 510.0m、稲田 L=250.0m、矢野下 L=170.0m 、五平 L=220.0m) 5 事務事業の目的と手段 単位 4 地元区民 ①対象 市民、地域住民 対象 (働きかける相手・もの) 目 指標 整備完了地区 地区 的 国補事業以外の農業用施設の適正な維持管理に対 (5) ②事務事業の意図(どのようにした する補助により、安定した生産と作業効率向上及び 成果 いのか。どういう状態にしたいのか) 施設の長寿命化を図る。 指標 役員調整 口 **(6)**

【DO】事務事業の実施

段

③目的を達成するために実際に

行った行政活動(サービス)

-	事業費及び指標の推移 事業費 単位   22年度(実績)   23年度(実績)   24年度(実績)   25年度(実績)   26年度(計画)   27年度(計画)   28年度(計画)   28年度(計画)											
			事業費	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)	27年度(計画)	28年度(計画)	
			国庫支出金	千円								
投		財源	県支出金	千円	2,025	1,200		483	483	483	483	
入	事業	源内	地方債	千円								
コス	業費	訳	その他	千円								
<b>卜</b>			一般財源	千円	3,399	1,260		849	881	881	881	
_			事業費計(ア)	千円	5,424	2,460	0	1,332	1,364	1,364	1,364	
イン			職員割合	人 千円	0	0	0	0.190 1,425	0	0	0	
プ	人		時間外	千円								
ッ	件		嘱託臨時	千円								
1	費		他課の協力分	千円								
			人件費計(イ)	千円	0	0	0	1,425		0	0	
	<b>}</b> ∽		レコスト(ア)+(イ)	千円	5,424	2,460	0	2,757	1,364	1,364	1,364	
			旨標区分	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)	
活	役員	員調	整	旦	3	2		4				
動指												
指標												
対象	地ラ	元区	民	人	1,987	1,559		2,051				
指												
標												
成果	整位	莆完	了地区	地区	1	0		2				
指												
標												

活動

指標

農業用施設の適正な維持管理を行う。

<u>社会情勢の変化・市民ニーズの把握</u>	
事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》	

## 【CHECK】事務事業の一次評価

<u>. L ~</u>	THOUNT	10) F A 1	/\FI   HI							
必		①行政関与の必要性《目的達成に向けて、行政の範囲は行政の役割から見て適切か?また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》								
要	(2)総合計	・迪との整合作	生,対象	象と意図の妥当性《目的	(対象と意図)は総合計画と結びついているか?実態(社会環境の変化)に合っているか?》					
必要性評価	☑ 適切	である			公共性の高く、且つ大規模な農業用施設(ため池、幹線排水路、農道)等の整備に対して					
価	□見直	しの余地があ	る		は、地元での対応は厳しく、県の補助を利用した本事業は必要不可欠である。					
	③成果の	向上余地《	成果は	t, 昨年度と比べてどうで	あったか?工夫をすることで今後,更なる成果向上ができるか?》					
有効	④成果の	波及効果《슄	产市民,	または多くの市民や他の	の施策への波及効果があるか?》					
性評	☑ 向上	の余地がない	`		整備した農業用施設により、受益地内の農業農村整備基盤が向上している。					
価	□ 向上	の余地がある	)							
	⑤事業費の削減余地 《活動量を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の見直し, 市民の協力など)》									
効率	⑥人件費	の削減余地	《活動:	量を下げずに人件費を削	減できないか?(業務プロセスの見直し,個々の業務の効率化等,業務委託や臨時雇用等)》					
性評		の余地がない	<i>(</i> )							
一個	   □ 削減の余地がある				県の補助を利用することにより、市の財政負担軽減につながっている。					
	□□目が	の未地がめ	D .							
_	次評価結:	<b>果</b>			全体総括(振り返り, 反省点)					
	必要性	☑ 適切		見直しの余地がある						
	有効性	☑ 適切		見直しの余地がある	県補助を利用し、農業用施設を整備しており、有効性及び効率性ともに高い。					
	効率性	☑ 適切		見直しの余地がある						

	1	
ACTION	事務事業の改革・改善	

①改革·改善案	
②改革・改善案を実現する上で克服する	べ
き課題と解決方法	

フォローアップ	前年度の課題や問題点

③前年度の改革・改善案	
<ul><li>④取組状況</li></ul>	

⑤事務事業を休止, 廃	止した場合の成果への影響
の有無とその対策	止した場合の成果への影響
117,1112 6 1 7 1 7 1 1	

✓	影響は大きく,問題の発生が予想される
	代替案や対策を採ることで対応できる

⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動 も含む)

✓ 他に手段がない─ 他に手段がある(事務事業名・活動名)

─ 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる─ 統廃合や連携はできない・既に連携している

## 【PLAN】事務事業の計画

			評価理由
総合評価	今後の方向性	現行どおり継続	
₩© ☐ 6T IIII	資源配分	現 状 維 持	市の財政負担軽減につながり有効であり、縮小及び廃止は出来ない。

実施	計画・	事務事業評	価共通	調書									記入	Η I		平成26	6年3月31日
[PLAN	】事務事	業の計画	ļ	事務事業番号		28							所属部				部 農村整備部
	6	<b>東米</b>		LL 30 36 Hb 116		評価区分		事務事業性質		挂持管理	里事業		月基本		補助	j	听管省庁
事務	务事業名	震災対策原	農業水利	施設整備事業		評価事業		重要事務事業合計画実施語				画画	直点視	点	単	国補助	農林水産省
総政	政策	2 多彩か交	流で飛躍す	↑る活力ある産業(	のま	ちづくり〔産 業〕	形心	新規·継続		新規					独		
総政治策	小政第			感できる農林業			事	開始年		終了名					区分	補助率	100%
計 体	施策	1 農林業		2 2 - 2 1 2.			業期					+1-755	者・関	K			
画 系	小施第		た農林業の				間	1120		H2		共惟	白・)	徐世	411		
予	会計	款	114 - Ha	項	-44	III		細目名		関連記		<b>柔</b> ///	1 1 6060 1411	+ 2002 - 1	A.11	L-30 +6 t	
算科	一般会	計農林水産業	<b> 天費</b>	農業費	農	と地費 震	災対策	農業水利施設整備	事業	根拠沿	5令 i手法						帯事業実施要綱 負担金の有無
目											チ伝て委託		補助	金()	月天	<b>無</b>	見担金の有悪
		全体概要及び	が背景】	2 【H25事業計	一画	(主に担当者だ	沂	う業務内容及	ババ手				票】		事	業費の	内容(決算額)
		では、東北地方		Total Control		(4, 7-4, 1)		77140714 117						<u> </u>			/
		面設が被災し、															
		用地や農業施 との生命、財産											,				
		被害が発生し									/						
笠間市	i小原に位	位置する不動名	<b>5</b> 津池		_												
		造成され、貯			c #:	₩ ⇒1			11073	±-₩-= :	/ 					100年出	431 ===
		ため池である。 近接水路の一		H20	6事:	業計画			H27-	事業計	<u> </u>				Н	I28事業	<b>善計</b> 画
		近後が貼い )池機能にはず															
いもの	の堤体の	一部は劣化し	てお														
		人家等への被		てもかみがって	<i>-</i> 1.4=	き細木 ワッド・・・											
		₽急に耐震調♂ ひ作成を行う必		不動谷津池のī ザードマップ作		を調査及い、ハ											
ある。	1 . // .	·>   M, C    J, Z	1.2.4	, , , , , , , ,	/3/												
5 東新	を重業の	目的と手段															単位
		日172丁校							<b>(</b> 4 <b>)</b>	被害	想定证	面積					ha
(届	対象 さかける	相手・もの)	ŧ	波害想定面積					対象	į.		-,,,,					
Ħ	15/11/0	周子(807)							指標		<u> </u>	d. <del>□ .</del>					III. E
		つ意図(どのよう)		災害の未然防止	・シロ	71.X			⑤ 成果		完了	池区.					地区
のた	シュ。 どういう	状態にしたいの	つか) [*	,		10			指標								
									6	施設	点検						ケ所
手段 ③	目的を達	成するために急	実際に	ため池の耐震調	查及	なびハザードマッ	プの	)作成	活動 ————————————————————————————————————								
行	った行政	活動(サービス	()	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1						指標							
[DO]	事務事業	の実施															<u> </u>
	及び指標																
7 7.17	事業		単位	22年度(実	績)	23年度(実績	24	年度(実績)	25年	度(実績	三 26	年度(	計画)	27年	F.度	(計画)	28年度(計画
		国庫支出金	千円		1947	20 1 12 ()()()			20   /	× () </td <td>47 20</td> <td></td> <td>7,000</td> <td>_</td> <td></td> <td>(111117</td> <td>20 个及《阳四</td>	47 20		7,000	_		(111117	20 个及《阳四
	I	県支出金	千円										1,000				
投 事	源	地方債	千円														
	内	その他	千円				+				-						
	訳										-						
F	干扣	一般財源	千円		0		`	0			0		7.000			0	
<u> </u>		費計(ア)	千円		0		)	0	0.054		0	250	7,000			0	
ン		員割合	人千	Ч	0		)	0	0.070	) 5	2 <mark>5</mark> 0.0	)70	525			0	
プ人		<b>時間外</b>	千円														
ツ件典		託臨時	千円														
ト費		の協力分	千円														
	人作	=費計(イ)	千円		0	(	)	0		5	25		525			0	
  -	ータルコン	い(ア)+(イ)	千円		0	(	)	0		5	25		7,525			0	
	指標[	区分	単位	22年度(実	績)	23年度(実績	24	年度(実績)	25年	度(実績	<b>(1)</b> 26	年度(	目標)	27年	F度	(目標)	28年度(目標
活 施	設点検		ヶ所										1				
括							1										
指	指										1						
標							+										
対 被	害想定面	<b>看</b>	ha				+				1		20				
象 指	С - / С   Д		110				+				+						
指											+						
標成調	大ウマル	F.	바다						-		+		-1				
	查完了地		地区								1		1				1

	社会情勢の変化・市民ニーズの把握								
事	事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》								
	HECK】事務事業の一次評価								
		政の筆	範囲は行政の役割から見て適切か?	また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》					
必要性評	②総合計画との整合性,対象と意図の妥当性 (	《目的	(対象と意図)は総合計画と結びつい	いているか?実態(社会環境の変化)に合っているか?)					
性評	☑ 適切である		园体H1000/の東米などの 行水間	上の以亜株は古い					
価	□ 見直しの余地がある		国補助100%の事業であり、行政関	子の必要性は高い。					
<i>-</i>	③成果の向上余地 《成果は, 昨年度と比べて	どうで	あったか?工夫をすることで今後,夏	見なる成果向上ができるか?》					
有効性評	④成果の波及効果《全市民, または多くの市民	や他の	)施策への波及効果があるか?》						
性評	☑ 向上の余地がない								
価	□ 向上の余地がある								
1.1	⑤事業費の削減余地 《活動量を下げずに事業	<b>美費を</b>	削減できないか?(仕様や工法の見	直し,市民の協力など)》					
効率	⑥人件費の削減余地《活動量を下げずに人件費	費を削	減できないか?(業務プロセスの見直	し、個々の業務の効率化等、業務委託や臨時雇用等)》					
性 評	☑ 削減の余地がない								
価	□ 削減の余地がある								
<b>—</b> ∤	欠評価結果		全体総括(振り返り, 反省点)	全体総括(振り返り, 反省点)					
	必要性 ☑ 適切 □ 見直しの余地があ	ある							
	有効性 🗸 適切 🗌 見直しの余地があ	ある	安産管理に必要な事業であり、また	、国補助100%の事業でもあるため必要。					
	効率性 ☑ 適切 □ 見直しの余地があ	ある							
[A	CTION】事務事業の改革・改善フ	フォロー	-アップ 前年度の課題や問題点	その他					
			<b>・</b> 度の改革・改善案 ⑤事務事業を休止, 廃止した場合の成果/						
				の有無とその対策					
				✓ 影響は大きく、問題の発生が予想される □ 代替案や対策を採ることで対応できる					
				⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動					
				も含む)					
②i	女革・改善案を実現する上で克服するべ 限題と解決方法	取組	<b>状</b> 況	✓ 他に手段がない ─ 他に手段がある(事務事業名・活動名)					
C	MACAI MATERIAL PROPERTY AND ADMINISTRATION OF THE P			名称					
				□他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる					
				□ 統廃合や連携はできない・既に連携している					
		/							
_									

	[PLAN]事務事業(	の計画		
I				評価理由
	総合評価	今後の方向性	現行どおり継続	市民の安全管理のためにも必要な事業である。また今回の調査で以上
	松口 中十川川	資源配分		が認められた場合は、施設改修にあたっても補助事業につなげることが できるため、有効性が高い事業である。

天	心口	打四•争?	<b>務爭</b> 兼評	<b>個光</b> ル	<b>担</b> 调音									記入			平成2		
<b>P</b> I	LAN	事務事業	の計画		事務事業	番号	29							所属部					村整備課
	中水	(東光力	県単林道改	女良工事	平(今泉吾国	国線林	評価区	立		事務事業性質 第一事發車等		持管理事		期基本 重点視		補助		所管征	1万
	争形	<b> 等</b> 事業名	道)				評価事業	<b></b>		重要事務事業 計画実施計			)	里尽饭	771/7	単	県補助	Ž	茨城県
4/1	πh	政策	2 多彩な交	流で飛躍	する活力ある	を業のま	おづくり〔産			新規・継続	凹	継続				独			
総合	政策	小政策	2 豊かな						事	開始年度	=	終了年度	F			区分	補助率	Š	4/10
計	体	施策	1 農林業	W° / Z >	(1)以 ( C (A))	7/1×2	が発しより		業		2								
画		小施策		も生によ	る農林業の	つ展開			期間	H24		H28	共作	崔者・関	目係団	]体			
7		会計	款	121-01	項	12011	目			細目名		関連計画	Ú						
貨	, 氧	一般	農林水産業	<b></b> 巻費	林業費	<b>t</b>	木道費	県単林		良工事(今泉吾国線村		根拠法令							
禾												実施手		補助	金の	有無	無	負担金	金の有無
E	1											直営			0			-	_
			と体概要及び		2 【H25事	<b>事業計画</b>	(主に担当	者が彳	亍う:	業務内容及	び手川	頁) 】 3	年度目	標】	4	事	業費の	内容(	決算額)
断済 なと り、	構の ごに。 固定	老朽化やクより通行にう	こついて、既 ブレーチング 支障をきたし 溝に改築し5	の盗難 てお	横断溝改	艮工事	5箇所					工項	<b>第完了</b>		工.事	事請	負費:	2,678,	,000円
		唯休する。 量 L=110:	m 24箇所																
					Idlant as to		業計画					業計画					I28事業		
					横断溝改	艮工事	6箇所			横断溝改良	上事	5箇所		横	断溝	改良	と工事	2箇月	f
_	<del></del>	n officially.																	N/ //
5	事衫	8事業の目	的と手段							1		I II 力 心白 半人							単位
		付象			今泉吾国總	1.					④ 対象	路線数							路線
目	(働	きかける相	手・もの)		7 水百四版	水水坦					为 指標								
的	_										5	改良箇	所						箇所
			意図(どのよう) :態にしたいの		安全に通行	すできる材	で道を整備して	ていく			成果	217 (1)	· · ·						
	02/3	~ C JV 'J4N	の話でしたで	////							指標	-1 -1 -1- fata							<i>tul</i>
手段			するために 動(サービス		既設横断漳	<b>请</b> 改良工	事の実施				⑥ 活動 指標	改良箇	<u>叶</u>						箇所
I D	) I E	事務事業の	<b>本</b> 状																
_	_	及び指標の																	
<b>事</b> ラ	長貝			227.11		ا الله الله الله الله الله الله الله ال	00 to the (th	· Z-+: \   .	o ,	(	0 <b>-</b>	~ ( ++ /-+ \	0 0 Fr Fr	/=1 <del></del> \	0.5		(=1 <del></del> )	00 5	r (31 - T)
		事業費		単位		き(実績)	23年度(実	:績):	24年	F度(実績)	25年度	ま(実績)	26年度	(計画)	27年	卜皮	(計画)	28年	. 関(計画)
			車支出金	千円															
投		財県	支出金	千円	3					1,400		1,040		1,200	)				
入	事	源内	也方債	千円	3														
コ	事業費	訳	その他	千円	]														
ス	只	H/ \	般財源	千円						2,118		1,638		2,070	)				
1			き計(ア)	千円		0		0		3,518		2,678		3,270			C		0
イ			割合	人子		0		0			0.176	1,320		0,210	+		0		0
シ			<sup>] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] []</sup>	<u> </u>		0		0		U	J.110	1,020		0			U		U
プ	人			千円				-+							1				
リツ	件費														1				
	貝		協力分	千円															
			貴計(イ)	千円		0		0		0		1,320		0			C		0
	<b>}-</b>		(ア)+(イ)	千円		0		0		3,518		3,998		3,270	_		C		0
		指標区	分	単位	22年月	き(実績)	23年度(実	績)	24年	F度(実績)	25年度	度(実績)	26年度	(目標)	27年	F度	(目標)	28年	度(目標)
活	改」	急箇所		箇所	ŕ					6		5		6	5				
動																			
指															1				
標															1			1	
対	敗約	息数		路紡	1			$\rightarrow$		1		1		1	+			+	
象	ルロル	路線数路線数路線						+		1		1		1	1				
象指!																		1	
標		l. 646.		*.*	-														
成里	改	2箇所		箇所	Ť					6		5		6	5			_	
果指																			
標												-							

実施計画•事務事業評価共通調書

	<u>会情勢の変化・市民ニーズの把握</u> 務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会珍	環境の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》								
	になし									
[(	CHECK】事務事業の一次評価									
لان		の範囲は行政の役割から見て適切か?また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》								
必要は	②総合計画との整合性, 対象と意図の妥当性《目	的(対象と意図)は総合計画と結びついているか?実態(社会環境の変化)に合っているか?								
哲田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	<ul><li>☑ 適切である</li><li>□ 見直しの余地がある</li></ul>	老朽化した施設を改築することで、安全な通行を確保することができ適切である。								
	③成果の向上余地《成果は,昨年度と比べてどう	うであったか?工夫をすることで今後,更なる成果向上ができるか?》								
有	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・									
性割価	<ul><li>☑ 向上の余地がない</li><li>□ 向上の余地がある</li></ul>	老朽化した施設が改築されることにより、安全な通行が確保され、森林機能の適切な維持管理が図れ有効である。								
-4-1	⑤事業費の削減余地 《活動量を下げずに事業費	を削減できないか?(仕様や工法の見直し,市民の協力など)》								
郊	効 ⑥人件費の削減余地 《活動量を下げずに人件費を削減できないか?(業務プロセスの見直し,個々の業務の効率化等,業務委託や臨時雇)									
性評価	<ul><li>✓ 削減の余地がない</li><li>□ 削減の余地がある</li></ul>	補助事業として決められた予算での対応であり、事業費の削減はできない。								
_	次評価結果	全体総括(振り返り, 反省点)								
	<ul><li>必要性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がある。</li><li>有効性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がある。</li><li>効率性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がある。</li></ul>	補助額が当初予定した額を下回ったため施工箇所が少なくなったが、工事の発注がスムーズに行え予定より早く事業を完了することができた。								
[/	CTION】事務事業の改革・改善フォ	ローアップ 前年度の課題や問題点 その他								
		近年度の改革・改善案 ⑤事務事業を休止, 廃止した場合の成果への影響の有無とその対策 ✓影響は大きく, 問題の発生が予想される								
	改革・改善案を実現する上で克服するべ 課題と解決方法	□代替案や対策を採ることで対応できる  ⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動も含む) □ 他に手段がない □ 他に手段がある(事務事業名・活動名)  名称 □ 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる □ 統廃合や連携はできない・既に連携している								

【PLAN】事務事業の計画	亘
---------------	---

				評価理由						
	総合評価	今後の方向性	現行どおり継続	安全な通行確保と森林機能の適切な維持管理が図れるため、現行どお						
	心心 口 五十二川	資源配分		女主な地11推体と株件機能の適切な維持管理が図40分にめ、先112やり継続する。						